

設置計画の概要

事項	欄
事前相談事項	事前伺い
計画の区分	学部の設置
フリガナ者	コクワタイカクホウジン コウベダイガク 国立大学法人 神戸大学
フリガナ名	コウベダイガク 神戸大学 (Kobe University)
新設学部等において養成する人材像	<p>【国際人間科学部】</p> <p>① 養成する人材像 グローバルイシュー(現代社会が地球規模での協働を通して取り組まなければならない課題)を深い人間理解と他者への共感をもって解決し、世界の人が多様な境界線を越えて共存できる「グローバル共生社会」の実現に貢献する「協働型グローバル人材」を養成する。</p> <p>② 教育研究上の目的 1. グローバルイシューを構成する諸課題を発見する批判的・合理的思考力 2. 外国語やICTを使いこなす多様なコミュニケーション能力と情報収集・分析力 3. グローバルイシューを異文化理解・人間発達・環境共生の観点から理解する能力 4. グローバルイシューの解決に向けて、他者と協働しつつ、リーダーシップを発揮する行動力を身に付けることを目的とする。</p> <p>【国際人間科学部・グローバル文化学科】</p> <p>① 養成する人材像 多文化間の境界を乗り越えるグローバル共生社会を実現するため、諸文化の多様な様相と社会のグローバル化についての正確な理解を基に、現代世界が抱える文化的・社会的問題を自らのイニシアティブで解決へと導くリーダーシップを備えた人材を養成する。</p> <p>② 教育研究上の目的 高度な外国語の運用能力とICT教育に基づく情報分析力や発信力を駆使して、異文化間のコミュニケーションと相互理解を率先して推し進め、多文化状況、文化交流、文化摩擦等をめぐるグローバルな課題の解決への道筋を社会に発信・説得する能力を身に付けることを目的とする。</p> <p>③ 卒業後の進路 外務省・経済産業省や各都道府県などの国家・地方公務員、JICA・兵庫県国際交流協会等の国際協力機関、大学院や、海外展開の活発な製造業、マスコミ、情報通信業、金融業等。</p> <p>【国際人間科学部・発達コミュニティ学科】</p> <p>① 養成する人材像 人間の発達は多様なコミュニティにおける社会的諸関係(学修や経験・協働)を通じて実現されていく。「発達コミュニティ」をこのように理解した上で、人々の多様性や異質性を尊重した持続可能なグローバル共生社会の実現を目指し、人間の多様な発達と、発達を支えるコミュニティ(多様な人々が協働する社会)に関する研究・教育を行い、人間がより良く生きるとともに、それを可能にする多様なコミュニティを国際社会を舞台として形成・展開していく能力を身に付けた人材を養成する。</p> <p>② 教育研究上の目的 人間発達の全体像を多面的にとらえる能力や、心理、アート、スポーツ等を通じて、地域や国を超えたグローバルなコミュニティの形成に貢献できる能力を有する人材を養成することを目的とする。</p> <p>③ 卒業後の進路 自治体や企業における組織・人事戦略コンサルタント、家庭裁判所調査官や心理判定員、地域コミュニティ創生支援事業・人材育成事業の指導者やコーディネーター、行政や自治体のスポーツ文化事業の管理・企画や専門職、健康関連企業でのプログラムの企画運用に関する専門職、ユネスコや世界保健機関等の国際連合の専門機関における国際公務員、アートマネジメント(芸術文化事業の企画・運営・実施)に関する指導者や専門職等。</p> <p>【国際人間科学部・環境共生学科】</p> <p>① 養成する人材像 人間と環境の調和に根ざす持続可能なグローバル共生社会の実現を目指し、身近な環境から地球環境に至る幅広い環境について、様々な問題を発見・立論し、解決に導くために必要な能力を有し、さらに、国際的な視野から課題に取り組む行動力を身に付けた人材を養成する。</p> <p>② 教育研究上の目的 環境に関する多岐にわたる問題の把握に必要な知識の体系、フィールドワーク・科学実験・各種調査・統計解析などの技能、論理的かつ緻密な分析の力を身に付け、さらに、課題解決に向けて、環境改善の技術・システムのデザイン、自治体・企業・NPO等の環境改善活動、市民科学教育などに積極的に参加・貢献し、国際的な協働関係の中で自身の役割を果たすことができる実践力を備えた人材を養成することを目的とする。</p> <p>③ 卒業後の進路 公共部門には、環境保全、都市開発、街づくり、農村計画、防災政策などに携わる国家・地方公務員をして活躍する進路がある。民間部門では、インフラ、エネルギー、ディベロッパー、各種メーカーなどの企業が環境形成に関する知識・能力を持つ人材を必要とし、さらに、環境問題に実践的に取り組む人材を求める多様なNPO、NGOがある。以上に加え、大学院進学、中学校・高等学校教員、大学研究者等。</p> <p>【国際人間科学部・子ども教育学科】</p> <p>① 養成する人材像 次世代育成を通じたグローバル共生社会の実現を目指し、グローバル社会に関わる幅広い視野を持ちながら、子どもと学校が抱える課題を多面的に認識し、実践的に解決していく能力を身に付けた初等教育教員等を養成する。</p> <p>② 教育研究上の目的 グローバル社会で生起する諸課題についての幅広い見識、人間形成や多様な文化的背景を持つ子どもや特別なニーズを持つ子どもについての高度な専門的知見、教科についての深い学問的理解を基盤に、グローバル化した現代社会の文化的多様性を尊重した子どもの教育を、実際の学校現場等において様々な関係者と連携・協働しながら推進していく能力を有する人材を養成することを目的とする。</p> <p>③ 卒業後の進路 主には小学校教員、幼稚園教員、特別支援学校教員である。加えて教員免許を取得した上で大学院進学を経て教員養成等に携わる大学教員を育成する。それ以外に、公務員(教育行政職)、国際教育機関(ユネスコ等)職員、教育関連企業等。</p>

事 項	記 入 欄
<p>既 設 学 部 等 に お い て 養 成 す る 人 材 像</p>	<p>【国際文化学部・国際文化学科】</p> <p>① 養成する人材像 現代世界における異文化間の相互作用並びにグローバル化による文化の変容及びコミュニケーションにかかわる教育研究を行うとともに、幅広い知識を身に付け、深い異文化理解能力及び自在なコミュニケーション能力を持つ人材を養成する。</p> <p>② 教育研究上の目的 1. 幅広い教養と高い倫理性を身につけ、豊かな感性と柔軟な思考力をもって、自ら判断し行動できる能力 2. 様々な文化や異なる社会に対する理解力を持ち、異文化間の対話と問題解決を可能にする自在なコミュニケーション能力を発揮できる能力 3. 深い異文化理解と高度な情報コミュニケーション能力、さらには学際的知識を背景に、国際化時代の社会的要請に多角的に応えることができる能力 4. 文化の諸問題を世界的視野に立って考察し、地球規模で社会に貢献できる能力を身に付けることを目的とする。</p> <p>③ 卒業後の進路 外資系の企業を含め、情報・サービス、マスコミ等の一般企業への人材の他に、外務省を中心とする国家公務員や国際協力事業団(JICA)職員、地方公務員、NGO・NPOのスタッフ、そして企業の国際部門のスタッフやシンクタンクの研究員等がある。</p>
	<p>【発達科学部】</p> <p>① 養成する人材像 広い知識と豊かな教養を授けるとともに、乳幼児期から高齢期に至るまでの人間の発達及びそれを取り巻く環境について様々な側面から教育研究し、これらに関する専門的知見及び問題解決能力をもった、自律的な人材を養成する。</p> <p>② 教育研究上の目的 人間の発達及びそれを取り巻く環境に関する高度な専門性を学ぶとともに多様な専門性を統合する広い視野と強靱な思考力、人間の多様な生き方・価値観を深く洞察する能力、学問や方法論の多様性、価値観や認識の違いを寛大に認めあい自由闊達な議論を通じたユニークな創造力、教育・心理・身体・健康・芸術表現・生活・情報・自然・社会に関わる多様な諸領域において実践的に問題を解決していく能力。</p>
	<p>【発達科学部・人間形成学科】</p> <p>① 養成する人材像 広い知識を授けるとともに、人間の誕生から高齢期に至るころ及び諸能力の発達並びに人間形成にかかわる諸要因について、社会的及び文化的な観点から教育研究を行い、教養並びに心理、発達、教育及び学習に係る専門的な知識を身に付けた人材を養成する。</p> <p>② 教育研究上の目的 1. 人間の誕生から高齢期に至るころ及び諸能力の発達並びに人間形成に関わる諸要因について、社会的及び文化的な観点から専門的な知識を身につける。 2. 人間の形成をめぐる諸課題に対して、個別専門領域にとどまることのない包括的、学際的な問題解決能力を身につけることができる。</p> <p>③ 卒業後の進路 人間への共感能力を養い、様々な現場・フィールドで人間の和を広げ、人間の発達に直接関与していける人材の育成を目指す。例えば、小学校教員や幼稚園教員、国や地方自治体の行政機関職員、非営利団体等の福祉関連施設職員、企業の人事・教育研修部門の職員等での活躍が期待される。</p>
	<p>【発達科学部・人間行動学科】</p> <p>① 養成する人材像 広い知識を授けるとともに、人間の行動について、健康発達、行動発達及び身体行動の解析及び応用の視点により、自然科学及び人文・社会科学の面から総合的に教育研究を行い、教養及び各年代における健康課題の解決策、子どもから高齢者に至る人間の行動の発達及び適応を多面的に解明する能力並びに運動・スポーツ等身体活動にかかわる高度な知識及び活動的な生活の実践力を有する人材を養成する。</p> <p>② 教育研究上の目的 1. 人間の発達と行動について、健康発達、行動発達、身体行動の観点から幅広い学際的な知識を習得し、各ライフステージにおける多様な人間行動を科学的に考察する洞察力を身につける。 2. 人間の生涯発達における、心身の健康、加齢と適応、身体活動や運動の実践に関する専門的知識を習得するとともに、諸課題に対して実践的に取り組む問題解決能力を身につけることができる。</p> <p>③ 卒業後の進路 新しい人間行動の追求とその原理を解明する教育・研究を行う。進路には、行政機関の健康・スポーツ文化事業等の指導者、健康・スポーツ関連企業、中学校教員、高等学校教員等がある。</p>
	<p>【発達科学部・人間表現学科】</p> <p>① 養成する人材像 広い知識を授けるとともに、音楽、造形、パフォーマンスアート等の人間の様々な表現や創造活動について教育研究を行い、教養、表現領域についての幅広い知識並びに個々の領域における専門的な知識及び技術を身に付け、研究、創造及び社会的実践に関する能力を有する人材を養成する。</p> <p>② 教育研究上の目的 1. 人間の創造的表現に関する理論的・実践的な関心を問題化し、探求することで、人間の表現活動に関する鋭い洞察力と創造力を身につける。 2. 人間の多様な表現形式の壁を越えた複眼的なアプローチと連携を通じて、新しい表現と価値を生み出す能力を身につけることができる。</p> <p>③ 卒業後の進路 感性的表現活動に加え、芸術療法を用いた心のケアなど、文化に関する深い理解と洞察力を身につける新しい文化のファンリテータ(牽引者)を育成。例えば、行政や自治体の芸術文化事業等の指導者、非営利団体等による福祉関連事業の指導者等がある。</p>
<p>【発達科学部・人間環境学科】</p> <p>① 養成する人材像 広い知識を授けるとともに、人間の発達の在り方に深くかかわる環境の諸問題を総合的・学際的に探究し、自然環境、数理情報環境、生活環境及び社会環境の視点から教育研究を行い、理系・文系の枠を超え、教養及び多様な専門的知識を身に付け、それらの統合・融合を積極的に図り、新たな人間環境の創造に向け、理論的・実践的な問題解決の能力を有する人材を養成する。</p> <p>② 教育研究上の目的 1. 人間の発達を支え、助け、促すための環境のあり方について、多様な学問分野を横断する幅広い研究視点・方法を身につける。 2. 実験、フィールドワーク、シミュレーション、情報・統計分析、文献調査などの多彩な研究活動を通じて、考察する力を持ち、問題解決に向けて実践的に挑戦できる能力を身につけることができる。</p> <p>③ 卒業後の進路 環境保全、都市開発、街づくり、農村計画、防災政策、コミュニティ政策などに携わる国家・地方公務員、企業のインフラ、エネルギー、ディベロッパーなどの環境形成に関する部門の指導者等。</p>	

事 項	記 入 欄
<p>新 設 学 部 等 に お い て 取 得 可 能 な 資 格</p>	<p>【国際人間科学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学芸員 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②資格取得が可能 ③追加して科目を履修する必要がある
	<p>【国際人間科学部・グローバル文化学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校教諭一種 英語 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②資格取得が可能 ③追加して科目を履修する必要がある ・高等学校教諭一種 英語 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②資格取得が可能 ③追加して科目を履修する必要がある
	<p>【国際人間科学部・発達コミュニティ学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校教諭一種 保健体育, 音楽, 美術 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②資格取得が可能 ③追加して科目を履修する必要がある ・高等学校教諭一種 保健体育, 音楽, 美術 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②資格取得が可能 ③追加して科目を履修する必要がある
	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育主事 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②講習会免除 ③追加して科目を履修する必要がある
	<p>【国際人間科学部・環境共生学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校教諭一種 理科, 数学, 家庭, 社会 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②資格取得が可能 ③追加して科目を履修する必要がある ・高等学校教諭一種 理科, 数学, 家庭, 地理歴史, 公民 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②資格取得が可能 ③追加して科目を履修する必要がある
	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育主事 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②講習会免除 ③追加して科目を履修する必要がある <p>【国際人間科学部・子ども教育学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教諭一種 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②資格取得が可能 ③追加して科目を履修する必要がある ・小学校教諭一種 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②資格取得が可能 ③追加して科目を履修する必要がある ・特別支援学校教諭一種 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②資格取得が可能 ③追加して科目を履修する必要がある ・社会教育主事 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②講習会免除 ③追加して科目を履修する必要がある
<p>既 設 学 部 等 に お い て 取 得 可 能 な 資 格</p>	<p>【国際文化学部・国際文化学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学芸員 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②資格取得が可能 ③追加して科目を履修する必要がある
	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校教諭一種 英語 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②資格取得が可能 ③追加して科目を履修する必要がある ・高等学校教諭一種 英語 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②資格取得が可能 ③追加して科目を履修する必要がある

事 項	記 入 欄
既 設 学 部 等 に お い て 取 得 可 能 な 資 格	<p>【発達科学部・人間形成学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教諭一種 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②資格取得が可能 ③追加して科目を履修する必要がある ・小学校教諭一種 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②資格取得が可能 ③追加して科目を履修する必要がある ・特別支援学校教諭一種 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②資格取得が可能 ③追加して科目を履修する必要がある ・学芸員 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②資格取得が可能 ③追加して科目を履修する必要がある ・社会教育主事 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②講習会免除 ③追加して科目を履修する必要がある
	<p>【発達科学部・人間行動学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校教諭一種 保健体育 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②資格取得が可能 ③追加して科目を履修する必要がある ・高等学校教諭一種 保健体育 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②資格取得が可能 ③追加して科目を履修する必要がある ・学芸員 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②資格取得が可能 ③追加して科目を履修する必要がある ・社会教育主事 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②講習会免除 ③追加して科目を履修する必要がある
	<p>【発達科学部・人間表現学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校教諭一種 音楽, 美術 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②資格取得が可能 ③追加して科目を履修する必要がある ・高等学校教諭一種 音楽, 美術 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②資格取得が可能 ③追加して科目を履修する必要がある ・学芸員 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②資格取得が可能 ③追加して科目を履修する必要がある ・社会教育主事 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②講習会免除 ③追加して科目を履修する必要がある
	<p>【発達科学部・人間環境学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校教諭一種 理科, 数学, 家庭, 社会 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②資格取得が可能 ③追加して科目を履修する必要がある ・高等学校教諭一種 理科, 数学, 家庭, 地理歴史, 公民 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②資格取得が可能 ③追加して科目を履修する必要がある ・学芸員 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②資格取得が可能 ③追加して科目を履修する必要がある ・社会教育主事 <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格 ②講習会免除 ③追加して科目を履修する必要がある

新設学部等の概要	新設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動元		助教以上
	国際人間科学部 [Faculty of Global Human Sciences]	グローバル文化学科 [Department of Global Cultures]	4	140	-	560	学士(学術)	文学関係, 法学関係, 経済学関係, 社会学・社会福祉学関係	平成29年4月	国際文化学科	56	33
新設学部等の概要	国際人間科学部 [Faculty of Global Human Sciences]	グローバル文化学科 [Department of Global Cultures]	4	140	-	560	学士(学術)	文学関係, 法学関係, 経済学関係, 社会学・社会福祉学関係	平成29年4月	新規採用	11	8
										計	67	41
	発達科学部 [Department of Human Development and Community]	発達コミュニティ学科 [Department of Human Development and Community]	4	100	3年次5	410	学士(学術)	文学関係, 教育学・保育学関係, 社会学・社会福祉学関係, 美術関係, 音楽関係, 体育関係	平成29年4月1年次 平成31年4月3年次	人間形成学科	12	5
										人間行動学科	16	8
										人間表現学科	10	2
										新規採用	6	
	計	44	15									
	環境共生学部 [Department of Environment and Sustainability]	環境共生学科 [Department of Environment and Sustainability]	4	80	3年次3	326	学士(学術)	法学関係, 経済学関係, 社会学・社会福祉学関係, 理学関係, 工学関係, 農学関係, 家政関係	平成29年4月1年次 平成31年4月3年次	人間環境学科	31	13
										新規採用	6	
	計	37	13									
	子ども教育学部 [Department of Child Education]	子ども教育学科 [Department of Child Education]	4	50	3年次2	204	学士(学術), 学士(教育学)	文学関係, 教育学・保育学関係	平成29年4月1年次 平成31年4月3年次	人間形成学科	19	9
										新規採用	2	
計										21	9	
既設学部等の概要	既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動先		助教以上
	国際文化学部(廃止)	国際文化学科	4	140	-	560	学士(国際文化学)	文学関係, 教育学・保育学関係, 法学関係, 経済学関係, 社会学・社会福祉学関係, 工学関係, 美術関係, 体育関係	平成4年10月	グローバル文化学科	56	33

【備考欄】

文学部人文学科〔定員減〕	(△15)	(平成29年4月)
理学部数学科〔定員増〕	(3)	(平成29年4月)
化学科〔定員増〕	(5)	(平成29年4月)
生物学科〔定員増〕	(5)	(平成29年4月)
工学部建築学科〔定員増〕	(3)	(平成29年4月)
市民工学科〔定員増〕	(3)	(平成29年4月)
電気電子工学科〔定員増〕	(3)	(平成29年4月)
機械工学科〔定員増〕	(3)	(平成29年4月)
応用化学科〔定員増〕	(6)	(平成29年4月)
情報知能工学科〔定員増〕	(7)	(平成29年4月)
農学部食料環境システム学科〔定員増〕	(1)	(平成29年4月)
資源生命科学科〔定員増〕	(2)	(平成29年4月)
生命機能科学科〔定員増〕	(7)	(平成29年4月)
経済学研究科経済学専攻(D)〔定員減〕	(△2)	(平成29年4月)
医学研究科医科学専攻(D)〔定員増〕	(22)	(平成29年4月)
国際協力研究科国際開発政策専攻(D)〔定員減〕	(△1)	(平成29年4月)
地域協力政策専攻(D)〔定員減〕	(△1)	(平成29年4月)
海事科学研究科海事科学専攻(M)〔定員増〕	(15)	(平成29年4月)

教育課程等の概要(事前伺い)

(国際人間科学部グローバル文化学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学共通授業科目	人文系	論理学	1②-2④	1		○										
		教育学A	1②-2④	1		○										
		教育学B	1②-2④	1		○										
		小計(3科目)	-	0	3	0	-		0	0	0	0	0		-	
	社会科学系	法学A	1②-2④	1		○										
		法学B	1②-2④	1		○										
		経済学A	1②-2④	1		○										
		経済学B	1②-2④	1		○										
		地理学	1②-2④	1		○										
		小計(5科目)	-	0	5	0	-		0	0	0	0	0		-	
	生命科学系	医学A	1②-2④	1		○										
		医学B	1②-2④	1		○										
		保健学A	1②-2④	1		○										
		保健学B	1②-2④	1		○										
		健康科学A	1②-2④	1		○										
		健康科学B	1②-2④	1		○										
		生物学A	1②-2④	1		○									共同	
		生物学B	1②-2④	1		○									共同	
		生物学C	1②-2④	1		○										
	小計(9科目)	-	0	9	0	-		0	0	0	0	0		-		
自然科学系	数学A	1②-2④	1		○											
	数学B	1②-2④	1		○											
	数学C	1②-2④	1		○											
	物理学A	1②-2④	1		○											
	物理学B	1②-2④	1		○											
	化学A	1②-2④	1		○									オムニハス		
	化学B	1②-2④	1		○									オムニハス		
	化学C	1②-2④	1		○									オムニハス		
	化学D	1②-2④	1		○									オムニハス		
	惑星学A	1②-2④	1		○									オムニハス		
	惑星学B	1②-2④	1		○									オムニハス		
	惑星学C	1②-2④	1		○									オムニハス		
	小計(12科目)	-	0	12	0	-		0	0	0	0	0		-		
総合教養科目	(1) 多文化理解	教育と人間形成	1②-2④	1		○										
		文学A	1②-2④	1		○										
		文学B	1②-2④	1		○						1				
		言語科学A	1②-2④	1		○					1					
		言語科学B	1②-2④	1		○					1					
		芸術と文化A	1②-2④	1		○						1				
		芸術と文化B	1②-2④	1		○						2				
		日本史A	1②-2④	1		○					1					
		日本史B	1②-2④	1		○					1					
		東洋史A	1②-2④	1		○										
		東洋史B	1②-2④	1		○										
		アジア史A	1②-2④	1		○					2					
		アジア史B	1②-2④	1		○					2					
		西洋史A	1②-2④	1		○						1				
		西洋史B	1②-2④	1		○						1				
		考古学A	1②-2④	1		○										
		考古学B	1②-2④	1		○										
		芸術史A	1②-2④	1		○										
		芸術史B	1②-2④	1		○										
		美術史A	1②-2④	1		○										
美術史B	1②-2④	1		○												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
全学共通授業科目	(1) 多文化理解	科学史A	1②-2④	1		○			1								
		科学史B	1②-2④	1		○			1								
		社会思想史	1②-2④	1		○			1								
		文化人類学	1②-2④	1		○			1	2							
		現代社会論A	1②-2④	1		○											
		現代社会論B	1②-2④	1		○											
		越境する文化	1②-2④	1		○					1						
		生活環境と技術	1②-2④	1		○											
		学校教育と社会	1②-2④	1		○											
		か好の文化学A	1②-2④	1		○											
		か好の文化学B	1②-2④	1		○											
		小計 (32科目)		—	0	32	0	—		12	9	0	0	0		—	
	(2) 自然界の成り立ち	科学技術と倫理	1②-2④	1		○											
		現代物理学が描く世界	1②-2④	1		○											
		身近な物理法則	1②-2④	1		○											
		か好の自然学	1②-2④	1		○											
		ものづくりと科学技術A	1②-2④	1		○										オムニハス	
		ものづくりと科学技術B	1②-2④	1		○										オムニハス	
		生命科学A	1②-2④	1		○											
		生命科学B	1②-2④	1		○											
		生物資源と農業A	1②-2④	1		○											オムニハス
		生物資源と農業B	1②-2④	1		○											オムニハス
		生物資源と農業C	1②-2④	1		○											オムニハス
		生物資源と農業D	1②-2④	1		○											オムニハス
	小計 (12科目)		—	0	12	0	—		0	0	0	0	0		—		
	(3) グローバルイシュー	環境学入門A	1②-2④	1		○											
		環境学入門B	1②-2④	1		○											
		社会と人権A	1②-2④	1		○											
		社会と人権B	1②-2④	1		○											
		男女共同参画とジェンダー-A	1②-2④	1		○				1						オムニハス	
		男女共同参画とジェンダー-B	1②-2④	1		○				1						オムニハス	
		グローバルリーダーシップ 育成基礎演習	1②-2④	2		○										共同	
		EU基礎論	1②-2④	1		○				1	1					オムニハス	
		国際協力の現状と課題A	1②-2④	1		○											
		国際協力の現状と課題B	1②-2④	1		○											
		政治と社会	1②-2④	1		○				2	1						
		社会生活と法	1②-2④	1		○				2							
		国家と法	1②-2④	1		○											
		現代の経済A	1②-2④	1		○											
		現代の経済B	1②-2④	1		○											
		経済社会の発展	1②-2④	1		○											
		企業と経営	1②-2④	1		○											
		地球史における生物の変遷	1②-2④	1		○											
生物の環境適応		1②-2④	1		○												
人間活動と地球生態系		1②-2④	1		○												
食と健康A		1②-2④	1		○											オムニハス	
食と健康B		1②-2④	1		○											オムニハス	
資源・材料とエネルギー-A		1②-2④	1		○											オムニハス	
資源・材料とエネルギー-B		1②-2④	1		○											オムニハス	
小計 (24科目)		—	0	25	0	—		7	2	0	0	0		—			
(4) ESD	ESD基礎(持続可能な社会づくり1)A	1②-2④	1		○												
	ESD基礎(持続可能な社会づくり1)B	1②-2④	1		○												
	ESD論(持続可能な社会づくり2)A	1②-2④	1		○												
	ESD論(持続可能な社会づくり2)B	1②-2④	1		○												
	ESD生涯学習論A	1②-2④	1		○												
	ESD生涯学習論B	1②-2④	1		○												
	ESDポランティア論	1②-2④	1		○											オムニハス・共同(一部)	
小計 (7科目)		—	0	7	0	—		0	0	0	0	0		—			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学共通授業科目	(5) キャリア科目	企業社会論A	1②-2④		1		○									オムニバス
		企業社会論B	1②-2④		1		○									オムニバス
		職業と学び-キャリアデザインを考えるA	1②-2④		1		○									
		職業と学び-キャリアデザインを考えるB	1②-2④		1		○									
		社会基礎学(グローバル人材に不可欠な教養)	1②-2④		2		○									
		ボランティアと社会貢献活動A	1②-2④		1		○									
		ボランティアと社会貢献活動B	1②-2④		1		○									
		グローバルチャレンジ実習	1②-2④		1又は2											
	小計(8科目)		—	0	9又は10	0	—		0	0	0	0	0	0	—	
	(6) 神戸学	神戸大学史A	1②-2④		1		○									オムニバス
		神戸大学史B	1②-2④		1		○			1						オムニバス
		神戸大学の研究最前線A	1②-2④		1		○									
		神戸大学の研究最前線B	1②-2④		1		○									
		阪神・淡路大震災A	1②-2④		1		○									オムニバス
		阪神・淡路大震災B	1②-2④		1		○									オムニバス
海への誘い		1②-2④		2		○										
瀬戸内海学入門		1②-2④		2		○										
小計(8科目)		—	0	10	0	—		1	0	0	0	0	—			
外国語科目	外国語第I	English Communication A1	1①	0.5			○			1	1					
		English Communication A2	1②	0.5			○			1	1					
		English Communication B1	1③	0.5			○			3	1					
		English Communication B2	1④	0.5			○			3	1					
		English Literacy A1	1①	0.5			○				2					
		English Literacy A2	1②	0.5			○				2					
		English Literacy B1	1③	0.5			○			1						
		English Literacy B2	1④	0.5			○			1						
		Autonomous English 1	1①	0.5			○			3	1					
		Autonomous English 2	1②	0.5			○			3	1					
		Advanced English A1	2①・2③	0.5			○			1						
		Advanced English A2	2②・2④	0.5			○			1						
		Advanced English B	2①-2④	0.5			○			1						
		Advanced English C	2①・2②	1			○									
		Advanced English GEC (Productive) 1	1③	0.5			○									
		Advanced English GEC (Productive) 2	1④	0.5			○									
		Advanced English GEC(海外研修)	1④	1			○									
		Advanced English GEC(プレゼンテーション)1	2①	0.5			○									
		Advanced English GEC(プレゼンテーション)2	2②	0.5			○									
		Advanced English GEC(ライティング)1	2①	0.5			○									
		Advanced English GEC(ライティング)2	2②	0.5			○									
		Advanced English GEC(ディスカッション)1	2①	0.5			○									
		Advanced English GEC(ディスカッション)2	2②	0.5			○									
小計(23科目)		—	5	7.5	0	—		19	10	0	0	0	—			
外国語第II	トイ語初級A1	1①		0.5			○			1	2					
	トイ語初級A2	1②		0.5			○			1	2					
	トイ語初級B1	1①		0.5			○									
	トイ語初級B2	1②		0.5			○									
	トイ語初級A3	1③		0.5			○			1	2					
	トイ語初級A4	1④		0.5			○			1	2					
	トイ語初級B3	1③		0.5			○									
	トイ語初級B4	1④		0.5			○									
	トイ語初級SA3	1③		0.5			○									
	トイ語初級SA4	1④		0.5			○									
	トイ語初級SB3	1③		0.5			○									
	トイ語初級SB4	1④		0.5			○									
	トイ語中級C1	2①		0.5			○			1						
	トイ語中級C2	2②		0.5			○			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学共通授業科目	外国語第Ⅱ	フランス語初級A1	1①		0.5			○		1						
		フランス語初級A2	1②		0.5			○		1						
		フランス語初級B1	1①		0.5			○								
		フランス語初級B2	1②		0.5			○								
		フランス語初級A3	1③		0.5			○		1						
		フランス語初級A4	1④		0.5			○		1						
		フランス語初級B3	1③		0.5			○								
		フランス語初級B4	1④		0.5			○								
		フランス語初級SA3	1③		0.5			○								
		フランス語初級SA4	1④		0.5			○								
		フランス語初級SB3	1③		0.5			○								
		フランス語初級SB4	1④		0.5			○								
		フランス語中級C1	2①		0.5			○		1						
		フランス語中級C2	2②		0.5			○		1						
		中国語初級A1	1①		0.5			○								
		中国語初級A2	1②		0.5			○								
		中国語初級B1	1①		0.5			○								
		中国語初級B2	1②		0.5			○								
		中国語初級A3	1③		0.5			○								
		中国語初級A4	1④		0.5			○								
		中国語初級B3	1③		0.5			○			1					
		中国語初級B4	1④		0.5			○			1					
		中国語初級SA3	1③		0.5			○								
		中国語初級SA4	1④		0.5			○								
		中国語初級SB3	1③		0.5			○								
		中国語初級SB4	1④		0.5			○								
		中国語中級C1	2①		0.5			○								
		中国語中級C2	2②		0.5			○								
		ロシア語初級A1	1①		0.5			○				1				
		ロシア語初級A2	1②		0.5			○				1				
		ロシア語初級B1	1①		0.5			○								
		ロシア語初級B2	1②		0.5			○								
	ロシア語初級A3	1③		0.5			○				1					
	ロシア語初級A4	1④		0.5			○				1					
	ロシア語初級B3	1③		0.5			○									
	ロシア語初級B4	1④		0.5			○									
	ロシア語中級C1	2①		0.5			○									
	ロシア語中級C2	2②		0.5			○									
		小計 (52科目)	—	0	26	0	—	—	—	12	10	4	0	0	—	—
		外国語第Ⅲ	第三外国語(ドイツ語)T1	2①		0.5			○		1					
			第三外国語(ドイツ語)T2	2②		0.5			○		1					
			第三外国語(ドイツ語)T3	2③		0.5			○		1					
			第三外国語(ドイツ語)T4	2④		0.5			○		1					
			第三外国語(フランス語)T1	2①		0.5			○		1					
			第三外国語(フランス語)T2	2②		0.5			○		1					
			第三外国語(フランス語)T3	2③		0.5			○			1				
			第三外国語(フランス語)T4	2④		0.5			○			1				
		小計 (8科目)	—	0	4	0	—	—	—	6	2	0	0	0	—	—
		情報目録	情報基礎	1①	1				○							
			小計 (1科目)	—	1	0	0	—	—	—	0	0	0	0	0	—
		健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学講義A	1③		1			○							
			健康・スポーツ科学講義B	1③		1			○							
	健康・スポーツ科学講義C		1③		1			○								
	健康・スポーツ科学実習基礎1		1①	0.5												
	健康・スポーツ科学実習基礎2		1②	0.5												
	健康・スポーツ科学実習1		1③		0.5											
	健康・スポーツ科学実習2		1④		0.5											
	小計 (7科目)	—	1	4	0	—	—	—	0	0	0	0	0	—	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	学部 専攻 科目 学部 共通 基礎 科目	初年次セミナー	1①	1			○		6	3	1			兼17	
		異文化コミュニケーション論	1②		1		○		1	1				兼3	オムニバス
		協働型リーダーシップ論	1①		1		○		1					兼6	オムニバス
		国際開発援助論(JICA)1	1①	1			○		1					兼6	オムニバス
		国際開発援助論(JICA)2	1②	1			○		1					兼4	オムニバス
		コミュニティ創成論	2①	1			○							兼3	オムニバス
		フィールドワーク基礎論	1③		1		○		1					兼1	オムニバス
		異文化間教育論1	1③		1		○							兼1	
		異文化間教育論2	1④		1		○							兼1	
		ソーシャルエンバロメント論	1②		1		○							兼2	オムニバス
		情報リテラシー演習1	1③	1				○		2	1			兼3	共同
		情報リテラシー演習2	1④	1				○		2	1			兼3	共同
		小計(12科目)	—	—	6	6	0	—	—	13	6	1	0	0	兼34
学部 共通 発展 科目	学部 共通 発展 科目	外国語実習A	1~4		1			○	1						
		外国語実習B	1~4		2			○	1						
		インターンシップ実習A	1~4		1				○	1					
		インターンシップ実習B	1~4		2				○	1					
		フィールドワーク実習A	1~4		1				○	1					
		フィールドワーク実習B	1~4		2				○	1					
		フィールドワーク方法論	2①		1			○		1				兼1	オムニバス
		情報発信演習1	2①		1			○		2	1			兼2	共同
		情報発信演習2	2②		1			○		2	1			兼2	共同
		プログラミング基礎演習1	2③		1			○		2	1			兼1	共同
		プログラミング基礎演習2	2④		1			○		2	1			兼1	共同
		Academic Communication(英) A	2①	1				○			1			兼5	
		Academic Communication(英) B	2②	1				○			1			兼5	
		Academic Writing(英) A	2③		1			○			1			兼5	
		Academic Writing(英) B	2④		1			○			1			兼5	
		TOEFL演習A	1③		1			○			1			兼3	
		TOEFL演習B	1④		1			○			1			兼3	
		TOEIC演習A	2①		1			○			1			兼3	
		TOEIC演習B	2②		1			○			1			兼3	
		English Presentation Skills A	3①		1			○			1			兼3	
		English Presentation Skills B	3②		1			○			1			兼3	
		English for Professional Purposes A	3③		1			○			1			兼3	
		English for Professional Purposes B	3④		1			○			1			兼3	
		Academic Communication(独) A	2①		1			○						兼2	
		Academic Communication(独) B	2②		1			○						兼2	
		Academic Communication(仏) A	2①		1			○						兼2	
		Academic Communication(仏) B	2②		1			○						兼2	
		Academic Communication(中) A	2①		1			○				1			
		Academic Communication(中) B	2②		1			○				1			
		Academic Communication(露) A	2①		1			○						兼1	
		Academic Communication(露) B	2②		1			○						兼1	
		Academic Writing(独) A	2③		1			○						兼2	
		Academic Writing(独) B	2④		1			○						兼2	
		Academic Writing(仏) A	2③		1			○						兼2	
		Academic Writing(仏) B	2④		1			○						兼2	
		Academic Writing(中) A	2③		1			○				1			
Academic Writing(中) B	2④		1			○				1					
Academic Writing(露) A	2③		1			○						兼1			
Academic Writing(露) B	2④		1			○						兼1			
コリア語入門1	2①		1			○						兼1			
コリア語入門2	2②		1			○						兼1			
コリア語入門3	2③		1			○						兼1			
コリア語入門4	2④		1			○						兼1			
スペイン語入門1	2①		1			○						兼1			
スペイン語入門2	2②		1			○						兼1			
スペイン語入門3	2③		1			○						兼1			
スペイン語入門4	2④		1			○						兼1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目 学部 専修 科目 目	イタリア語入門1	2①		1			○								兼1		
	イタリア語入門2	2②		1			○								兼1		
	イタリア語入門3	2③		1			○								兼1		
	イタリア語入門4	2④		1			○								兼1		
	フランス語入門1	2①		1			○			1							
	フランス語入門2	2②		1			○			1							
	フランス語入門3	2③		1			○			1							
	フランス語入門4	2④		1			○			1							
	国際コミュニケーション演習A	1①		1			○									兼1	
	国際コミュニケーション演習B	1②		1			○									兼1	
	Cultures and Societies in Japan A	2①		1			○									兼1	
	Cultures and Societies in Japan B	2②		1			○									兼1	
	日本語コミュニケーション1	2①		1			○									兼1	
	日本語コミュニケーション2	2②		1			○									兼1	
	日本語文法基礎	1①～4④		1			○									兼5	
	実践日本語基礎	1①～4④		1			○									兼5	
	日本語・日本文化基礎演習	1①～4④		1				○								兼5	
	途上国農村地域開発論	2・3③		2			○									兼1	隔年
	グローバル共生社会論	1④		1			○									兼7	オムニバス
	小計 (66科目)	—		3	67	0	—			6	4	1	0	0	兼32	—	
(グローバル・スタディーズ) プログラム	グローバルイシュー概論	1①		1			○		2						兼6	オムニバス	
	グローバルイシュー演習	1②		1			○		6	3	1				兼17		
	GSP演習(リエンテーション)	1①～3①		1			○		3	1					兼12		
	留学型GSコース	1①～3④		3			○		1	1					兼6		
	実践型GSコース	1①～3④		3			○		1	1					兼6		
	研修型GSコース	1①～3④		3			○		1	1					兼6		
	GSP演習(リフレクション)	1④～3④		1			○		3	1					兼12		
小計 (7科目)	—		4	9	0	—		14	7	1	0	0	兼65	—			
学科 専修 科目 目	情報科学概論A	1①		1			○		1	1						オムニバス	
	情報科学概論B	1②		1			○		1	1						オムニバス	
	グローバル・ヒストリー-A	1①		1			○		1	1						オムニバス	
	グローバル・ヒストリー-B	1②		1			○		1	1						オムニバス	
	グローバル化と現代世界A	1③		1			○		2	1						オムニバス	
	グローバル化と現代世界B	1④		1			○		2	1						オムニバス	
	先端科学社会文化論(JAXA)1	2①		1			○		1							兼4	オムニバス
	先端科学社会文化論(JAXA)2	2②		1			○		1							兼4	オムニバス
	Lectures on Social Dynamics	2①		1			○									兼1	隔年集中
	Lectures on Cultural Formations	2①		1			○									兼1	隔年集中
	Lectures on Global Communication	2①		1			○									兼1	隔年集中
	日欧比較セミナー I A	2①		1				○								兼1	
	日欧比較セミナー I B	2②		1				○								兼1	
	日欧比較セミナー II A	2③		1				○								兼1	
	日欧比較セミナー II B	2④		1				○								兼1	
	日欧比較セミナー III A	3①		1				○								兼1	
	日欧比較セミナー III B	3②		1				○								兼1	
	Aspects of EU Culture and Society (Lecture) A	2①		1				○								兼1	
	Aspects of EU Culture and Society (Lecture) B	2②		1				○								兼1	
	Aspects of EU Culture and Society (Seminar) A	2③		1				○								兼1	
	Aspects of EU Culture and Society (Seminar) B	2④		1				○								兼1	
	EUエキスパート人材養成プログラム特別講義	2③		1				○								兼1	
	Oxbridge English Summer Camp1	1②		1						1							集中
	Oxbridge English Summer Camp2	2②		1						1							集中
	Oxbridge English Summer Camp3	3②		1						1							集中
小計 (25科目)	—		0	25	0	—			5	3	0	0	0	兼15	—		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目 学科専門科目	文化政策論A	1③		1		○			1							
	文化政策論B	1④		1		○			1							
	日本社会文化論A	1①		1		○				1						
	日本社会文化論B	1②		1		○				1						
	中国社会文化論A	1①		1		○			1							
	中国社会文化論B	1②		1		○			1							
	環大西洋文化論A	1①		1		○				1						
	環大西洋文化論B	1②		1		○				1						
	近現代社会思想論A	1③		1		○			1							
	近現代社会思想論B	1④		1		○			1							
	現代社会理論A	1①		1		○			1							
	現代社会理論B	1②		1		○			1							
	文化人類学1	1①		1		○				1						
	文化人類学2	1②		1		○				1						
	国際関係論A	1③		1		○			1							
	国際関係論B	1④		1		○			1							
	第二言語習得論1	1③		1		○			1							
	第二言語習得論2	1④		1		○			1							
	非言語コミュニケーション論1	1③		1		○				1						
	非言語コミュニケーション論2	1④		1		○				1						
	現代IT入門A	1③		1		○			1							
	現代IT入門B	1④		1		○			1							
小計 (22科目)		—	0	22	0	—			7	4	0	0	0	兼0	—	
学科展開科目 学科専門科目	近現代表象文化論A	2③		1		○			1							
	近現代表象文化論B	2④		1		○			1							
	近現代文化言説論A	2①		1		○				1						
	近現代文化言説論B	2②		1		○				1						
	近現代モード論A	2③		1		○				1						
	近現代モード論B	2④		1		○				1						
	近現代アート論A	2①		1		○				1						
	近現代アート論B	2②		1		○				1						
	アートマネジメント論1	2①		1		○			1							
	アートマネジメント論2	2②		1		○				1						
	表象文化形成論A	2③		1		○			1							
	表象文化形成論B	2④		1		○			1							
	視覚文化論A	2①		1		○			1							
	視覚文化論B	2②		1		○			1							
	科学技術文明論1	2③		1		○			1							
	科学技術文明論2	2④		1		○			1							
	文化翻訳論1	2①		1		○				1						
	文化翻訳論2	2②		1		○				1						
	比較文化論1	2③		1		○			1							
	比較文化論2	2④		1		○			1							
	ヨーロッパ文化形成論A	2③		1		○				1						
	ヨーロッパ文化形成論B	2④		1		○				1						
	日本歴史文化論A	2①		1		○			1							
	日本歴史文化論B	2②		1		○			1							
	日本思想文化論A	2③		1		○				1						
	日本思想文化論B	2④		1		○				1						
	日本メディア文化論A	2①		1		○				1						
日本メディア文化論B	2②		1		○				1							
日本文化交流論A	2③		1		○			1								
日本文化交流論B	2④		1		○			1								
東アジア政治社会論A	2③		1		○				1							
東アジア政治社会論B	2④		1		○				1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 学科専門科目	オセアニア社会文化論A	2③		1		○			1						
	オセアニア社会文化論B	2④		1		○			1						
	北アジア歴史社会論A	2①		1		○			1						
	北アジア歴史社会論B	2②		1		○			1						
	東南アジア政治文化論A	2①		1		○			1						
	東南アジア政治文化論B	2②		1		○			1						
	東南アジア社会文化論A	2③		1		○				1					
	東南アジア社会文化論B	2④		1		○				1					
	ヨーロッパ社会文化論A	2①		1		○			1						
	ヨーロッパ社会文化論B	2②		1		○			1						
	東欧・ロシア社会文化論A	2③		1		○					1				
	東欧・ロシア社会文化論B	2④		1		○					1				
	ロシア・東アジア社会文化論A	2①		1		○				1					
	ロシア・東アジア社会文化論B	2②		1		○				1					
	アメリカ文化論A	2①		1		○			1						
	アメリカ文化論B	2②		1		○			1						
	アメリカ社会論A	2①		1		○				1					
	アメリカ社会論B	2②		1		○				1					
	宗教文化論1	2③		1		○			1						
	宗教文化論2	2④		1		○			1						
	英米テキスト文化論A	2③		1		○			3						
	英米テキスト文化論B	2④		1		○			3						
	近現代政治思想論A	2①		1		○			1						
	近現代政治思想論B	2②		1		○			1						
	近現代経済思想論1	2③		1		○			1						
	近現代経済思想論2	2④		1		○			1						
	ジェンダー社会文化論A	2①		1		○			1						
	ジェンダー社会文化論B	2②		1		○			1						
	グローバル正義論A	2③		1		○			1						
	グローバル正義論B	2④		1		○			1						
	メディア社会文化論A	2①		1		○			1						
	メディア社会文化論B	2②		1		○			1						
	越境社会学A	2①		1		○					1				
	越境社会学B	2②		1		○					1				
	現代社会人類学1	2③		1		○			1						
	現代社会人類学2	2④		1		○			1						
	文化混交論1	2③		1		○				1					
	文化混交論2	2④		1		○				1					
	現代民族誌学1	2③		1		○			1						
	現代民族誌学2	2④		1		○			1						
	比較民族学1	2①		1		○			1						
	比較民族学2	2②		1		○			1						
	比較政治社会論A	2①		1		○			1						
	比較政治社会論B	2②		1		○			1						
	平和構築論A	2③		1		○				1					
	平和構築論B	2④		1		○				1					
	比較政策論A	2③		1		○				1					
比較政策論B	2④		1		○				1						
多文化政治社会論A	2①		1		○				1						
多文化政治社会論B	2②		1		○				1						
コミュニケーション表現論1	2③		1		○			1							
コミュニケーション表現論2	2④		1		○			1							
言語機能論1	2③		1		○			1							
言語機能論2	2④		1		○			1							
グローバル・インク・リッシュ・ヒストリー1	2①		1		○									兼1	
グローバル・インク・リッシュ・ヒストリー2	2②		1		○									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 学科専門科目	翻訳コミュニケーション論1	2③		1		○			1						
	翻訳コミュニケーション論2	2④		1		○			1						
	認知コミュニケーション論1	2①		1		○			1						
	認知コミュニケーション論2	2②		1		○			1						
	音声コミュニケーション論1	2③		1		○			1						
	音声コミュニケーション論2	2④		1		○			1						
	コミュニケーション構造論1	2①		1		○			1						
	コミュニケーション構造論2	2②		1		○			1						
	コミュニケーション比較論A	2③		1		○			1						
	コミュニケーション比較論B	2④		1		○			1						
	ITコミュニケーションデザインA	2①		1		○				1					
	ITコミュニケーションデザインB	2②		1		○				1					
	統計情報処理1	2③		1		○			1						
	統計情報処理2	2④		1		○			1						
	データマネジメント1	2①		1		○				1					
	データマネジメント2	2②		1		○				1					
	社会システム科学A	2③		1		○			1						
	社会システム科学B	2④		1		○			1						
	コミュニティと都市1	3①		1			○								兼1
	コミュニティと都市2	3②		1			○								兼1
	シトリカル・アート論1	2①		1			○								兼1
	シトリカル・アート論2	2②		1			○								兼1
	コミュニティと表象A	2③		1			○								兼1
	コミュニティと表象B	2④		1			○								兼1
	環境思想史	2・3②		2			○								兼1
	環境経済学	2①		2			○								兼1
	生活空間計画論	2①		2			○								兼1
	心理学の基礎と歩み1	1③		1			○								兼1
	心理学の基礎と歩み2	1④		1			○								兼1
	発達心理学(中・高)1	1③		1			○								兼1
	発達心理学(中・高)2	1④		1			○								兼1
	認知発達心理学1	2①		1			○								兼1
	認知発達心理学2	2②		1			○								兼1
	社会調査法1	3①		1			○								兼1
	社会調査法2	3②		1			○								兼1
	コミュニティとメディア1	3③		1			○								兼1
	コミュニティとメディア2	3④		1			○								兼1
	国際文化理解教育論1	2③		1			○								兼1
	国際文化理解教育論2	2④		1			○								兼1
	グローバル文化形成基礎演習A	1③		1				○		5	4	1			
	グローバル文化形成基礎演習B	1④		1				○		6	4				
	グローバル文化形成基礎演習C	2①		1				○		5	4	1			
	グローバル文化形成基礎演習D	2②		1				○		6	4				
	グローバル社会動態基礎演習A	1③		1				○		4	1	1			
	グローバル社会動態基礎演習B	1④		1				○		4	2				
	グローバル社会動態基礎演習C	2①		1				○		4	1	1			
	グローバル社会動態基礎演習D	2②		1				○		4	2				
	グローバルコミュニケーション基礎演習A	1③		1				○		3	1	1			
	グローバルコミュニケーション基礎演習B	1④		1				○		4	1				
	グローバルコミュニケーション基礎演習C	2①		1				○		3	1	1			
グローバルコミュニケーション基礎演習D	2②		1				○		4	1					
グローバル文化形成発展演習A	2③		1				○		5	4	1				
グローバル文化形成発展演習B	2④		1				○		6	4					
グローバル文化形成発展演習C	3①		1				○		5	4	1				
グローバル文化形成発展演習D	3②		1				○		6	4					
グローバル社会動態発展演習A	2③		1				○		4	1	1				
グローバル社会動態発展演習B	2④		1				○		4	2					
グローバル社会動態発展演習C	3①		1				○		4	1	1				
グローバル社会動態発展演習D	3②		1				○		4	2					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 学科学科 展開科目 （グローバル文化学）	グローバルコミュニケーション発展演習A	2③		1			○		3	1	1				
	グローバルコミュニケーション発展演習B	2④		1			○		4	1					
	グローバルコミュニケーション発展演習C	3①		1			○		3	1	1				
	グローバルコミュニケーション発展演習D	3②		1			○		4	1					
	日本語・日本事情演習	2③		1			○							兼1	
	グローバル文化特別演習A	3③	1				○		41	22	4				
	グローバル文化特別演習B	3④	1				○		41	22	4				
	グローバル文化特別演習C	4①	1				○		41	22	4				
	グローバル文化特別演習D	4②	1				○		41	22	4				
	卒業研究	4通	10				○		41	22	4				
	小計（157科目）	—	—	14	155	0	—	—	41	22	4	0	0	兼13	—
資格免許のための科目	日本国憲法1	2③		1			○								
	日本国憲法2	2④		1			○								
	教職論（中・高）1	1		1			○								集中
	教職論（中・高）2	1		1			○								集中
	教育原理1	1③		1			○								
	教育原理2	1④		1			○								
	教育史1	2①		1			○								
	教育史2	2②		1			○								
	青年心理学1	2③		1			○								
	青年心理学2	2④		1			○								
	教育行政学（中・高）1	1③		1			○								
	教育行政学（中・高）2	1④		1			○								
	教育経営学（中・高）1	2①		1			○								
	教育経営学（中・高）2	2②		1			○								
	中等カリキュラム論1	2		1			○								集中
	中等カリキュラム論2	2		1			○								集中
	中等道徳教育論1	2		1			○								集中
	中等道徳教育論2	2		1			○								集中
	中等特別活動指導論1	3①		1			○								
	中等特別活動指導論2	3②		1			○								
	中等学習指導論1	2		1			○								集中
	中等学習指導論2	2		1			○								集中
	中等生徒指導論1	3①		1			○								
	中等生徒指導論2	3②		1			○								
	中等学校教育相談1	2①		1			○								
	中等学校教育相談2	2②		1			○								
	中等教育事前・事後指導	3①		1					○						
	中学校教育実地研究A	3①		2					○	○					
	中学校教育実地研究B	3②		2					○	○					
	高等学校教育実地研究	3①		2					○	○					
	教職実践演習（中・高）1	4③		1				○							
	教職実践演習（中・高）2	4④		1				○							
	工芸実践演習1	2③		1				○							
	工芸実践演習2	2④		1				○							
ソルフェージュ1	1③		1				○								
ソルフェージュ2	1④		1				○								
先端表現演習1	3①		1				○							集中	
先端表現演習2	3②		1				○							集中	
英語科教育論A1	2		1				○							隔年集中	
英語科教育論A2	2		1				○							隔年集中	
英語科教育論B1	2③		1				○							隔年	
英語科教育論B2	2④		1				○							隔年	
英語科教育論C1	3		1				○							隔年集中	
英語科教育論C2	3		1				○							隔年集中	
英語科教育論D1	3③		1				○							隔年	
英語科教育論D2	3④		1				○							隔年	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
資格免許のための科目	保健体育科教育論A1	2①		1		○											
	保健体育科教育論A2	2②		1		○											
	保健体育科教育論B1	2③		1		○											
	保健体育科教育論B2	2④		1		○											
	保健体育科教育論C1	3・4①		1		○										隔年	
	保健体育科教育論C2	3・4②		1		○										隔年, オムニバス	
	保健体育科教育論D1	3・4①		1		○										隔年	
	保健体育科教育論D2	3・4②		1		○										隔年	
	音楽科教育論A1	2①		1		○											集中
	音楽科教育論A2	2②		1		○											集中
	音楽科教育論B1	2③		1		○											集中
	音楽科教育論B2	2④		1		○											集中
	音楽科教育論C1	3・4①		1		○											隔年
	音楽科教育論C2	3・4②		1		○											隔年
	音楽科教育論D1	3・4③		1		○											隔年
	音楽科教育論D2	3・4④		1		○											隔年
	美術科教育論A1	2①		1		○											
	美術科教育論A2	2②		1		○											
	美術科教育論B1	3①		1		○											
	美術科教育論B2	3②		1		○											
	美術科教育論C1	2③		1		○											
	美術科教育論C2	2④		1		○											
	美術科教育論D1	3③		1		○											
	美術科教育論D2	3④		1		○											
	理科教育論A	2		2		○											集中
	理科教育論B	2		2		○											集中
	理科教育論C	3		2		○											集中
	理科教育論D	3		2		○											集中
	数学科教育論A1	2①		1		○											
	数学科教育論A2	2②		1		○											
	数学科教育論B1	2③		1		○											
	数学科教育論B2	2④		1		○											
	数学科教育論C1	3①		1		○											
	数学科教育論C2	3②		1		○											
	数学科教育論D1	3③		1		○											
	数学科教育論D2	3④		1		○											
	家庭科教育論A	2		2		○											集中
	家庭科教育論B	3		2		○											集中
	家庭科教育論C1	3①		1		○											
	家庭科教育論C2	3②		1		○											
	家庭科教育論D1	3③		1		○											
	家庭科教育論D2	3④		1		○											
	社会科教育論A1	2		1		○											集中
	社会科教育論A2	2		1		○											集中
	社会科教育論B1	2		1		○											集中
	社会科教育論B2	2		1		○											集中
公民科教育論1	2		1		○											集中	
公民科教育論2	2		1		○											集中	
社会科・公民科教育論1	3①		1		○												
社会科・公民科教育論2	3②		1		○												
地歴科教育論1	2①		1		○												
地歴科教育論2	2②		1		○												
社会科・地歴科教育論1	2		1		○											集中	
社会科・地歴科教育論2	2		1		○											集中	
博物館概論1	2①		1		○												
博物館概論2	2②		1		○												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
資格免許のための科目	博物館経営論1	2③		1		○									集中 集中
	博物館経営論2	2④		1		○									
	博物館資料論1	3③		1		○									
	博物館資料論2	3④		1		○									
	博物館展示論1	2①		1		○									
	博物館展示論2	2②		1		○									
	博物館教育論1	2		1		○									
	博物館教育論2	2		1		○									
	博物館情報・メディア論1	2③		1		○									
	博物館情報・メディア論2	2④		1		○									
	博物館実習	2①～3④		3				○							
	小計 (113科目)	-	0	124	0	-			0	0	0	0	0	-	
	合計 (613科目)		-	34	573.5 又は 574.5	0	-		41	22	4				
学位又は称号	学士 (学術)		学位又は学科の分野				文学関係, 法学関係, 経済学関係, 社会学・社会福祉学関係								

I 設置の趣旨・必要性

(設置の背景・必要性)

情報通信技術が爆発的に進展し、経済・社会の活動範囲が地球規模で広がるグローバル化が急速に進行する中、ヒト、モノ、カネ、情報がかつてない規模とスピードで地球上を自由に行き来するようになった。そこでは、人類の更なる発展が期待される一方で、地球規模での競争の激化を背景に、様々なレベルで価値観の衝突や知識・富の偏在等の問題が懸念されている。しかも、我が国は諸外国に先駆けて超高齢社会に突入し、少子化の動きと相まって急激な人口減少による地方消滅の危機が指摘されている。

こうした現実を前に、私たちは、国民一人ひとりに豊かで安心できる生活を確保するため、一刻も早く課題克服の道筋を探し出し、持続的成長を果たす活力ある成熟社会を作り上げていく必要がある。今日の知識基盤社会の動向を踏まえるとき、そこで必要になるのが、新たな価値を生み出す「知」とそれを担う人材であることは、言を俟たない。

そして、こうした脈絡において、大学には強い期待が寄せられている。

例えば、中央教育審議会答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」（平成 24 年 8 月）では、「予測困難な時代」において「未来を見通し、これからの社会を担い、未知の時代を切り拓く力のある学生の育成や、将来にわたって我が国と世界の社会経済構造や文化、思想に影響を及ぼす可能性を持つ学術研究の推進などを通して、未来を形づくり、社会をリードする役割を担う」ことが、大学に求められている。

さらに、「21 世紀の日本にふさわしい教育体制を構築し、教育の再生を実行」することを目的に置かれた教育再生実行会議も、大学が「未踏の地への挑戦により新たな知を創造し、社会を変革していく主体」（「これからの大学教育等の在り方について（第三次提言）」平成 25 年 5 月）となることを期待し、最近では特に人材育成に焦点を当て、「これからの時代を生きる人たちに必要とされる資質・能力」として、「主体的に課題を発見し、解決に導く力、志、リーダーシップ」「創造性、チャレンジ精神、忍耐力、自己肯定感」「感性、思いやり、コミュニケーション能力、多様性を受容する力」を養成すべきとしている（「これからの時代に求められる資質・能力と、それを培う教育、教師の在り方（第七次提言）」平成 27 年 5 月）。

大学は今、蓄積した数多くの資源を最大限に発揮し、こうした社会の要請に積極的に応えていく必要がある。

(神戸大学のこれまでの取組)

国立大学法人神戸大学（以下、「本学」とする。）は、100 有余年の歴史と伝統を有し、開放的で国際性に富む固有の文化の下、「真摯・自由・協同」の精神を発揮し、人類社会に貢献するため、普遍的価値を有する「知」を創造するとともに、人間性豊かな指導的人材を育成することを使命とする。

そして、この使命を果たすため、本学は、昨年 4 月に新たなビジョンを策定した。そこでは、「学理と実際の調和」という基本理念に基づいて様々な連携・融合の力を最大限に発揮し、「先端研究・文理融合研究で輝く卓越研究大学」として世界最高水準の教育研究拠点の構築を構想する。その中で、教育に関しては「教育のグローバル化による世界で活躍する先導的人材の育成」を掲げ、その中核的事業として、国際文化学部と発達科学部を再編し、種々のグローバルイシュー（地球的課題）の解決に向けて多様な人々と協働しながらリーダーシップを発揮できる「協働型グローバル人材」の養成を目的とする国際人間科学部（以下、「新学部」という。）を設置する。

国際文化学部は、平成 4 年、新しい学際的な領域を開拓することを目的に、異文化理解を深め、国際社会の協調を推進するためのコミュニケーションの方法を開発することを理念として、教養部を廃止して設置された。それ以来、幅広い教養と高い倫理性を身に付け、豊かな感性と柔軟な思考力をもって自ら主体的に課題に取り組み、考え、判断し、行動できる能力等を有し、文化の諸問題を世界的視野に立って考察し、地球規模で社会に貢献できる人材を養成してきた。特に、協定大学との間で毎年相互に 40 ～ 50 名の交換留学を実施しているほか、卒業生の就職についても高い就職率を誇っており、東洋経済新報社による「就職で差が付く『本当に強い大学』ランキング」（平成 27 年 8 月 27 日付け）においては全国の外国語・国際系学部で第一位に評価されている。

また、発達科学部は、平成 4 年、教育・研究の対象を、学校教育を主体とした領域から人間の発達にわたる全領域に広げ、新しい科学としての学問体系、それに伴う教育・研究体制を確立し、社会的要請に応え得る人材の育成を図ることを目的に、教育学部を改組して設置した。それ以来、乳幼児期から高齢期に至るまでの人間の発達及びそれを支える環境を対象とした発達科学の学問分野の教育研究を通じて、幅広い知識と豊かな教養を身に付け、発達科学に関する専門的知見及び問題解決能力を有し、広く社会で活躍できる人材を養成してきた。特に、少人数対話型教育を徹底し、受講学生の問題発見能力、効果的なプレゼンテーション能力、質問・ディスカッション能力等を涵養している点に特色を持つ。

新学部は、これら二つの学部の強みと特色を最大限に生かすことで、「持続的な『競争力』を持ち、高い付加価値を創り出す」ことを目指す。

国際人間科学部 再編計画概要

【現行】

国際文化学部 140人	
国際文化学科(140)	情報コミュニケーション論 現代文化論 異文化コミュニケーション論 地域文化論
発達科学部 280人	
人間形成学科(90)	心理発達論コース 子ども発達論コース 教育科学論コース 学校教育論コース
人間行動学科(50)	健康発達論コース 行動発達論コース 身体行動論コース
人間表現学科(40)	人間表現論コース
人間環境学科(100)	自然環境論コース 数理情報環境論コース 生活環境論コース 社会環境論コース

【再編後】

国際人間科学部 370人 (△50)	
グローバル文化学科(140)	グローバル文化形成 グローバル社会動態 グローバル・コミュニケーション
発達コミュニティ学科(100)	発達基礎 コミュニティ形成
環境共生学科(80)	環境基礎科学 環境形成科学
子ども教育学科(50)	学校教育学 乳幼児教育学

(養成する人材)

新学部は、グローバルイシュー（現代社会が地球規模での協働を通して取り組まなければならない課題）を深い人間理解と他者への共感をもって解決し、世界の人が多様な境界線を越えて共存できる「グローバル共生社会」の実現に貢献する「協働型グローバル人材」を養成することを教育研究上の目的とする。その達成に向け、新学部では、教育課程を通じて授与する学位に関して、国際的に卓越した教育を保証するため、以下の方針に従って当該学位を授与する。

国際人間科学部規則に定める卒業に必要な単位を修得する。

卒業までに、新学部生が次の能力を獲得することを学修の目標とする。

- ① グローバルイシューを構成する諸課題を発見する批判的・合理的思考力
- ② 外国語や ICT を使いこなす多様なコミュニケーション能力と情報収集・分析力
- ③ グローバルイシューを異文化理解・人間発達・環境共生の観点から理解する能力
- ④ グローバルイシューの解決に向けて、他者と協働しつつ、リーダーシップを発揮する行動力

II 教育課程編成の考え方・特色

新学部は、グローバル社会で生起する環境、災害、民族、宗教、経済格差、人権、教育、社会福祉等に関わるグローバルイシューを深い人間理解と他者への共感をもって解決し、「グローバル共生社会」の実現に貢献する「協働型グローバル人材」を養成することを目的としている。このような人材養成を達成するため、新学部は、グローバル文化学科、発達コミュニティ学科、環境共生学科、子ども教育学科の4学科を設置する。それぞれ、グローバル文化学科は「多文化状況、文化交流、文化摩擦等をめぐる諸問題の解決」、発達コミュニティ学科は「人間の発達の諸相の理解とそれを支えるコミュニティの形成」、環境共生学科は「共生社会を支える環境の創出と保全」、子ども教育学科は「持続可能なグローバル共生社会を創造する次世代指導者の育成」を、専門教育の目標に掲げている。

このような学科ごとの専門性を身に付けた「協働型グローバル人材」を養成するため、新学部では、必要な能力を年次進行に沿って修得できるよう、4つの科目区分を設ける。

- (1) 全学共通授業科目（基礎教養科目、総合教養科目、外国語科目、情報科目、健康・スポーツ科学、共通専門基礎科目、資格免許のための科目、その他必要と認める科目）
- (2) 高度教養科目（他学部開講科目）
- (3) 専門科目
 - ① 学部共通基礎科目
 - ② 学部共通発展科目
 - ③ グローバル・スタディーズ・プログラム(GSP)科目
 - ④ 学科専門科目
- (4) 自由選択科目

上記の(1)及び(2)は、本学の学生が卒業時に身に付けるべき共通の能力を「神戸スタンダード」として明示し、その修得を目標とする。「神戸スタンダード」とは、本学の全学部学生を対象とする教養教育において修得を目指す「複眼的に思考する能力」、「多様性と地球的課題を理解する能力」、「協働して実践する能力」の総称である。なお、卒業単位数に占めるその割合等は、各学部の特性に応じ

その裁量に委ねられている。

このうち②は、異なる専門分野の学生が、協働して学際的な課題を学ぶことで、学生の自主性、コミュニケーション能力、チームワークなどの社会的能力、課題解決能力を養成することを目的とする授業科目である。

③は、新学部が教育目的とする「協働型グローバル人材」として社会に羽ばたくに当たり必要不可欠となる基礎知識とスキルを、新学部の学生に共有させるための学部の基盤教育である。そのうち、①は主として1年次に開講される基本的な授業科目であり、②は①において修得した知識や技能を更に発展させて、「協働型グローバル人材」として世界中の人々と実践の場でグローバルイシュー解決のために協力できる基礎力を得られるよう設計された授業科目である。特に②の外国語科目については、①で設定された外国語科目のうち、英語のみならずフランス語、ドイツ語、中国語等の第二外国語のスキルを一層向上させるための上級外国語科目である「Academic Communication」、「Academic Writing」等のほか、①で設定されていないロシア語、スペイン語、イタリア語などグローバル社会で重視される外国語を修得するための多様な入門科目を開設することとした。

③のグローバル・スタディーズ・プログラム（GSP）は、国境を越えた実践の場でコミュニケーション能力を駆使して多様な人々と協働する経験を積ませるための重要なカリキュラムである。したがって、このプログラムは、④の学科専門科目の一部でありつつも、新学部のカリキュラムの“目玉”として、学部の「必修科目」として位置付けられている。その詳細については、下記で説明する。

④は、協働型グローバル人材というジェネリックなスキルを備える人材養成像を学部として追求しながらも、単なる実践的技術の修得にとどまらず、多様性に富んだ専門的知識とそれに基づき具体的問題を“構造化する”構想力とを育成するための専門教育を実施するものである。世界中の人々とグローバルイシューの解決のために協働するためには、コミュニケーション・スキルの会得を踏まえ、地に足の着いた多彩な専門的知識を基に、世界が直面する深刻な課題を関係者間の協力と妥協によって“解決可能なもの”として認識を共有できるよう図式化し提案・発信できる豊かな構想力が求められているからである。

④は、コミュニケーション能力や多面的視野を広げるため、上級外国語や他学科の専門科目を中心に各自の関心に基づき修得できる科目である。

〔グローバル・スタディーズ・プログラム（GSP）〕

(1) GSP の構成

GSP は、学生の専門性とニーズにきめ細かく対応するために国内外の多様な学びの場の設定し、事前学修及び事後学修の徹底による体系的教育とする。そのため、GSP は次の3つの部分から構成され、学生は7単位の修得を必修化する。

(ア) グローバル・スタディーズ準備科目（2単位）

「グローバルイシュー概論」及び「グローバルイシュー演習」により、現代世界が抱える諸課題を包括的に学修し、海外研修・フィールド学修の課題を絞り込むための基礎的情報を学ぶ。

(イ) 海外研修・フィールド学修（3単位）

海外の大学等教育機関での語学を含む教育、海外フィールドでの社会体験、国内フィールドでの社会体験などを主な構成要素としながら、それらを柔軟に組み合わせ、実践的な学問研究につなげることを目標とし、個々の学生の専門性と要望に応じて選択する次の3つのGSコースを置くこととしている。

各コースについては、期間や方法等が異なるが、そこで達成すべき履修目標が同じであり、学修時間を満たし、一定の学修効果も得られることから、一律3単位としている。

- ・留学型GSコース：中長期の交換留学協定校への派遣留学若しくは私費留学又は4週間以上のサマースクール若しくは語学研修とその期間中に学生自身が留学先現地において計画、実施するフィールド学修、ボランティア活動等から構成され、海外での適応能力、企画力・行動力の修得を目的とする。
- ・実践型GSコース：フィールド学修の要素を含む、1週間以上の海外でのスタディー・ツアーや海外企業、教育機関、NGO等でのインターンシップ等を行う。本コースは、特に海外での実践的コミュニケーション能力の向上及び国境を越える協働を通じた問題解決能力の修得を目的とする。
- ・研修型GSコース：2週間以上の語学研修、サマースクール等のプログラムを海外において履修し、そこで得た問題意識を活かし、さらに国内フィールド学修を履修する。海外事情と国内の状況の比較を含む総括的学修を通じた幅広い視野からの問題解決能力の修得を目的とする。

(ウ) GSP 演習科目（2単位）

海外研修・フィールド学修に先立つ「オリエンテーション」と、事後に行う「リフレクション」から構成される。ここでは、アクティブ・ラーニングの手法を用いて事前の課題設定と事後の自己評価を行う。

(2) 留学先等の選択支援

GSコースの選択や留学先等の決定に当たり、次のとおりきめ細かな履修指導を行う。

(ア) 「オリエンテーション」時における指導

「オリエンテーション」において、学生の適性や履修時期・方法等を考慮し、適切なGSコースを選択するよう指導する。

(イ) GSP オフィスにおける個別相談

GSP オフィスを設置し、海外研修・フィールド学修に関する個別の学修相談、生活相談等に応じる。

(ウ) 派遣学生の選抜

交換留学の選考に当たっては、外国語能力の測定のみに頼ることなく、学問的関心、専門的な勉学意欲、積極性を測るための「モチベーション・テスト」を実施する。

(エ) 充実した外国語教育

英語をはじめ、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語等に関する専門科目を多数準備し、学生のニーズと海外研修先に応じた語学力の向上を図る。

(3) 単位認定方法

「オリエンテーション」「リフレクション」では、発表及びレポートを課す。

各GSコースでは、留学・研修期間中の活動報告を課す。

(4) 留学中の指導・危機管理

留学中の指導については、GSPの各プログラムに教員アドバイザーを配置し、指導、助言を行う。

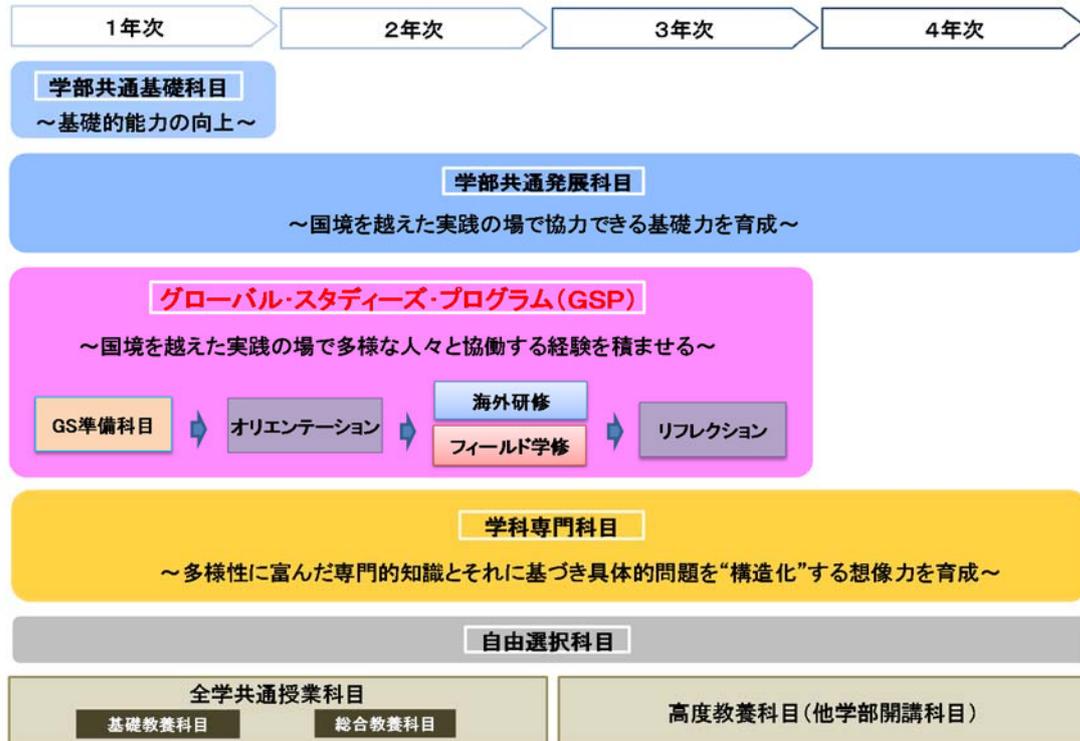
海外で事件や災害などが発生した場合に備えて、民間企業の危機管理システムを利用し、海外で事故等の際の各種の支援を得られる体制を構築する。

(5) 海外研修及びフィールド学修先の確保

(ア) 海外での研修先

- 本学と学術交流協定を締結した海外大学（69校）など
 (i) 国内フィールド学修先
 兵庫県内の社会教育関連施設、兵庫県内の自治体など

カリキュラム体系図



(学科の特色)

グローバル文化学科

(ア) 学科の目標

多文化間の境界を乗り越えるグローバル共生社会を実現するため、諸文化の多様な様相と社会のグローバル化についての正確な理解を基に、現代世界が抱える文化的・社会的問題を自らのイニシアティブで解決へと導くリーダーシップを備えた人材を養成する。具体的には、高度な外国語の運用能力と ICT 教育に基づく情報分析力や発信力を駆使して、異文化間のコミュニケーションと相互理解を率先して推し進め、多文化状況、文化交流、文化摩擦等をめぐるグローバルな課題の解決への道筋を社会に発信・説得する能力を持つ人材を養成することを目的とする。

(イ) 専門教育の特色

グローバル化した社会における多文化状況や文化摩擦をめぐる現代的課題の本質を見極めたうえで、これらの課題の解決のために国境を越えるコミュニケーションを推進できるリーダーシップを育成することが、本学科の専門教育の目標である。この目標を達成するため、本学科では、文化、社会、コミュニケーションというキー・タームを軸に「グローバル文化形成」、「グローバル社会動態」、「グローバル・コミュニケーション」の3つの学科目を置き、多様なグローバル 이슈をこれら3つの切り口から探究していく。

「グローバル文化形成」の学科目では、今日地球上に存在する多様な文化と価値観が、どのような過程を経て形成され、また相互の交流・摩擦・征服等を通じていかに変容してきたのかを正確に把握し、我が国との相互比較的な視点も交えた文化的理解を促進するための教育研究を行う。

「グローバル社会動態」の学科目では、情報・資本・人・モノの活発な移動とともに社会が急速にグローバル化しているという現代的動態に焦点を当て、グローバル社会が直面する喫緊の諸課題を解決するために何が求められているのかを分析し、発信する能力を育成する。

「グローバル・コミュニケーション」の学科目では、言語によるコミュニケーションの可能性と問題点や、ICT を用いた多彩な情報の収集・分析・発信方法についての教育研究を行い、これらの研究成果をグローバルな課題解決に活用する能力を高めることを目標とする。

本学科は、これらの専門的能力を、受入留学生を交えた国際共修授業はもとより、長期の交換留学制度、国内外でのフィールドリサーチやインターンシップ等、学外の多様なアクティブ・ラーニングを利用して修得できるカリキュラムを用意する。なお、本学部での学修成果の総仕上げたる卒業論文を完成させるために、論文指導教員が学生に個別に指導する授業科目「グローバル文化特別演習 A, B, C, D」を、学科専門科目の必修科目に設定している。

卒業要件及び履修方法

授業期間等

(卒業要件)

4年以上在学し、学部規則で定める授業科目のうちから124単位以上を修得しなければならない。ただし、3年以上在学した者が、卒業の要件として学部規則に定める単位を優秀な成績で修得したものと認められ、かつ、学生が卒業を希望する場合には卒業することができる。

(履修方法)

(1) 全学共通授業科目 25 単位以上 (必修 7 単位, 選択 18 単位以上)

(2) 高度教養科目 (他学部開講科目) 4 単位

(3) 専門科目

① 学部共通基礎科目 9 単位以上 (必修 6 単位, 選択 3 単位以上)

② 学部共通発展科目 7 単位以上 (必修 3 単位, 選択 4 単位以上)

選択科目については以下の要件を満たすこと。

- ・ 「Academic Writing (英) A, B」, 「TOEFL 演習 A, B」, 「TOEIC 演習 A, B」, 「English Presentation Skills A, B」, 「English for Professional Purposes A, B」の中から2単位以上。
- ・ 「国際コミュニケーション演習 A, B」, 「Cultures and Societies in Japan A, B」の中から1単位以上。

③ グローバル・スタディーズ・プログラム (GSP) 科目 7 単位 (必修 4 単位, 選択 3 単位)

④ 学科専門科目 56 単位以上 (必修 14 単位, 選択 42 単位以上)

(ア) 学科共通科目 (選択 4 単位以上)

選択科目については以下の要件を満たすこと。

- ・ 「情報科学概論 A, B」, 「グローバル・ヒストリー A, B」, 「グローバル化と現代世界 A, B」の中から4単位以上。

(イ) 学科コア科目 (選択 6 単位以上)

(ウ) 学科展開科目 (必修 14 単位, 選択 8 単位以上)

選択科目については以下の要件を満たすこと。

- ・ 「グローバル文化形成基礎演習 A, B, C, D」, 「グローバル社会動態基礎演習 A, B, C, D」, 「グローバルコミュニケーション基礎演習 A, B, C, D」の中から4単位以上。
- ・ 「グローバル文化形成発展演習 A, B, C, D」, 「グローバル社会動態発展演習 A, B, C, D」, 「グローバルコミュニケーション発展演習 A, B, C, D」の中から4単位以上。

(4) 自由選択科目 16 単位以上

(履修科目の登録の上限: 49 単位 (年間))

1 学年の学期区分	4 学期
1 学期の授業期間	8 週
1 時限の授業時間	90 分

教育課程等の概要(事前伺い)

(国際人間科学部発達コミュニティ学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学共通授業科目	社会科学系	法学A	1②-2④	1		○										
		法学B	1②-2④	1		○										
		政治学A	1②-2④	1		○				2						
		政治学B	1②-2④	1		○										
		経済学A	1②-2④	1		○										
		経済学B	1②-2④	1		○										
		社会学	1②-2④	1		○										
		地理学	1②-2④	1		○				1						
	小計(8科目)		-	0	8	0	-		1	2	0	0	0		-	
	生命科学系	医学A	1②-2④	1		○										
		医学B	1②-2④	1		○										
		保健学A	1②-2④	1		○										
		保健学B	1②-2④	1		○										
		健康科学A	1②-2④	1		○										
		健康科学B	1②-2④	1		○										
		生物学A	1②-2④	1		○				1						共同
		生物学B	1②-2④	1		○										共同
	生物学C	1②-2④	1		○											
	小計(9科目)		-	0	9	0	-		0	1	0	0	0		-	
	自然科学系	数学A	1②-2④	1		○										
数学B		1②-2④	1		○				2							
数学C		1②-2④	1		○											
物理学A		1②-2④	1		○											
物理学B		1②-2④	1		○											
化学A		1②-2④	1		○										オムニハス	
化学B		1②-2④	1		○										オムニハス	
化学C		1②-2④	1		○										オムニハス	
化学D		1②-2④	1		○										オムニハス	
惑星学A		1②-2④	1		○										オムニハス	
惑星学B		1②-2④	1		○										オムニハス	
惑星学C		1②-2④	1		○										オムニハス	
情報学A		1②-2④	1		○											
情報学B		1②-2④	1		○											
小計(14科目)		-	0	14	0	-		2	0	0	0	0		-		
総合教養科目	(1) 多文化理解	教育と人間形成	1②-2④	1		○										
		文学A	1②-2④	1		○										
		文学B	1②-2④	1		○										
		言語科学A	1②-2④	1		○										
		言語科学B	1②-2④	1		○										
		日本史A	1②-2④	1		○										
		日本史B	1②-2④	1		○										
		東洋史A	1②-2④	1		○										
		東洋史B	1②-2④	1		○										
		アジア史A	1②-2④	1		○										
		アジア史B	1②-2④	1		○										
		西洋史A	1②-2④	1		○										
		西洋史B	1②-2④	1		○										
		考古学A	1②-2④	1		○										
		考古学B	1②-2④	1		○										
		美術史A	1②-2④	1		○										
		美術史B	1②-2④	1		○										
		科学史A	1②-2④	1		○										
		科学史B	1②-2④	1		○										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考						
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手							
全学共通授業科目	(1) 多文化理解	社会思想史	1②-2④	1		○														
		文化人類学	1②-2④	1		○														
		現代社会論A	1②-2④	1		○														
		現代社会論B	1②-2④	1		○				1	1									
		越境する文化	1②-2④	1		○														
		生活環境と技術	1②-2④	1		○														
		学校教育と社会	1②-2④	1		○														
		小計 (26科目)	—	0	26	0	—				3	1	0	0	0					—
	(2) 自然界の成り立ち	科学技術と倫理	1②-2④	1		○														
		現代物理学が描く世界	1②-2④	1		○														
		身近な物理法則	1②-2④	1		○														
		ものづくりと科学技術A	1②-2④	1		○													オムニバース	
		ものづくりと科学技術B	1②-2④	1		○													オムニバース	
		生命科学A	1②-2④	1		○														
		生命科学B	1②-2④	1		○														
		生物資源と農業A	1②-2④	1		○													オムニバース	
		生物資源と農業B	1②-2④	1		○													オムニバース	
		生物資源と農業C	1②-2④	1		○													オムニバース	
	生物資源と農業D	1②-2④	1		○													オムニバース		
	小計 (11科目)	—	0	11	0	—				0	0	0	0	0					—	
	(3) グローバルイシュー	環境学入門A	1②-2④	1		○														
		環境学入門B	1②-2④	1		○														
		社会と人権A	1②-2④	1		○														
		社会と人権B	1②-2④	1		○														
		男女共同参画とジェンダー-A	1②-2④	1		○													オムニバース	
		男女共同参画とジェンダー-B	1②-2④	1		○													オムニバース	
グローバルリーダーシップ 育成基礎演習		1②-2④	2		○													共同		
EU基礎論		1②-2④	1		○													オムニバース		
国際協力の現状と課題A		1②-2④	1		○															
国際協力の現状と課題B		1②-2④	1		○															
政治と社会		1②-2④	1		○															
社会生活と法		1②-2④	1		○															
国家と法		1②-2④	1		○															
現代の経済A		1②-2④	1		○															
現代の経済B		1②-2④	1		○															
経済社会の発展		1②-2④	1		○															
企業と経営		1②-2④	1		○															
地球史における生物の変遷		1②-2④	1		○															
生物の環境適応		1②-2④	1		○															
人間活動と地球生態系		1②-2④	1		○															
食と健康A	1②-2④	1		○														オムニバース		
食と健康B	1②-2④	1		○														オムニバース		
資源・材料とエネルギー-A	1②-2④	1		○														オムニバース		
資源・材料とエネルギー-B	1②-2④	1		○														オムニバース		
小計 (24科目)	—	0	25	0	—				0	0	0	0	0					—		
(4) ESD	ESD基礎(持続可能な社会づくり1)A	1②-2④	1		○															
	ESD基礎(持続可能な社会づくり1)B	1②-2④	1		○															
	ESD論(持続可能な社会づくり2)A	1②-2④	1		○															
	ESD論(持続可能な社会づくり2)B	1②-2④	1		○															
	ESD生涯学習論A	1②-2④	1		○						1									
	ESD生涯学習論B	1②-2④	1		○						1									
	ESDポランティア論	1②-2④	1		○						1							オムニバース・共同(一部)		
	小計 (7科目)	—	0	7	0	—				3	0	0	0	0				—		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学共通授業科目	(5) キャリア科目	企業社会論A	1②-2④		1		○									オムニバス
		企業社会論B	1②-2④		1		○									オムニバス
		職業と学び-キャリアデザインを考えるA	1②-2④		1		○									
		職業と学び-キャリアデザインを考えるB	1②-2④		1		○									
		社会基礎学(グローバル人材に不可欠な教養)	1②-2④		2		○									
		ボランティアと社会貢献活動A	1②-2④		1		○									
		ボランティアと社会貢献活動B	1②-2④		1		○									
		グローバルチャレンジ実習	1②-2④		1又は2											
	小計(8科目)		—	0	9又は10	0	—		0	0	0	0	0	0	—	
	(6) 神戸学	神戸大学史A	1②-2④		1		○									オムニバス
		神戸大学史B	1②-2④		1		○									オムニバス
		神戸大学の研究最前線A	1②-2④		1		○									
		神戸大学の研究最前線B	1②-2④		1		○									
		阪神・淡路大震災A	1②-2④		1		○									オムニバス
		阪神・淡路大震災B	1②-2④		1		○									オムニバス
海への誘い		1②-2④		2		○										
瀬戸内海学入門		1②-2④		2		○										
小計(8科目)		—	0	10	0	—		0	0	0	0	0	0	—		
外国語科目	外国語第I	English Communication A1	1①	0.5			○									
		English Communication A2	1②	0.5			○									
		English Communication B1	1③	0.5			○									
		English Communication B2	1④	0.5			○									
		English Literacy A1	1①	0.5			○									
		English Literacy A2	1②	0.5			○									
		English Literacy B1	1③	0.5			○									
		English Literacy B2	1④	0.5			○									
		Autonomous English 1	1①	0.5			○									
		Autonomous English 2	1②	0.5			○									
		Advanced English A1	2①・2③	0.5			○									
		Advanced English A2	2②・2④	0.5			○									
		Advanced English B	2①-2④	0.5			○									
		Advanced English C	2①・2②	1			○									
		Advanced English GEC (Productive) 1	1③	0.5			○									
		Advanced English GEC (Productive) 2	1④	0.5			○									
		Advanced English GEC(海外研修)	1④	1			○									
		Advanced English GEC(プレゼンテーション)1	2①	0.5			○									
		Advanced English GEC(プレゼンテーション)2	2②	0.5			○									
		Advanced English GEC(ライティング)1	2①	0.5			○									
		Advanced English GEC(ライティング)2	2②	0.5			○									
		Advanced English GEC(ディスカッション)1	2①	0.5			○									
		Advanced English GEC(ディスカッション)2	2②	0.5			○									
小計(23科目)		—	5	7.5	0	—		0	0	0	0	0	0	—		
外国語第II	トイ語初級A1	1①		0.5			○									
	トイ語初級A2	1②		0.5			○									
	トイ語初級B1	1①		0.5			○									
	トイ語初級B2	1②		0.5			○									
	トイ語初級A3	1③		0.5			○									
	トイ語初級A4	1④		0.5			○									
	トイ語初級B3	1③		0.5			○									
	トイ語初級B4	1④		0.5			○									
	トイ語初級SA3	1③		0.5			○									
	トイ語初級SA4	1④		0.5			○									
	トイ語初級SB3	1③		0.5			○									
	トイ語初級SB4	1④		0.5			○									
	トイ語中級C1	2①		0.5			○									
	トイ語中級C2	2②		0.5			○									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学共通授業科目	外国語第Ⅱ	フランス語初級A1	1①		0.5			○								
		フランス語初級A2	1②		0.5			○								
		フランス語初級B1	1①		0.5			○								
		フランス語初級B2	1②		0.5			○								
		フランス語初級A3	1③		0.5			○								
		フランス語初級A4	1④		0.5			○								
		フランス語初級B3	1③		0.5			○								
		フランス語初級B4	1④		0.5			○								
		フランス語初級SA3	1③		0.5			○								
		フランス語初級SA4	1④		0.5			○								
		フランス語初級SB3	1③		0.5			○								
		フランス語初級SB4	1④		0.5			○								
		フランス語中級C1	2①		0.5			○								
		フランス語中級C2	2②		0.5			○								
		中国語初級A1	1①		0.5			○								
		中国語初級A2	1②		0.5			○								
		中国語初級B1	1①		0.5			○								
		中国語初級B2	1②		0.5			○								
		中国語初級A3	1③		0.5			○								
		中国語初級A4	1④		0.5			○								
		中国語初級B3	1③		0.5			○								
		中国語初級B4	1④		0.5			○								
		中国語初級SA3	1③		0.5			○								
		中国語初級SA4	1④		0.5			○								
		中国語初級SB3	1③		0.5			○								
		中国語初級SB4	1④		0.5			○								
		中国語中級C1	2①		0.5			○								
		中国語中級C2	2②		0.5			○								
		ロシア語初級A1	1①		0.5			○								
		ロシア語初級A2	1②		0.5			○								
		ロシア語初級B1	1①		0.5			○								
		ロシア語初級B2	1②		0.5			○								
	ロシア語初級A3	1③		0.5			○									
	ロシア語初級A4	1④		0.5			○									
	ロシア語初級B3	1③		0.5			○									
	ロシア語初級B4	1④		0.5			○									
	ロシア語中級C1	2①		0.5			○									
	ロシア語中級C2	2②		0.5			○									
		小計 (52科目)	—	0	26	0	—	—	—	0	0	0	0	0	—	
		外国語第Ⅲ	第三外国語(ドイツ語)T1	2①		0.5			○							
			第三外国語(ドイツ語)T2	2②		0.5			○							
			第三外国語(ドイツ語)T3	2③		0.5			○							
			第三外国語(ドイツ語)T4	2④		0.5			○							
			第三外国語(フランス語)T1	2①		0.5			○							
			第三外国語(フランス語)T2	2②		0.5			○							
			第三外国語(フランス語)T3	2③		0.5			○							
			第三外国語(フランス語)T4	2④		0.5			○							
		小計 (8科目)	—	0	4	0	—	—	—	0	0	0	0	0	—	
		科情報	情報基礎	1①	1				○							
			小計 (1科目)	—	1	0	0	—	—	—	0	0	0	0	0	—
		健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学講義A	1③		1			○			2		2		
			健康・スポーツ科学講義B	1③		1			○							
	健康・スポーツ科学講義C		1③		1			○			1	1				
	健康・スポーツ科学実習基礎1		1①	0.5					○		4	1				
	健康・スポーツ科学実習基礎2		1②	0.5					○		4	1				
	健康・スポーツ科学実習1		1③		0.5				○		2	1				
	健康・スポーツ科学実習2		1④		0.5				○		2	1				
	小計 (7科目)	—	1	4	0	—	—	—	15	5	2	0	0	—		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目 学部専門科目	初年次セミナー	1①	1				○		3	4					兼20	
	異文化コミュニケーション論	1②		1		○									兼2	オムニバス
	協働型リーダーシップ論	1①		1		○			1						兼3	オムニバス
	国際開発援助論(JICA)1	1①	1			○									兼7	オムニバス
	国際開発援助論(JICA)2	1②	1			○									兼7	オムニバス
	コミュニティ創成論	2①	1			○			2	2						オムニバス
	フィールドワーク基礎論	1③		1		○			1						兼3	オムニバス
	異文化間教育論1	1③		1		○									兼1	
	異文化間教育論2	1④		1		○									兼1	
	ソーシャルエンパワメント論	1②		1		○			2							オムニバス
	情報リテラシー演習1	1③		1			○			1					兼5	共同
	情報リテラシー演習2	1④		1			○			1					兼5	共同
	小計(12科目)	—	—	4	8	0	—	—	7	6	0	0	0	0	兼35	—
学部共通発展科目	外国語実習A	1~4		1				○							兼1	
	外国語実習B	1~4		2				○							兼1	
	インターシップ実習A	1~4		1				○							兼1	
	インターシップ実習B	1~4		2				○							兼1	
	フィールドワーク実習A	1~4		1				○							兼1	
	フィールドワーク実習B	1~4		2				○							兼1	
	フィールドワーク方法論	2①		1		○			1						兼1	オムニバス
	情報発信演習1	2①		1			○								兼5	共同
	情報発信演習2	2②		1			○								兼5	共同
	プログラミング基礎演習1	2③		1			○								兼4	共同
	プログラミング基礎演習2	2④		1			○								兼4	共同
	Academic Communication(英)A	2①		1			○								兼6	
	Academic Communication(英)B	2②		1			○								兼6	
	Academic Writing(英)A	2③		1			○								兼6	
	Academic Writing(英)B	2④		1			○								兼6	
	TOEFL演習A	1③		1			○								兼4	
	TOEFL演習B	1④		1			○								兼4	
	TOEIC演習A	2①		1			○								兼4	
	TOEIC演習B	2②		1			○								兼4	
	English Presentation SkillsA	3①		1			○								兼4	
	English Presentation SkillsB	3②		1			○								兼4	
	English for Professional PurposesA	3③		1			○								兼4	
	English for Professional PurposesB	3④		1			○								兼4	
	Academic Communication(独)A	2①		1			○								兼2	
	Academic Communication(独)B	2②		1			○								兼2	
	Academic Communication(仏)A	2①		1			○								兼2	
	Academic Communication(仏)B	2②		1			○								兼2	
	Academic Communication(中)A	2①		1			○								兼1	
	Academic Communication(中)B	2②		1			○								兼1	
	Academic Communication(露)A	2①		1			○								兼1	
	Academic Communication(露)B	2②		1			○								兼1	
	Academic Writing(独)A	2③		1			○								兼2	
	Academic Writing(独)B	2④		1			○								兼2	
	Academic Writing(仏)A	2③		1			○								兼2	
	Academic Writing(仏)B	2④		1			○								兼2	
	Academic Writing(中)A	2③		1			○								兼1	
Academic Writing(中)B	2④		1			○								兼1		
Academic Writing(露)A	2③		1			○								兼1		
Academic Writing(露)B	2④		1			○								兼1		
スペイン語入門1	2①		1			○								兼1		
スペイン語入門2	2②		1			○								兼1		
スペイン語入門3	2③		1			○								兼1		
スペイン語入門4	2④		1			○								兼1		
コリア語入門1	2①		1			○								兼1		
コリア語入門2	2②		1			○								兼1		
コリア語入門3	2③		1			○								兼1		
コリア語入門4	2④		1			○								兼1		
ラテン語入門1	2①		1			○								兼1		
ラテン語入門2	2②		1			○								兼1		
ラテン語入門3	2③		1			○								兼1		
ラテン語入門4	2④		1			○								兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目 学部専門科目 学部共通発展科目	イタリア語入門1	2①		1			○								兼1	
	イタリア語入門2	2②		1			○								兼1	
	イタリア語入門3	2③		1			○								兼1	
	イタリア語入門4	2④		1			○								兼1	
	国際コミュニケーション演習A	1①		1			○								兼1	
	国際コミュニケーション演習B	1②		1			○								兼1	
	Cultures and Societies in JapanA	2①		1			○								兼1	
	Cultures and Societies in JapanB	2②		1			○								兼1	
	日本語コミュニケーション1	2①		1			○								兼1	
	日本語コミュニケーション2	2②		1			○								兼1	
	日本語文法基礎	1①～4④		1			○								兼5	
	実践日本語基礎	1①～4④		1			○								兼5	
	日本語・日本文化基礎演習	1①～4④		1				○							兼5	
	途上国農村地域開発論	2・3③		2				○							兼1	隔年
	グローバル共生社会論	1④		1				○							兼7	オムニバス
小計(66科目)	—	2	68	0	—	—	—	1	0	0	0	0	0	兼35	—	
(学位プログラム) グローバル・スタディーズ・プログラム	グローバルイシュー概論	1①	1				○								兼6	オムニバス
	グローバルイシュー演習	1②	1				○								兼20	
	GSP演習(リエンテーション)	1①～3①	1				○								兼12	
	留学型GSコース	1①～3④		3			○								兼6	
	実践型GSコース	1①～3④		3			○								兼6	
	研修型GSコース	1①～3④		3			○								兼6	
	GSP演習(リフレクション)	1④～3④	1				○								兼12	
小計(7科目)	—	4	9	0	—	—	10	9	0	0	0	0	0	兼56	—	
学科専門科目 学科共通科目(発達コミュニケーション)	発達コミュニティ概論1	1①	1				○									
	発達コミュニティ概論2	1②	1				○									
	発達コミュニティ演習1	3③	1				○									
	発達コミュニティ演習2	3④	1				○									
	発達コミュニティ演習3	4①	1				○									
	発達コミュニティ演習4	4②	1				○									
	地域社会学	1③	1				○									
	コミュニティ論	1③	1				○									オムニバス
小計(8科目)	—	8	0	0	—	—	15	27	2	1	0	0	0	—	—	
学科コア科目 (発達コミュニケーション)	心理学の基礎と歩み1	1③		1			○									
	心理学の基礎と歩み2	1④		1			○									
	心理学調査法1	2③		1				○								
	心理学調査法2	2④		1				○								
	心理学研究実践A1	3①		1				○								
	心理学研究実践A2	3②		1				○								
	心理学研究実践B1	3③		1				○								
	心理学研究実践B2	3④		1				○								
	加齢の身体運動科学1	2①		1				○								
	加齢の身体運動科学2	2②		1				○								
	からだの構造と機能1	1③		1				○								
	からだの構造と機能2	1④		1				○								
	運動の巧みさの科学1	1③		1				○								
	運動の巧みさの科学2	1④		1				○								
	加齢の認知心理学1	1③		1				○					1			
	加齢の認知心理学2	1④		1				○					1			
	運動とこころの科学1	1③		1				○					1			
	運動とこころの科学2	1④		1				○					1			
	健康心理学1	2③		1				○					1			
	健康心理学2	2④		1				○					1			
	知覚と行為1	2①		1				○					1			
	知覚と行為2	2②		1				○					1			
	心理グローバルリサーチ1	2①		1					○				2	5		兼1
	心理グローバルリサーチ2	2②		1					○				2	5		兼1
	環境保健学1	2①		1					○					1		
	環境保健学2	2②		1					○					1		
	スポーツ・レクリエーション論1	2①		1					○					1		
スポーツ・レクリエーション論2	2②		1					○					1			
身体運動の文化史1	2③		1					○					1			
身体運動の文化史2	2④		1					○					1			
文化政策論A	1③		1					○							兼1	
文化政策論B	1④		1					○							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目 学科専門科目	アートマネジメント論1	2①		1		○									兼1		
	アートマネジメント論2	2②		1		○											
	人とアート論1	1③		1		○											
	人とアート論2	1④		1		○											
	サウンドデザイン	2②		1			○										
	コミュニティと音楽1	3③		1			○	○									
	コミュニティと音楽2	3④		1			○	○									
	コミュニティとメディア1	3③		1			○				1						
	コミュニティとメディア2	3④		1			○				1						
	コミュニティと表象A	2③		1			○					1					
	コミュニティと表象B	2④		1			○					1					
	コミュニティと都市1	3①		1				○			1						
	コミュニティと都市2	3②		1				○			1						
	空間造形論1	2③		1			○				1						
	空間造形論2	2④		1			○				1						
	絵画アート論1	2③		1			○					1					
	絵画アート論2	2④		1			○					1					
	音楽作品研究1	3①		1			○					1					
	音楽作品研究2	3②		1			○					1					
	エスミュージックコンポー1	1③		1			○					1					
	エスミュージックコンポー2	1④		1			○					1					
	音楽文化史1	1③		1			○					1					
	音楽文化史2	1④		1			○					1					
	身体表現論1	2①		1			○					1					
	身体表現論2	2②		1			○					1					
	創造の発想とプロセスA	1③		1				○				1					
	創造の発想とプロセスB	1④		1				○				1					
	ミュージックセラピー1	2①		1			○					1					
	ミュージックセラピー2	2②		1			○					1					
	社会教育計画論1	1③		1			○					1					
	社会教育計画論2	1④		1			○					1					
	障害共生教育論1	2①		1			○					1					
	障害共生教育論2	2②		1			○					1					
	コミュニティ・エンゲージメント論1	2③		1			○					1					
	コミュニティ・エンゲージメント論2	2④		1			○					1					
	小計 (67科目)		—	0	67	0	—				15	18	1	0	0	兼3	—
	学科展開科目 (発達コミュニケーション学)	心理学統計法A1	2①		1			○				1					
		心理学統計法A2	2②		1			○				1					
		心理学統計法B1	2③		1			○				1					
		心理学統計法B2	2④		1			○				1					
		深層心理学1	2③		1			○				1					
		深層心理学2	2④		1			○				1					
		発達アセスメント1	2①		1				○							兼1	
		発達アセスメント2	2②		1				○							兼1	
		臨床投影法1	3①		1				○				1				
		臨床投影法2	3②		1				○				1				
		心理テスト法1	3①		1				○				1				
心理テスト法2		3②		1				○				1					
発達心理学 (中・高) 1		1③		1			○					1					
発達心理学 (中・高) 2		1④		1			○					1					
青年心理学1		2③		1			○					1					
青年心理学2		2④		1			○					1					
心の発達と教育1		1③		1			○				1						
心の発達と教育2		1④		1			○				1						
臨床心理学1		2③		1			○				1						
臨床心理学2		2④		1			○				1						
ライフコースの心理学1		3①		1			○					1					
ライフコースの心理学2		3②		1			○					1					
人格心理学1		3①		1			○					1					
人格心理学2		3②		1			○					1					
認知発達心理学1		2①		1			○					1					
認知発達心理学2		2②		1			○					1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目 学科専門科目	人格心理学演習1	3③		1			○			1						
	人格心理学演習2	3④		1			○			1						
	臨床心理学演習1	3③		1			○			1						
	臨床心理学演習2	3④		1			○			1						
	児童の発達と学習1	2①		1			○			1						
	児童の発達と学習2	2②		1			○			1						
	初等学校教育相談1	2③		1			○				1					
	初等学校教育相談2	2④		1			○				1					
	中等学校教育相談1	3①		1			○			1						
	中等学校教育相談2	3②		1			○			1						
	心理学実験法	2①		1				○			1	1			兼1	オムニバス
	心理学観察法	2②		1				○			1	1				
	生理心理学1	2①		1				○					1			
	生理心理学2	2②		1				○					1			
	身体機能の適応1	2①		1				○			1					
	身体機能の適応2	2②		1				○			1					
	健康運動科学1	2①		1				○				1				
	健康運動科学2	2②		1				○				1				
	身体運動のガクシス1	2③		1				○				1				
	身体運動のガクシス2	2④		1				○				1				
	身体運動科学実験1	3①		1					○		1	2				オムニバス
	身体運動科学実験2	3②		1					○		1	2				オムニバス
	運動方法学1	2①		1				○			1					
	運動方法学2	2②		1				○			1					
	バイオメカニクス実験1	3③		1					○		2					オムニバス
	バイオメカニクス実験2	3④		1					○		2					オムニバス
	精神生理学1	2③		1				○					1			
	精神生理学2	2④		1				○					1			
	公衆衛生学1	2①		1				○			1					
	公衆衛生学2	2②		1				○			1					
	身体マネジメント研究1	2③		1				○				1				
	身体マネジメント研究2	2④		1				○				1				
	トラック&フィールド実習1	2①		0.5					○		1					
	トラック&フィールド実習2	2②		0.5					○		1					
	ボールゲームズ実習1	2・3③		0.5					○			1				隔年
	ボールゲームズ実習2	2・3④		0.5					○			1				隔年
	JUDO実習1	3・4①		0.5					○		1					隔年
	JUDO実習2	3・4②		0.5					○		1					隔年
	ジムナステイクス実習1	3・4①		0.5					○						兼1	隔年
	ジムナステイクス実習2	3・4②		0.5					○						兼1	隔年
	心理面接論1	2①		1				○				1				
	心理面接論2	2②		1				○				1				
	家族の発達と病理1	2①		1				○			1	1				オムニバス
	家族の発達と病理2	2②		1				○			1	1				オムニバス
	心理学的援助支援1	4①		0.5					○		2	3				オムニバス
	心理学的援助支援2	4②		0.5					○		2	3				オムニバス
	セーフティプロモーション論	2③		1				○							兼1	
ヘルスポモーション1	3①		1				○							兼1		
ヘルスポモーション2	3②		1				○							兼1		
健康教育論1	3①		1				○			1						
健康教育論2	3②		1				○			1						
加齢の社会心理学1	2③		1				○				1					
加齢の社会心理学2	2④		1				○				1					
スポーツマネジメント	3①		1				○							兼1		
スポーツコミュニティ形成論1	3③		1				○				1					
スポーツコミュニティ形成論2	3④		1				○				1					
自然体験活動実習1	2①		0.5					○		2	1				オムニバス	
自然体験活動実習2	2②		0.5					○		2	1				オムニバス	
スイミング&アクティクススポーツ実習1	2①		0.5					○			1					
スイミング&アクティクススポーツ実習2	2②		0.5					○			1					
ファッション文化論	3①		1				○				1					
アフォーダンス論演習1	3③		1					○			1					
アフォーダンス論演習2	3④		1					○			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	都市と建築の20世紀1	2③		1		○			1							
	都市と建築の20世紀2	2④		1		○			1							
	芸術批評演習	3②		1			○			1						
	アートプロジェクト実践1	3①		1			○		1	2						
	アートプロジェクト実践2	3②		1			○		1	2						
	ミュージックプロジェクト実践1	3①		1			○			1						
	ミュージックプロジェクト実践2	3②		1			○			1						
	人と音楽1	2①		1			○			1						
	人と音楽2	2②		1			○			1						
	声の表現1	2①		1			○			1						
	声の表現2	2②		1			○			1						
	ミュージックセラー&アナリス1	2③		1			○				1					
	ミュージックセラー&アナリス2	2④		1			○				1					
	シトリカル・アート論1	2①		1			○				1					
	シトリカル・アート論2	2②		1			○				1					
	グラフィックデザイン1	2③		1						1						
	グラフィックデザイン2	2④		1				○		1						
	空間アート実践1	2①		1				○		1						
	空間アート実践2	2②		1				○		1						
	絵画アート実践1	2①		1				○			1					
	絵画アート実践2	2②		1				○			1					
	映像・メディア論演習1	4①		1				○		1						
	映像・メディア論演習2	4②		1				○		1						
	コンテンポラリーダンス1	2③		1				○			1					
	コンテンポラリーダンス2	2④		1				○			1					
	ピアノ演奏演習1	2③		1				○		1						
	ピアノ演奏演習2	2④		1				○		1						
	民族音楽演奏演習1	2①		1				○			1					
	民族音楽演奏演習2	2②		1				○			1					
	声楽表現演習1	2③		1				○		1						
	声楽表現演習2	2④		1				○		1						
	声楽伴奏表現演習	3①		1				○		1						
	幾何デザインと視覚伝達1	3③		1				○		1						
	幾何デザインと視覚伝達2	3④		1				○		1						
	音楽集団活動論1	2①		1				○								兼1
	音楽集団活動論2	2②		1				○								兼1
	声楽アンサンブル1	2③		1					○							兼1
	声楽アンサンブル2	2④		1					○							兼1
	器楽アンサンブル1	2①		1					○							兼1
	器楽アンサンブル2	2②		1					○							兼1
	邦楽歌唱法	3④		1					○							兼1
	邦楽器演奏法	3③		1					○							兼1
	近現代文化言説論A	2③		1				○								兼1
	近現代文化言説論B	2④		1				○								兼1
	近現代モート論A	2③		1				○								兼1
	近現代モート論B	2④		1				○								兼1
	近現代アート論A	2①		1				○								兼1
	近現代アート論B	2②		1				○								兼1
	表象文化形成論A	2①		1				○								兼1
	表象文化形成論B	2②		1				○								兼1
	視覚文化論A	2①		1				○								兼1
	視覚文化論B	2②		1				○								兼1
包括支援システム論	3①		1				○		2	2					オムニバス	
社会調査法1	3①		1				○								兼1	
社会調査法2	3②		1				○								兼1	
社会教育課題研究(ホランティア学習論)1	3①		1					○	1							
社会教育課題研究(ホランティア学習論)2	3②		1					○	1							
社会教育課題研究(障害共生教育論)1	3③		1					○	1							
社会教育課題研究(障害共生教育論)2	3④		1					○	1							
社会教育課題研究(リスクコミュニケーション論)1	3①		1					○			1					
社会教育課題研究(リスクコミュニケーション論)2	3②		1					○			1					
社会教育課題研究(シエンター問題学習論)1	3①		1					○		1						
社会教育課題研究(シエンター問題学習論)2	3②		1					○		1						
卒業研究	4通		10						15	27	2					
小計(153科目)		—	11	144	0		—		15	27	2	0	0	兼14	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
資格免許のための科目	日本国憲法1	2③		1		○										
	日本国憲法2	2④		1		○										
	教職論(中・高)1	1		1		○										集中
	教職論(中・高)2	1		1		○										集中
	教育原理1	1③		1		○										
	教育原理2	1④		1		○										
	教育史1	2①		1		○										
	教育史2	2②		1		○										
	教育行政学(中・高)1	1③		1		○										
	教育行政学(中・高)2	1④		1		○										
	教育経営学(中・高)1	2①		1		○										
	教育経営学(中・高)2	2②		1		○										
	中等カリキュラム論1	2		1		○										集中
	中等カリキュラム論2	2		1		○										集中
	中等道徳教育論1	2		1		○										集中
	中等道徳教育論2	2		1		○										集中
	中等特別活動指導論1	3①		1		○										
	中等特別活動指導論2	3②		1		○										
	中等学習指導論1	2		1		○										集中
	中等学習指導論2	2		1		○										集中
	中等生徒指導論1	3①		1		○										
	中等生徒指導論2	3②		1		○										
	中等教育事前・事後指導	3①		1					○							
	中学校教育実地研究A	3①		2					○							
	中学校教育実地研究B	3②		2					○							
	高等学校教育実地研究	3①		2					○							
	教職実践演習(中・高)1	4③		1			○									
	教職実践演習(中・高)2	4④		1			○									
	工芸実践演習1	2③		1			○									
	工芸実践演習2	2④		1			○									
	ソルフェージュ1	1③		1			○									
	ソルフェージュ2	1④		1			○									
	先端表現演習1	3①		1			○									集中
	先端表現演習2	3②		1			○									集中
	英語科教育論A1	2		1		○										隔年集中
	英語科教育論A2	2		1		○										隔年集中
	英語科教育論B1	2③		1		○										隔年
	英語科教育論B2	2④		1		○										隔年
	英語科教育論C1	3		1		○										隔年集中
	英語科教育論C2	3		1		○										隔年集中
	英語科教育論D1	3③		1		○										隔年
	英語科教育論D2	3④		1		○										隔年
	保健体育科教育論A1	2①		1		○										
	保健体育科教育論A2	2②		1		○										
	保健体育科教育論B1	2③		1		○				1						
	保健体育科教育論B2	2④		1		○										
	保健体育科教育論C1	3・4①		1		○				1						隔年
保健体育科教育論C2	3・4②		1		○				2						隔年、オムニバス	
保健体育科教育論D1	3・4①		1		○				1						隔年	
保健体育科教育論D2	3・4②		1		○				1						隔年	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
資格免許のための科目	音楽科教育論A1	2①		1		○									集中
	音楽科教育論A2	2②		1		○									集中
	音楽科教育論B1	2③		1		○									集中
	音楽科教育論B2	2④		1		○									集中
	音楽科教育論C1	3・4①		1		○				1					隔年
	音楽科教育論C2	3・4②		1		○				1					隔年
	音楽科教育論D1	3・4③		1		○				1					隔年
	音楽科教育論D2	3・4④		1		○				1					隔年
	美術科教育論A1	2①		1		○									
	美術科教育論A2	2②		1		○									
	美術科教育論B1	3①		1		○									
	美術科教育論B2	3②		1		○									
	美術科教育論C1	2③		1		○				1					
	美術科教育論C2	2④		1		○				1					
	美術科教育論D1	3③		1		○					1				
	美術科教育論D2	3④		1		○					1				
	理科教育論A	2		2		○									集中
	理科教育論B	2		2		○									集中
	理科教育論C	3		2		○									集中
	理科教育論D	3		2		○									集中
	数学科教育論A1	2①		1		○									
	数学科教育論A2	2②		1		○									
	数学科教育論B1	2③		1		○									
	数学科教育論B2	2④		1		○									
	数学科教育論C1	3①		1		○									
	数学科教育論C2	3②		1		○									
	数学科教育論D1	3③		1		○									
	数学科教育論D2	3④		1		○									
	家庭科教育論A	2		2		○									集中
	家庭科教育論B	3		2		○									集中
	家庭科教育論C1	3①		1		○									
	家庭科教育論C2	3②		1		○									
	家庭科教育論D1	3③		1		○									
	家庭科教育論D2	3④		1		○									
	社会科教育論A1	2		1		○									集中
	社会科教育論A2	2		1		○									集中
	社会科教育論B1	2		1		○									集中
	社会科教育論B2	2		1		○									集中
	公民科教育論1	2		1		○									集中
	公民科教育論2	2		1		○									集中
	社会科・公民科教育論1	3①		1		○									
	社会科・公民科教育論2	3②		1		○									
	地歴科教育論1	2①		1		○									
	地歴科教育論2	2②		1		○									
	社会科・地歴科教育論1	2		1		○									集中
	社会科・地歴科教育論2	2		1		○									集中
	博物館概論1	2①		1		○									
	博物館概論2	2②		1		○									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
資格免許のための科目	博物館経営論1	2③		1		○									集中 集中
	博物館経営論2	2④		1		○									
	博物館資料論1	3③		1		○									
	博物館資料論2	3④		1		○									
	博物館展示論1	2①		1		○									
	博物館展示論2	2②		1		○									
	博物館教育論1	2		1		○									
	博物館教育論2	2		1		○									
	博物館情報・メディア論1	2③		1		○									
	博物館情報・メディア論2	2④		1		○									
	博物館実習	2①～3④		3				○							
小計 (109科目)	-	0	120	0	-			8	6	0	0	0	-		
合計 (628科目)		-	36	575.5 又は 576.5	0	-		15	27	2	1		兼156		
学位又は称号	学士 (学術)		学位又は学科の分野			文学関係, 教育学・保育学関係, 社会学・社会福祉学関係, 美術関係, 音楽関係, 体育関係									

I 設置の趣旨・必要性

(設置の背景・必要性)

情報通信技術が爆発的に進展し、経済・社会の活動範囲が地球規模で広がるグローバル化が急速に進行する中、ヒト、モノ、カネ、情報がかつてない規模とスピードで地球上を自由に行き来するようになった。そこでは、人類の更なる発展が期待される一方で、地球規模での競争の激化を背景に、様々なレベルで価値観の衝突や知識・富の偏在等の問題が懸念されている。しかも、我が国は諸外国に先駆けて超高齢社会に突入し、少子化の動きと相まって急激な人口減少による地方消滅の危機が指摘されている。

こうした現実を前に、私たちは、国民一人ひとりに豊かで安心できる生活を確保するため、一刻も早く課題克服の道筋を探し出し、持続的成長を果たす活力ある成熟社会を作り上げていく必要がある。今日の知識基盤社会の動向を踏まえるとき、そこで必要になるのが、新たな価値を生み出す「知」とそれを担う人材であることは、言を俟たない。

そして、こうした脈絡において、大学には強い期待が寄せられている。

例えば、中央教育審議会答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」（平成 24 年 8 月）では、「予測困難な時代」において「未来を見通し、これからの社会を担い、未知の時代を切り拓く力のある学生の育成や、将来にわたって我が国と世界の社会経済構造や文化、思想に影響を及ぼす可能性を持つ学術研究の推進などを通して、未来を形づくり、社会をリードする役割を担う」ことが、大学に求められている。

さらに、「21 世紀の日本にふさわしい教育体制を構築し、教育の再生を実行」することを目的に置かれた教育再生実行会議も、大学が「未踏の地への挑戦により新たな知を創造し、社会を変革していく主体」（「これからの大学教育等の在り方について（第三次提言）」平成 25 年 5 月）となることを期待し、最近では特に人材育成に焦点を当て、「これからの時代を生きる人たちに必要とされる資質・能力」として、「主体的に課題を発見し、解決に導く力、志、リーダーシップ」「創造性、チャレンジ精神、忍耐力、自己肯定感」「感性、思いやり、コミュニケーション能力、多様性を受容する力」を養成すべきとしている（「これからの時代に求められる資質・能力と、それを培う教育、教師の在り方（第七次提言）」平成 27 年 5 月）。

大学は今、蓄積した数多くの資源を最大限に発揮し、こうした社会の要請に積極的に応えていく必要がある。

(神戸大学のこれまでの取組)

国立大学法人神戸大学（以下、「本学」とする。）は、100 有余年の歴史と伝統を有し、開放的で国際性に富む固有の文化の下、「真摯・自由・協同」の精神を発揮し、人類社会に貢献するため、普遍的価値を有する「知」を創造するとともに、人間性豊かな指導的人材を育成することを使命とする。

そして、この使命を果たすため、本学は、昨年 4 月に新たなビジョンを策定した。そこでは、「学理と実際の調和」という基本理念に基づいて様々な連携・融合の力を最大限に発揮し、「先端研究・文理融合研究で輝く卓越研究大学」として世界最高水準の教育研究拠点の構築を構想する。その中で、教育に関しては「教育のグローバル化による世界で活躍する先導的人材の育成」を掲げ、その中核的事業として、国際文化学部と発達科学部を再編し、種々のグローバルイシュー（地球的課題）の解決に向けて多様な人々と協働しながらリーダーシップを発揮できる「協働型グローバル人材」の養成を目的とする国際人間科学部（以下、「新学部」という。）を設置する。

国際文化学部は、平成 4 年、新しい学際的な領域を開拓することを目的に、異文化理解を深め、国際社会の協調を推進するためのコミュニケーションの方法を開発することを理念として、教養部を廃止して設置された。それ以来、幅広い教養と高い倫理性を身に付け、豊かな感性と柔軟な思考力をもって自ら主体的に課題に取り組み、考え、判断し、行動できる能力等を有し、文化の諸問題を世界的視野に立って考察し、地球規模で社会に貢献できる人材を養成してきた。特に、協定大学との間で毎年相互に 40 ～ 50 名の交換留学を実施しているほか、卒業生の就職についても高い就職率を誇っており、東洋経済新報社による「就職で差が付く『本当に強い大学』ランキング」（平成 27 年 8 月 27 日付け）においては全国の外国語・国際系学部で第一位に評価されている。

また、発達科学部は、平成 4 年、教育・研究の対象を、学校教育を主体とした領域から人間の発達にわたる全領域に広げ、新しい科学としての学問体系、それに伴う教育・研究体制を確立し、社会的要請に応え得る人材の育成を図ることを目的に、教育学部を改組して設置した。それ以来、乳幼児期から高齢期に至るまでの人間の発達及びそれを支える環境を対象とした発達科学の学問分野の教育研究を通じて、幅広い知識と豊かな教養を身に付け、発達科学に関する専門的知見及び問題解決能力を有し、広く社会で活躍できる人材を養成してきた。特に、少人数対話型教育を徹底し、受講学生の問題発見能力、効果的なプレゼンテーション能力、質問・ディスカッション能力等を涵養している点に特色を持つ。

新学部は、これら二つの学部の強みと特色を最大限に生かすことで、「持続的な『競争力』を持ち、高い付加価値を創り出す」ことを目指す。

国際人間科学部 再編計画概要

【現行】

国際文化学部 140人	
国際文化学科(140)	情報コミュニケーション論 現代文化論 異文化コミュニケーション論 地域文化論
発達科学部 280人	
人間形成学科(90)	心理発達論コース 子ども発達論コース 教育科学論コース 学校教育論コース
人間行動学科(50)	健康発達論コース 行動発達論コース 身体行動論コース
人間表現学科(40)	人間表現論コース
人間環境学科(100)	自然環境論コース 数理情報環境論コース 生活環境論コース 社会環境論コース

【再編後】

国際人間科学部 370人 (△50)	
グローバル文化学科(140)	グローバル文化形成 グローバル社会動態 グローバル・コミュニケーション
発達コミュニティ学科(100)	発達基礎 コミュニティ形成
環境共生学科(80)	環境基礎科学 環境形成科学
子ども教育学科(50)	学校教育学 乳幼児教育学

(養成する人材)

新学部は、グローバルイシュー（現代社会が地球規模での協働を通して取り組まなければならない課題）を深い人間理解と他者への共感をもって解決し、世界の人が多様な境界線を越えて共存できる「グローバル共生社会」の実現に貢献する「協働型グローバル人材」を養成することを教育研究上の目的とする。その達成に向け、新学部では、教育課程を通じて授与する学位に関して、国際的に卓越した教育を保証するため、以下の方針に従って当該学位を授与する。

国際人間科学部規則に定める卒業に必要な単位を修得する。

卒業までに、新学部生が次の能力を獲得することを学修の目標とする。

- ① グローバルイシューを構成する諸課題を発見する批判的・合理的思考力
- ② 外国語や ICT を使いこなす多様なコミュニケーション能力と情報収集・分析力
- ③ グローバルイシューを異文化理解・人間発達・環境共生の観点から理解する能力
- ④ グローバルイシューの解決に向けて、他者と協働しつつ、リーダーシップを発揮する行動力

II 教育課程編成の考え方・特色

新学部は、グローバル社会で生起する環境、災害、民族、宗教、経済格差、人権、教育、社会福祉等に関わるグローバルイシューを深い人間理解と他者への共感をもって解決し、「グローバル共生社会」の実現に貢献する「協働型グローバル人材」を養成することを目的としている。このような人材養成を達成するため、新学部は、グローバル文化学科、発達コミュニティ学科、環境共生学科、子ども教育学科の4学科を設置する。それぞれ、グローバル文化学科は「多文化状況、文化交流、文化摩擦等をめぐる諸問題の解決」、発達コミュニティ学科は「人間の発達の諸相の理解とそれを支えるコミュニティの形成」、環境共生学科は「共生社会を支える環境の創出と保全」、子ども教育学科は「持続可能なグローバル共生社会を創造する次世代指導者の育成」を、専門教育の目標に掲げている。

このような学科ごとの専門性を身に付けた「協働型グローバル人材」を養成するため、新学部では、必要な能力を年次進行に沿って修得できるよう、4つの科目区分を設ける。

- (1) 全学共通授業科目（基礎教養科目、総合教養科目、外国語科目、情報科目、健康・スポーツ科学、共通専門基礎科目、資格免許のための科目、その他必要と認める科目）
- (2) 高度教養科目（他学部開講科目）
- (3) 専門科目
 - ① 学部共通基礎科目
 - ② 学部共通発展科目
 - ③ グローバル・スタディーズ・プログラム(GSP)科目
 - ④ 学科専門科目
- (4) 自由選択科目

上記の(1)及び(2)は、本学の学生が卒業時に身に付けるべき共通の能力を「神戸スタンダード」として明示し、その修得を目標とする。「神戸スタンダード」とは、本学の全学部学生を対象とする教養教育において修得を目指す「複眼的に思考する能力」、「多様性と地球的課題を理解する能力」、「協働して実践する能力」の総称である。なお、卒業単位数に占めるその割合等は、各学部の特性に応じ

その裁量に委ねられている。

このうち②は、異なる専門分野の学生が、協働して学際的な課題を学ぶことで、学生の自主性、コミュニケーション能力、チームワークなどの社会的能力、課題解決能力を養成することを目的とする授業科目である。

③は、新学部が教育目的とする「協働型グローバル人材」として社会に羽ばたくに当たり必要不可欠となる基礎知識とスキルを、新学部の学生に共有させるための学部の基盤教育である。そのうち、①は主として1年次に開講される基本的な授業科目であり、②は①において修得した知識や技能を更に発展させて、「協働型グローバル人材」として世界中の人々と実践の場でグローバルイシュー解決のために協力できる基礎力を得られるよう設計された授業科目である。特に②の外国語科目については、①で設定された外国語科目のうち、英語のみならずフランス語、ドイツ語、中国語等の第二外国語のスキルを一層向上させるための上級外国語科目である「Academic Communication」、「Academic Writing」等のほか、①で設定されていないロシア語、スペイン語、イタリア語などグローバル社会で重視される外国語を修得するための多様な入門科目を開設することとした。

③のグローバル・スタディーズ・プログラム（GSP）は、国境を越えた実践の場でコミュニケーション能力を駆使して多様な人々と協働する経験を積ませるための重要なカリキュラムである。したがって、このプログラムは、④の学科専門科目の一部でありつつも、新学部のカリキュラムの“目玉”として、学部の「必修科目」として位置付けられている。その詳細については、下記で説明する。

④は、協働型グローバル人材というジェネリックなスキルを備える人材養成像を学部として追求しながらも、単なる実践的技術の修得にとどまらず、多様性に富んだ専門的知識とそれに基づき具体的問題を“構造化する”構想力とを育成するための専門教育を実施するものである。世界中の人々とグローバルイシューの解決のために協働するためには、コミュニケーション・スキルの会得を踏まえ、地に足の着いた多彩な専門的知識を基に、世界が直面する深刻な課題を関係者間の協力と妥協によって“解決可能なもの”として認識を共有できるよう図式化し提案・発信できる豊かな構想力が求められているからである。

④は、コミュニケーション能力や多面的視野を広げるため、上級外国語や他学科の専門科目を中心に各自の関心に基づき修得できる科目である。

[グローバル・スタディーズ・プログラム（GSP）]

(1) GSP の構成

GSP は、学生の専門性とニーズにきめ細かく対応するために国内外の多様な学びの場の設定し、事前学修及び事後学修の徹底による体系的教育とする。そのため、GSP は次の3つの部分から構成され、学生は7単位の修得を必修化する。

(ア) グローバル・スタディーズ準備科目（2単位）

「グローバルイシュー概論」及び「グローバルイシュー演習」により、現代世界が抱える諸課題を包括的に学修し、海外研修・フィールド学修の課題を絞り込むための基礎的情報を学ぶ。

(イ) 海外研修・フィールド学修（3単位）

海外の大学等教育機関での語学を含む教育、海外フィールドでの社会体験、国内フィールドでの社会体験などを主な構成要素としながら、それらを柔軟に組み合わせ、実践的な学問研究につなげることを目標とし、個々の学生の専門性と要望に応じて選択する次の3つのGSコースを置くこととしている。

各コースについては、期間や方法等が異なるが、そこで達成すべき履修目標が同じであり、学修時間を満たし、一定の学修効果も得られることから、一律3単位としている。

- ・留学型GSコース：中長期の交換留学協定校への派遣留学若しくは私費留学又は4週間以上のサマースクール若しくは語学研修とその期間中に学生自身が留学先現地において計画、実施するフィールド学修、ボランティア活動等から構成され、海外での適応能力、企画力・行動力の修得を目的とする。
- ・実践型GSコース：フィールド学修の要素を含む、1週間以上の海外でのスタディー・ツアーや海外企業、教育機関、NGO等でのインターンシップ等を行う。本コースは、特に海外での実践的コミュニケーション能力の向上及び国境を越える協働を通じた問題解決能力の修得を目的とする。
- ・研修型GSコース：2週間以上の語学研修、サマースクール等のプログラムを海外において履修し、そこで得た問題意識を活かし、さらに国内フィールド学修を履修する。海外事情と国内の状況の比較を含む総括的学修を通じた幅広い視野からの問題解決能力の修得を目的とする。

(ウ) GSP 演習科目（2単位）

海外研修・フィールド学修に先立つ「オリエンテーション」と、事後に行う「リフレクション」から構成される。ここでは、アクティブ・ラーニングの手法を用いて事前の課題設定と事後の自己評価を行う。

(2) 留学先等の選択支援

GSコースの選択や留学先等の決定に当たり、次のとおりきめ細かな履修指導を行う。

(ア) 「オリエンテーション」時における指導

「オリエンテーション」において、学生の適性や履修時期・方法等を考慮し、適切なGSコースを選択するよう指導する。

(イ) GSP オフィスにおける個別相談

GSP オフィスを設置し、海外研修・フィールド学修に関する個別の学修相談、生活相談等に応じる。

(ウ) 派遣学生の選抜

交換留学の選考に当たっては、外国語能力の測定のみに頼ることなく、学問的関心、専門的な勉学意欲、積極性を測るための「モチベーション・テスト」を実施する。

(エ) 充実した外国語教育

英語をはじめ、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語等に関する専門科目を多数準備し、学生のニーズと海外研修先に応じた語学力の向上を図る。

(3) 単位認定方法

「オリエンテーション」「リフレクション」では、発表及びレポートを課す。

各GSコースでは、留学・研修期間中の活動報告を課す。

(4) 留学中の指導・危機管理

留学中の指導については、GSPの各プログラムに教員アドバイザーを配置し、指導、助言を行う。

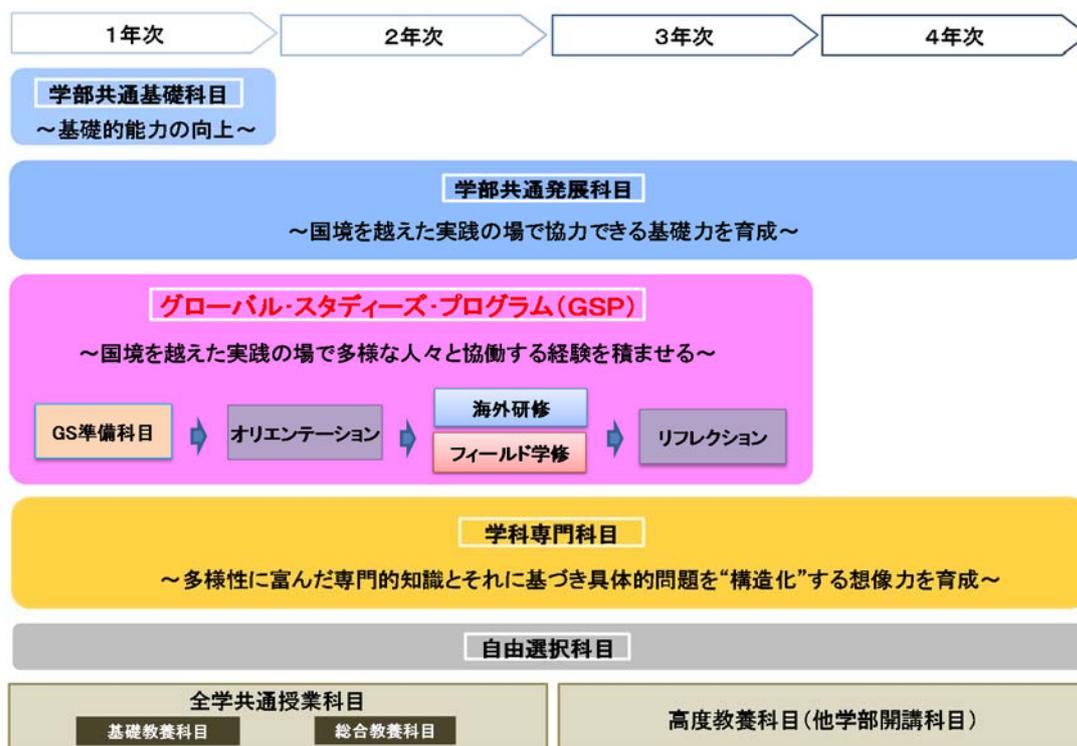
海外で事件や災害などが発生した場合に備えて、民間企業の危機管理システムを利用し、海外で事故等の際の各種の支援を得られる体制を構築する。

(5) 海外研修及びフィールド学修先の確保

(ア) 海外での研修先

- 本学と学術交流協定を締結した海外大学（69校）など
 (i) 国内フィールド学修先
 兵庫県内の社会教育関連施設、兵庫県内の自治体など

カリキュラム体系図



(学科の特色)

発達コミュニティ学科

(ア) 学科の目標

人間の発達とは多様なコミュニティにおける社会的諸関係（学修や経験・協働）を通じて実現されていく。発達コミュニティ学科は、「発達コミュニティ」をこのように理解した上で、人々の多様性や異質性を尊重した持続可能なグローバル共生社会の実現を目指し、人間の多様な発達と、発達を支えるコミュニティ（多様な人々が協働する社会）に関する研究・教育を行い、人間がより良く生きるとともに、それを可能にする多様なコミュニティを国際社会を舞台として形成・展開していく能力を身に付けた人材を養成する。具体的には、人間発達の全体像を多面的にとらえる能力や、心理、アート、スポーツ等を通じて、地域や国を超えたグローバルなコミュニティの形成に貢献できる能力を有する人材を養成することを目的とする。

(イ) 専門教育の特色

人間発達の全体像を把握するためには、心理的発達（個人的側面、社会的側面）と身体的発達（身体の成長的側面及び運動機能的側面）に加えて、人間の最も本質的な特性である表現活動やスポーツ行動の発達について深く学ぶ必要がある。また、このような人間の発達は、地域に根差したコミュニティだけでなく、地域や国を超えたグローバルな連携を基盤としたコミュニティなど、多様な場面の学修や経験・協働を通じて実現されていくことから、人間発達とコミュニティの関係についても深く学ぶ必要がある。以上を踏まえて、本学科では、「発達基礎」と「コミュニティ形成」の2つの学科目を設ける。

「発達基礎」の学科目では、人間の心理的発達や身体的発達、表現や行動の機能発達など、生涯にわたる人間発達の全体像について、発達心理学や臨床心理学、身体機能発達学、認知科学等の観点から理論的・実践的な専門教育を行う。

「コミュニティ形成」の学科目では、グローバル化の進展とともに、コミュニティの概念が質的・空間的拡がりを見せる中、人間の多様な発達の相互関係を、スポーツ行動や表現実践、スポーツ・アートマネジメント、障害者支援等の観点から探究するとともに、こういった人間固有の高度に発達した機能をリソースとしたコミュニティの形成やネットワークについて理論的・実践的に学ぶことにより、グローバル社会と個人をつないでいくための実践的知識や技術に関する専門教育を行う。

本学科の専門教育の特色は、心理学、認知科学、健康科学、スポーツ科学、芸術、社会学、社会教育学などに基づいた学際性と総合性にあるとともに、国内外でのフィールド学修や現場実践、海外でのスタディー・ツアーを取り入れたアクションリサーチ型の実践的教育を推進するなど、国際性と実践性にある。

また、本学科では、人間の発達とそれを可能とするコミュニティの在り方と基礎概念、人間の発達とコミュニティの関連性について、「コミュニティ創成論（学部共通基礎科目・必修科目）」、「発達コミュニティ概論 1,2（学科共通科目・必修科目）」、「コミュニティ論（学科共通科目・必修科目）」、「地域社会学（学科共通科目・必修科目）」により、「心身の発達」、「スポーツ行動」、「表現活動」、「社会エンバワメント」の観点からグローバル社会の様々な課題にアプローチして解決に導く理論的筋道を示す。これらの概論を起点とした多面的かつ総合的な学修と、グローバル・スタディーズ・プログラム（GSP）における海外研修やフィールド学修への実践的参加を通じて醸成された問題意識から導かれた研究課題を、必修科目である一連の体系的・段階的な「発達コミュニティ演習」によって卒業論文という形で結実させる。

卒業要件及び履修方法

授業期間等

(卒業要件)

4年以上在学し、学部規則で定める授業科目のうちから124単位以上を修得しなければならない。ただし、3年以上在学した者が、卒業の要件として学部規則に定める単位を優秀な成績で修得したものと認められ、かつ、学生が卒業を希望する場合には卒業することができる。

(履修方法)

(1) 全学共通授業科目 27 単位以上 (必修 7 単位, 選択 20 単位以上)

(2) 高度教養科目 (他学部開講科目) 4 単位

(3) 専門科目

① 学部共通基礎科目 6 単位以上 (必修 4 単位, 選択 2 単位以上)

② 学部共通発展科目 4 単位以上 (必修 2 単位, 選択 2 単位以上)

③ グローバル・スタディーズ・プログラム (GSP) 科目 7 単位 (必修 4 単位, 選択 3 単位)

④ 学科専門科目 68 単位以上 (必修 19 単位, 選択 49 単位以上)

(ア) 学科共通科目 (必修 8 単位)

(イ) 学科コア科目 (選択 8 単位以上)

(ウ) 学科展開科目 (必修 11 単位, 選択 10 単位以上)

(4) 自由選択科目 8 単位以上

(履修科目の登録の上限: 49 単位 (年間))

1 学年の学期区分	4 学期
1 学期の授業期間	8 週
1 時限の授業時間	90 分

教育課程等の概要 (事前伺い)

(国際人間科学部環境共生学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
全学共通授業科目	人文系	哲学	1②-2④		1		○											
		心理学A	1②-2④		1		○											
		心理学B	1②-2④		1		○											
		論理学	1②-2④		1		○											
		教育学A	1②-2④		1		○											
		教育学B	1②-2④		1		○											
		倫理学	1②-2④		1		○											
		小計 (7科目)		—	0	7	0	—		0	0	0	0	0	0			
	社会科学系	政治学A	1②-2④		1		○				2							
		政治学B	1②-2④		1		○											
		経済学A	1②-2④		1		○											
		経済学B	1②-2④		1		○											
		地理学	1②-2④		1		○			1								
	小計 (5科目)		—	0	5	0	—		1	2	0	0	0	0				—
	生命科学系	医学A	1②-2④		1		○											
		医学B	1②-2④		1		○											
		保健学A	1②-2④		1		○											
		保健学B	1②-2④		1		○											
		健康科学A	1②-2④		1		○											
		健康科学B	1②-2④		1		○											
		生物学A	1②-2④		1		○				1							共同
		生物学B	1②-2④		1		○											共同
		生物学C	1②-2④		1		○											
	小計 (9科目)		—	0	9	0	—		0	1	0	0	0	0				—
	自然科学系	惑星学A	1②-2④		1		○											オムニハス
		惑星学B	1②-2④		1		○											オムニハス
		惑星学C	1②-2④		1		○											オムニハス
		情報学A	1②-2④		1		○											
情報学B		1②-2④		1		○												
小計 (5科目)		—	0	5	0	—		0	0	0	0	0	0				—	
総合教養科目	(1) 多文化理解	教育と人間形成	1②-2④		1		○											
		文学A	1②-2④		1		○											
		文学B	1②-2④		1		○											
		言語科学A	1②-2④		1		○											
		言語科学B	1②-2④		1		○											
		芸術と文化A	1②-2④		1		○											
		芸術と文化B	1②-2④		1		○											
		日本史A	1②-2④		1		○											
		日本史B	1②-2④		1		○											
		東洋史A	1②-2④		1		○											
		東洋史B	1②-2④		1		○											
		アジア史A	1②-2④		1		○											
		アジア史B	1②-2④		1		○											
		西洋史A	1②-2④		1		○											
		西洋史B	1②-2④		1		○											
		考古学A	1②-2④		1		○											
		考古学B	1②-2④		1		○											
		芸術史A	1②-2④		1		○											
		芸術史B	1②-2④		1		○											
		美術史A	1②-2④		1		○											
美術史B	1②-2④		1		○													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学共通授業科目	(1) 多文化理解	科学史A	1②-2④	1		○										
		科学史B	1②-2④	1		○										
		社会思想史	1②-2④	1		○										
		文化人類学	1②-2④	1		○										
		越境する文化	1②-2④	1		○										
		学校教育と社会	1②-2④	1		○										
		か奸の文化学A	1②-2④	1		○										
		か奸の文化学B	1②-2④	1		○										
		小計 (29科目)	—	0	29	0	—			0	0	0	0	0	—	
	(2) 自然界の成り立ち	科学技術と倫理	1②-2④	1		○										
		現代物理学が描く世界	1②-2④	1		○				1						
		身近な物理法則	1②-2④	1		○										
		か奸の自然学	1②-2④	1		○										
		ものづくりと科学技術A	1②-2④	1		○									オムニハス	
		ものづくりと科学技術B	1②-2④	1		○									オムニハス	
		生命科学A	1②-2④	1		○									オムニハス	
		生命科学B	1②-2④	1		○									オムニハス	
		生物資源と農業A	1②-2④	1		○									オムニハス	
		生物資源と農業B	1②-2④	1		○									オムニハス	
	生物資源と農業C	1②-2④	1		○									オムニハス		
	生物資源と農業D	1②-2④	1		○									オムニハス		
	小計 (12科目)	—	0	12	0	—			1	0	0	0	0	—		
	(3) グローバルイシュー	環境学入門A	1②-2④	1		○										
		環境学入門B	1②-2④	1		○										
		社会と人権A	1②-2④	1		○										
		社会と人権B	1②-2④	1		○										
		男女共同参画とジェンダーA	1②-2④	1		○									オムニハス	
		男女共同参画とジェンダーB	1②-2④	1		○									オムニハス	
		グローバルリーダーシップ 育成基礎演習	1②-2④	2		○									共同	
EU基礎論		1②-2④	1		○									オムニハス		
国際協力の現状と課題A		1②-2④	1		○											
国際協力の現状と課題B		1②-2④	1		○											
社会生活と法		1②-2④	1		○											
国家と法		1②-2④	1		○											
現代の経済A		1②-2④	1		○											
現代の経済B		1②-2④	1		○											
経済社会の発展		1②-2④	1		○											
企業と経営		1②-2④	1		○											
地球史における生物の変遷		1②-2④	1		○											
生物の環境適応		1②-2④	1		○					1						
人間活動と地球生態系		1②-2④	1		○					1						
食と健康A		1②-2④	1		○									オムニハス		
食と健康B	1②-2④	1		○									オムニハス			
資源・材料とエネルギーA	1②-2④	1		○									オムニハス			
資源・材料とエネルギーB	1②-2④	1		○									オムニハス			
小計 (23科目)	—	0	24	0	—			1	1	0	0	0	—			
(4) ESD	ESD基礎(持続可能な社会づくり1)A	1②-2④	1		○											
	ESD基礎(持続可能な社会づくり1)B	1②-2④	1		○											
	ESD論(持続可能な社会づくり2)A	1②-2④	1		○											
	ESD論(持続可能な社会づくり2)B	1②-2④	1		○											
	ESD生涯学習論A	1②-2④	1		○											
	ESD生涯学習論B	1②-2④	1		○											
	ESDポランティア論	1②-2④	1		○									オムニハス・共同(一部)		
	小計 (7科目)	—	0	7	0	—			0	0	0	0	0	—		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学共通授業科目	(5) キャリア科目	企業社会論A	1②-2④		1		○									オムニバス
		企業社会論B	1②-2④		1		○									オムニバス
		職業と学び-キャリアデザインを考えるA	1②-2④		1		○									
		職業と学び-キャリアデザインを考えるB	1②-2④		1		○									
		社会基礎学(グローバル人材に不可欠な教養)	1②-2④		2		○									
		ボランティアと社会貢献活動A	1②-2④		1		○									
		ボランティアと社会貢献活動B	1②-2④		1		○									
		グローバルチャレンジ実習	1②-2④		1又は2											
	小計(8科目)	—	0	9又は10	0	—			0	0	0	0	0	0	—	
	(6) 神戸学	神戸大学史A	1②-2④		1		○									オムニバス
		神戸大学史B	1②-2④		1		○									オムニバス
		神戸大学の研究最前線A	1②-2④		1		○									
		神戸大学の研究最前線B	1②-2④		1		○									
		阪神・淡路大震災A	1②-2④		1		○									オムニバス
		阪神・淡路大震災B	1②-2④		1		○									オムニバス
海への誘い		1②-2④		2		○										
瀬戸内海学入門		1②-2④		2		○										
小計(8科目)	—	0	10	0	—			0	0	0	0	0	0	—		
外国語科目	外国語第I	English Communication A1	1①	0.5			○									
		English Communication A2	1②	0.5			○									
		English Communication B1	1③	0.5			○									
		English Communication B2	1④	0.5			○									
		English Literacy A1	1①	0.5			○									
		English Literacy A2	1②	0.5			○									
		English Literacy B1	1③	0.5			○									
		English Literacy B2	1④	0.5			○									
		Autonomous English 1	1①	0.5			○									
		Autonomous English 2	1②	0.5			○									
		Advanced English A1	2①・2③	0.5			○									
		Advanced English A2	2②・2④	0.5			○									
		Advanced English B	2①-2④	0.5			○									
		Advanced English C	2①・2②	1			○									
		Advanced English GEC (Productive) 1	1③	0.5			○									
		Advanced English GEC (Productive) 2	1④	0.5			○									
		Advanced English GEC(海外研修)	1④	1			○									
		Advanced English GEC(プレゼンテーション)1	2①	0.5			○									
		Advanced English GEC(プレゼンテーション)2	2②	0.5			○									
		Advanced English GEC(ライティング)1	2①	0.5			○									
Advanced English GEC(ライティング)2	2②	0.5			○											
Advanced English GEC(ディスカッション)1	2①	0.5			○											
Advanced English GEC(ディスカッション)2	2②	0.5			○											
小計(23科目)	—	5	7.5	0	—			0	0	0	0	0	0	—		
外国語第II	トイ語初級A1	1①		0.5			○									
	トイ語初級A2	1②		0.5			○									
	トイ語初級B1	1①		0.5			○									
	トイ語初級B2	1②		0.5			○									
	トイ語初級A3	1③		0.5			○									
	トイ語初級A4	1④		0.5			○									
	トイ語初級B3	1③		0.5			○									
	トイ語初級B4	1④		0.5			○									
	トイ語初級SA3	1③		0.5			○									
	トイ語初級SA4	1④		0.5			○									
	トイ語初級SB3	1③		0.5			○									
	トイ語初級SB4	1④		0.5			○									
	トイ語中級C1	2①		0.5			○									
	トイ語中級C2	2②		0.5			○									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学共通授業科目	外国語第Ⅱ	フランス語初級A1	1①		0.5			○								
		フランス語初級A2	1②		0.5			○								
		フランス語初級B1	1①		0.5			○								
		フランス語初級B2	1②		0.5			○								
		フランス語初級A3	1③		0.5			○								
		フランス語初級A4	1④		0.5			○								
		フランス語初級B3	1③		0.5			○								
		フランス語初級B4	1④		0.5			○								
		フランス語初級SA3	1③		0.5			○								
		フランス語初級SA4	1④		0.5			○								
		フランス語初級SB3	1③		0.5			○								
		フランス語初級SB4	1④		0.5			○								
		フランス語中級C1	2①		0.5			○								
		フランス語中級C2	2②		0.5			○								
		中国語初級A1	1①		0.5			○								
		中国語初級A2	1②		0.5			○								
		中国語初級B1	1①		0.5			○								
		中国語初級B2	1②		0.5			○								
		中国語初級A3	1③		0.5			○								
		中国語初級A4	1④		0.5			○								
		中国語初級B3	1③		0.5			○								
		中国語初級B4	1④		0.5			○								
		中国語初級SA3	1③		0.5			○								
		中国語初級SA4	1④		0.5			○								
		中国語初級SB3	1③		0.5			○								
		中国語初級SB4	1④		0.5			○								
		中国語中級C1	2①		0.5			○								
		中国語中級C2	2②		0.5			○								
		ロシア語初級A1	1①		0.5			○								
		ロシア語初級A2	1②		0.5			○								
		ロシア語初級B1	1①		0.5			○								
		ロシア語初級B2	1②		0.5			○								
	ロシア語初級A3	1③		0.5			○									
	ロシア語初級A4	1④		0.5			○									
	ロシア語初級B3	1③		0.5			○									
	ロシア語初級B4	1④		0.5			○									
	ロシア語中級C1	2①		0.5			○									
	ロシア語中級C2	2②		0.5			○									
		小計 (52科目)	—	0	26	0	—	—	—	—	0	0	0	0	0	—
		外国語第Ⅲ	第三外国語(ドイツ語)T1	2①		0.5			○							
			第三外国語(ドイツ語)T2	2②		0.5			○							
			第三外国語(ドイツ語)T3	2③		0.5			○							
			第三外国語(ドイツ語)T4	2④		0.5			○							
			第三外国語(フランス語)T1	2①		0.5			○							
			第三外国語(フランス語)T2	2②		0.5			○							
			第三外国語(フランス語)T3	2③		0.5			○							
			第三外国語(フランス語)T4	2④		0.5			○							
		小計 (8科目)	—	0	4	0	—	—	—	—	0	0	0	0	0	—
		情報目録	情報基礎	1①	1				○							
			小計 (1科目)	—	1	0	0	—	—	—	—	0	0	0	0	0
		健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学講義A	1③		1			○							
			健康・スポーツ科学講義B	1③		1			○							
	健康・スポーツ科学講義C		1③		1			○								
	健康・スポーツ科学実習基礎1		1①	0.5							○					
	健康・スポーツ科学実習基礎2		1②	0.5							○					
	健康・スポーツ科学実習1		1③		0.5						○					
	健康・スポーツ科学実習2		1④		0.5						○					
	小計 (7科目)	—	1	4	0	—	—	—	—	0	0	0	0	0	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目 学部専門科目	初年次セミナー	1①	1						3	3					兼21	
	異文化コミュニケーション論	1②		1			○								兼2	オムニバス
	協働型リーダーシップ論	1①		1			○		1						兼3	オムニバス
	国際開発援助論(JICA)1	1①	1				○								兼7	オムニバス
	国際開発援助論(JICA)2	1②	1				○								兼7	オムニバス
	コミュニティ創成論	2①	1				○								兼4	オムニバス
	フィールドワーク基礎論	1③		1			○		1						兼3	オムニバス
	異文化間教育論1	1③		1			○								兼1	
	異文化間教育論2	1④		1			○								兼1	
	ソーシャルエンパワメント論	1②		1			○								兼2	オムニバス
	情報リテラシー演習1	1③		1				○			1				兼5	共同
	情報リテラシー演習2	1④		1				○			1				兼5	共同
	小計(12科目)	—	—	4	8	0	—	—	—	5	4	0	0	0	兼38	—
学部共通発展科目	外国語実習A	1~4		1				○							兼1	
	外国語実習B	1~4		2				○							兼1	
	インターシップ実習A	1~4		1				○							兼1	
	インターシップ実習B	1~4		2				○							兼1	
	フィールドワーク実習A	1~4		1				○							兼1	
	フィールドワーク実習B	1~4		2				○							兼1	
	フィールドワーク方法論	2①		1			○								兼2	オムニバス
	情報発信演習1	2①		1				○							兼5	共同
	情報発信演習2	2②		1				○							兼5	共同
	プログラミング基礎演習1	2③		1				○							兼4	共同
	プログラミング基礎演習2	2④		1				○							兼4	共同
	Academic Communication(英)A	2①	1					○							兼6	
	Academic Communication(英)B	2②		1				○							兼6	
	Academic Writing(英)A	2③		1				○							兼6	
	Academic Writing(英)B	2④		1				○							兼6	
	TOEFL演習A	1③		1				○							兼4	
	TOEFL演習B	1④		1				○							兼4	
	TOEIC演習A	2①		1				○							兼4	
	TOEIC演習B	2②		1				○							兼4	
	English Presentation SkillsA	3①		1				○							兼4	
	English Presentation SkillsB	3②		1				○							兼4	
	English for Professional PurposesA	3③		1				○							兼4	
	English for Professional PurposesB	3④		1				○							兼4	
	Academic Communication(独)A	2①		1				○							兼2	
	Academic Communication(独)B	2②		1				○							兼2	
	Academic Communication(仏)A	2①		1				○							兼2	
	Academic Communication(仏)B	2②		1				○							兼2	
	Academic Communication(中)A	2①		1				○							兼1	
	Academic Communication(中)B	2②		1				○							兼1	
	Academic Communication(露)A	2①		1				○							兼1	
	Academic Communication(露)B	2②		1				○							兼1	
	Academic Writing(独)A	2③		1				○							兼2	
Academic Writing(独)B	2④		1				○							兼2		
Academic Writing(仏)A	2③		1				○							兼2		
Academic Writing(仏)B	2④		1				○							兼2		
Academic Writing(中)A	2③		1				○							兼1		
Academic Writing(中)B	2④		1				○							兼1		
Academic Writing(露)A	2③		1				○							兼1		
Academic Writing(露)B	2④		1				○							兼1		
スペイン語入門1	2①		1				○							兼1		
スペイン語入門2	2②		1				○							兼1		
スペイン語入門3	2③		1				○							兼1		
スペイン語入門4	2④		1				○							兼1		
コリア語入門1	2①		1				○							兼1		
コリア語入門2	2②		1				○							兼1		
コリア語入門3	2③		1				○							兼1		
コリア語入門4	2④		1				○							兼1		
ラテン語入門1	2①		1				○							兼1		
ラテン語入門2	2②		1				○							兼1		
ラテン語入門3	2③		1				○							兼1		
ラテン語入門4	2④		1				○							兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目 学部専門科目 学部共通発展科目	イタリア語入門1	2①		1			○								兼1		
	イタリア語入門2	2②		1			○								兼1		
	イタリア語入門3	2③		1			○								兼1		
	イタリア語入門4	2④		1			○								兼1		
	国際コミュニケーション演習A	1①		1			○								兼1		
	国際コミュニケーション演習B	1②		1			○								兼1		
	Cultures and Societies in JapanA	2①		1			○								兼1		
	Cultures and Societies in JapanB	2②		1			○								兼1		
	日本語コミュニケーション1	2①		1			○								兼1		
	日本語コミュニケーション2	2②		1			○								兼1		
	日本語文法基礎	1①～4④		1			○								兼5		
	実践日本語基礎	1①～4④		1			○								兼5		
	日本語・日本文化基礎演習	1①～4④		1				○							兼5		
	途上国農村地域開発論	2・3③		2			○			1						隔年	
	グローバル共生社会論	1④		1			○			5	1	1				オムニバス	
	小計 (66科目)	—	2	68	0	—	—	—	—	6	1	1	0	0	兼36	—	
	(デジタルイノベーション)グローバル・プログラム	グローバルイシュー概論	1①		1			○			1	1				兼6	オムニバス
		グローバルイシュー演習	1②		1			○			3	3				兼21	
		GSP演習(リエンテーション)	1①～3①		1			○			3	1				兼12	
		留学型GSコース	1①～3④		3			○			1	1				兼6	
実践型GSコース		1①～3④		3			○			1	1				兼6		
研修型GSコース		1①～3④		3			○			1	1				兼6		
GSP演習(リフレクション)		1④～3④		1			○			3	1				兼12		
小計 (7科目)	—	4	9	0	—	—	—	—	10	8	0	0	0	兼57	—		
学科専門科目 共通専門基礎科目 (環境共生学科)	力学基礎1	1①		1			○								兼1		
	力学基礎2	1②		1			○								兼1		
	電磁気学基礎1	1③		1			○								兼1		
	電磁気学基礎2	1④		1			○								兼1		
	連続体力学基礎	1③		1			○			1					兼1		
	熱力学基礎	1④		1			○			1					兼1		
	量子力学基礎	2①		1			○								兼1		
	相対論基礎	2②		1			○								兼1		
	物理学実験	2①		2			○								兼1		
	基礎無機化学1	1①		1			○								兼1		
	基礎無機化学2	1②		1			○								兼1		
	基礎有機化学1	1③		1			○				1						
	基礎有機化学2	1④		1			○				1						
	生物学概論A1	1①		1			○				1						
	生物学概論A2	1②		1			○				1						
	生物学各論A1	1③		1			○								兼1		
	生物学各論A2	1④		1			○								兼1		
	生物学各論C1	1③		1			○								兼1		
	生物学各論C2	1④		1			○								兼1		
	基礎地学1	1①		1			○								兼1		
	基礎地学2	1②		1			○								兼1		
	線形代数入門1	1①		1			○								兼1		
	線形代数入門2	1②		1			○								兼1		
	線形代数1	1①		1			○				1				兼2		
	線形代数2	1②		1			○				1				兼2		
	線形代数3	1③		1			○				1				兼1		
	線形代数4	1④		1			○				1				兼1		
	微分積分入門1	1③		1			○				1				兼1		
	微分積分入門2	1④		1			○								兼1		
	微分積分1	1①		1			○				1				兼1		
	微分積分2	1②		1			○				1				兼1		
	微分積分3	1③		1			○								兼1		
	微分積分4	1④		1			○								兼1		
数理統計1	1③		1			○				1							
数理統計2	1④		1			○				1							
法律学	1・2④		2			○			1						隔年		
経済学	1・2①		2			○					1				隔年		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目 学科学科 （環境共生学基礎科目）	政治学	1・2②		2		○			1	1					隔年	
	人文地理学	1・2③		2		○									隔年	
	外国史	1・2②		2		○				1					隔年	
	社会学	1・2④		2		○				1					隔年	
	日本史	1・2③		2		○								兼1	隔年	
	倫理学	1・2①		2		○				1					隔年	
	小計(43科目)	—	0	52	0	—			2	3	1	0	0	兼39	—	
	学科学科 （環境共生学共通科目）	環境共生学概論1	1①	1			○			3	4					オムニバス
		環境共生学概論2	1②	1			○			3	4					オムニバス
		環境共生学概論3	1③	1			○			1	6					オムニバス
		地球環境学1	1③		1		○			12	15	1				オムニバス
		地球環境学2	1④		1		○			12	15	1				オムニバス
	小計(5科目)	—	3	2	0	—			12	15	1	0	0		—	
	学科学科 コア科目 （環境共生学）	環境物理学A	2②		2		○			2	1					
		環境物理学B	2④		2		○			2	1					
		環境物質科学A	2②		2		○				2					オムニバス
		環境物質科学B	2④		2		○				2					オムニバス
		環境生命科学A	2①		2		○			1	1					オムニバス
		環境生命科学B	2③		2		○			1	1					オムニバス・共同
		環境地球科学A	2①		2		○			1	1					
環境地球科学B		2③		2		○			1	1						
数理科学基礎		2①		2		○			1							
統計的問題解決法		2①		2		○				1						
数理科学入門(統計系)		2②		2		○				1						
数理科学入門(代数系)		2③		2		○				1						
数理科学入門(幾何系)		2③		2		○			1							
数理科学入門(解析系)		2④		2		○			1							
計算機科学入門		2①		2		○			2	1						
数理プログラミング		2②		2		○			2	1						
環境基礎科学実験A1(主に地学)		2③		1				○	1	1					共同	
環境基礎科学実験A2(主に地学)		2④		1				○	1	1					共同	
環境基礎科学実験B1(主に生物学)		2①		1				○	3	3					オムニバス・共同	
環境基礎科学実験B2(主に生物学)		2②		1				○	3	3					オムニバス・共同	
環境基礎科学実験C1(主に化学)		2③		1				○		3					共同	
環境基礎科学実験C2(主に化学)		2④		1				○		3					共同	
環境社会学		2・3②		2			○		1						隔年	
環境思想史		2・3②		2			○			1					隔年	
公害・環境史		2・3①		2			○		1						隔年	
環境経済学		2①		2			○			1						
グローバル開発政策論		2・3③		2			○			1					隔年	
グローバル都市地域論		2・3②		2			○		1						隔年	
地域環境資源論		2①		2			○			1						
生活空間計画論	2①		2			○		1								
緑地環境論	2①		2			○			1							
ライフスタイル論A	2①		2			○			1							
ライフスタイル論B	2②		2			○		1								
高齢者環境論	2③		2			○			1							
子ども環境論	2④		2			○		1								
市民科学教育論	1④		1			○		1								
小計(36科目)	—	0	65	0	—			13	23	1	0	0		—		
学科学科 展開科目 （環境共生学）	宇宙環境物理学	2③		2		○			1							
	地球環境物理学	3①		2		○				1						
	大気環境学	2④		2		○								兼1		
	環境基礎物理学A	3①		2		○			1							
	環境基礎物理学B	3③		2		○								兼1		
	環境地球化学	3①		2		○			1							
	地球環境変動史	3③		2		○				1						
	生物多様性科学	2④		2		○			1							
	生態学	3①		2		○				1						
	環境資源植物科学	2③		2		○			1							
環境生理学	3③		2		○				1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考					
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手						
専門科目 学科専門科目 学科展開科目 (環境共生学科)	分子生物学	3①		2		○				1									
	環境高分子化学	3③		2		○				1									
	環境生命化学	3①		2		○				1									
	環境無機化学	2④		2		○													
	環境インフォマティクス	2・3③		2		○				1									
	環境数値解析	2③		2		○				1									
	環境物理学特別演習1	4①	0.5				○			2	1								兼1
	環境物理学特別演習2	4②	0.5				○			2	1								
	環境物理学特別演習3	4③	0.5				○			2	1								
	環境物理学特別演習4	4④	0.5				○			2	1								
	計算代数A	3・4①	2				○				1								
	計算代数B	3・4①	2				○				1								
	複雑系の幾何学	3①	2				○				1								
	環境モデル解析A	3・4②	2				○				1								
	環境モデル解析B	3・4②	2				○				1								
	多変量解析	3①	2				○				1								
	実験計画法	3②	2				○				1								
	情報数理A	3・4②	2				○				1								
	情報数理B	3・4②	2				○				1								
	数理科学研究A	3③	1				○												
	数理科学研究B	3④	1				○												
	野外生物学実習	3②	2						○		1	1							
	環境応用科学実験A1(地球環境)	3①	1						○		1	1							
	環境応用科学実験A2(地球環境)	3②	1						○		1	1							
	環境応用科学実験B1(生物環境)	3③	1						○		3	3							オムニバス・共同
	環境応用科学実験B2(生物環境)	3④	1						○		3	3							オムニバス・共同
	環境応用科学実験C1(物質環境)	3①	1						○			2							
	環境応用科学実験C2(物質環境)	3②	1						○			2							
	環境応用科学実験D1(環境物理)	3③	1						○		2	1							オムニバス・共同
	環境応用科学実験D2(環境物理)	3④	1						○		2	1							オムニバス・共同
	環境基礎科学演習1	3①	1						○		7	8							
	環境基礎科学演習2	3②	1						○		7	8							
	環境基礎科学演習3	3③	1						○		7	8							
	環境基礎科学演習4	3④	1						○		7	8							
	社会環境変動史	2・3④	2					○			1								
	環境法	2・3①	2					○			1								
	環境政策論	2③	2					○				1							
	グローバル平和論	2・3③	2					○				2							
	労働環境史	2・3④	2					○				1							
	グローバル経済環境史	2・3④	2					○				1							
	福祉環境システム論	2・3③	2					○					1						
	地域空間システム論	2・3②	2					○			1								
	環境システム設計論	2・3③	1					○				1							
	合意形成プロセス論	2・3③	1					○				1							
	地域景観生態論	2③	2					○				1							
	社会文化環境論	2・3②	2					○			1								
	地域社会共生論	2・3①	2					○			1								
	地域復興政策論	2・3③	2					○					1						
	衣環境論	2②	2					○			1								
	食環境論A	2②	2					○			1								
食環境論B	2④	2					○			1									
住環境論	2③	2					○			1									
アブライヴス環境論	2②	2					○					1							
スマート・ライフサイエンス	2④	2					○					1							
環境形成科学調査法1	3①	1					○				2								
環境形成科学調査法2	3③	1					○			1	2							オムニバス	
フィールドワーク実習	2・3③	2					○			1									
日本社会文化論A	1①	1					○												
日本社会文化論B	1②	1					○												
近現代社会思想論A	1③	1					○												
近現代社会思想論B	1④	1					○												
現代社会理論A	1①	1					○												
現代社会理論B	1②	1					○												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
専門科目 学科専門科目 学科展開科目 (環境共生学科)	文化人類学1	1①		1		○									兼1			
	文化人類学2	1②		1		○									兼1			
	国際関係論A	1①		1		○									兼1			
	国際関係論B	1②		1		○									兼1			
	日本歴史文化論A	2①		1		○									兼1			
	日本歴史文化論B	2②		1		○									兼1			
	近現代政治思想論A	2①		1		○									兼1			
	近現代政治思想論B	2②		1		○									兼1			
	近現代経済思想論1	2③		1		○									兼1			
	近現代経済思想論2	2④		1		○									兼1			
	ジェンダー社会文化論A	2①		1		○									兼1			
	ジェンダー社会文化論B	2②		1		○									兼1			
	グローバル正義論A	2③		1		○									兼1			
	グローバル正義論B	2④		1		○									兼1			
	現代民族誌学1	2③		1		○									兼1			
	現代民族誌学2	2④		1		○									兼1			
	比較民族学1	2①		1		○									兼1			
	比較民族学2	2②		1		○									兼1			
	平和構築論A	2③		1		○									兼1			
	平和構築論B	2④		1		○									兼1			
	健康心理学1	2③		1		○									兼1			
	健康心理学2	2④		1		○									兼1			
	心理グローバルリサーチ1	2①		1				○							兼8			
	心理グローバルリサーチ2	2②		1				○							兼8			
	深層心理学1	2③		1		○									兼1			
	深層心理学2	2④		1		○									兼1			
	身体機能の適応1	2①		1		○									兼1			
	身体機能の適応2	2②		1		○									兼1			
	家族の発達と病理1	2①		1		○									兼2	オムニバス		
	家族の発達と病理2	2②		1		○									兼2	オムニバス		
	ヘルズプロモーション1	3①		1		○									兼1			
	ヘルズプロモーション2	3②		1		○									兼1			
	加齢の社会心理学1	2③		1		○									兼1			
	加齢の社会心理学2	2④		1		○									兼1			
	ファッション文化論	3①		1		○									兼1			
	都市と建築の20世紀1	2③		1		○									兼1			
	都市と建築の20世紀2	2④		1		○									兼1			
	国際環境法	3・4③		1		○									兼1	隔年		
	社会調査法1	3①		1		○									兼1			
	社会調査法2	3②		1		○									兼1			
	環境形成科学実験A	3②		2					○			1						
	環境形成科学実験B	3②		2					○			1						
	環境形成科学実験C	3②		1					○			1						
	環境形成科学実験D	3④		1					○			1						
	環境形成科学実習A	3④		2					○			1						
	環境形成科学実習B	3④		2					○			1						
	環境形成科学演習1	3①		1				○				6	10	1		共同		
	環境形成科学演習2	3②		1				○				6	10	1		共同		
	環境形成科学演習3	3③		1				○				6	10	1		共同		
	環境形成科学演習4	3④		1				○				6	10	1		共同		
	卒業研究	4通		10								13	23	1				
	小計 (125科目)		—	10	172	0	—					13	23	1	0	0	兼5	—

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
資格免許のための科目	日本国憲法1	2③		1		○									
	日本国憲法2	2④		1		○									
	教職論(中・高)1	1		1		○									集中
	教職論(中・高)2	1		1		○									集中
	教育原理1	1③		1		○									
	教育原理2	1④		1		○									
	教育史1	2①		1		○									
	教育史2	2②		1		○									
	発達心理学(中・高)1	1③		1		○									
	発達心理学(中・高)2	1④		1		○									
	青年心理学1	2③		1		○									
	青年心理学2	2④		1		○									
	教育行政学(中・高)1	1③		1		○									
	教育行政学(中・高)2	1④		1		○									
	教育経営学(中・高)1	2①		1		○									
	教育経営学(中・高)2	2②		1		○									
	中等カリキュラム論1	2		1		○									集中
	中等カリキュラム論2	2		1		○									集中
	中等道徳教育論1	2		1		○									集中
	中等道徳教育論2	2		1		○									集中
	中等特別活動指導論1	3①		1		○									
	中等特別活動指導論2	3②		1		○									
	中等学習指導論1	2		1		○									集中
	中等学習指導論2	2		1		○									集中
	中等生徒指導論1	3①		1		○									
	中等生徒指導論2	3②		1		○									
	中等学校教育相談1	2①		1		○									
	中等学校教育相談2	2②		1		○									
	中等教育事前・事後指導	3①		1					○						
	中学校教育実地研究A	3①		2					○	○					
	中学校教育実地研究B	3②		2					○	○					
	高等学校教育実地研究	3①		2					○						
	教職実践演習(中・高)1	4③		1				○							
	教職実践演習(中・高)2	4④		1				○							
	工芸実践演習1	2③		1				○							
	工芸実践演習2	2④		1				○							
	ソルフェージュ1	1③		1				○							
	ソルフェージュ2	1④		1				○							
	先端表現演習1	3①		1				○							集中
	先端表現演習2	3②		1				○							集中
英語科教育論A1	2		1		○									隔年集中	
英語科教育論A2	2		1		○									隔年集中	
英語科教育論B1	2③		1		○									隔年	
英語科教育論B2	2④		1		○									隔年	
英語科教育論C1	3		1		○									隔年集中	
英語科教育論C2	3		1		○									隔年集中	
英語科教育論D1	3③		1		○									隔年	
英語科教育論D2	3④		1		○									隔年	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
資格免許のための科目	保健体育科教育論A1	2①		1		○										
	保健体育科教育論A2	2②		1		○										
	保健体育科教育論B1	2③		1		○										
	保健体育科教育論B2	2④		1		○										
	保健体育科教育論C1	3・4①		1		○										隔年
	保健体育科教育論C2	3・4②		1		○										隔年、オムニバス
	保健体育科教育論D1	3・4①		1		○										隔年
	保健体育科教育論D2	3・4②		1		○										隔年
	音楽科教育論A1	2①		1		○										集中
	音楽科教育論A2	2②		1		○										集中
	音楽科教育論B1	2③		1		○										集中
	音楽科教育論B2	2④		1		○										集中
	音楽科教育論C1	3・4①		1		○										隔年
	音楽科教育論C2	3・4②		1		○										隔年
	音楽科教育論D1	3・4③		1		○										隔年
	音楽科教育論D2	3・4④		1		○										隔年
	美術科教育論A1	2①		1		○										
	美術科教育論A2	2②		1		○										
	美術科教育論B1	3①		1		○										
	美術科教育論B2	3②		1		○										
	美術科教育論C1	2③		1		○										
	美術科教育論C2	2④		1		○										
	美術科教育論D1	3③		1		○										
	美術科教育論D2	3④		1		○										
	理科教育論A	2		2		○										集中
	理科教育論B	2		2		○										集中
	理科教育論C	3		2		○										集中
	理科教育論D	3		2		○										集中
	数学科教育論A1	2①		1		○										
	数学科教育論A2	2②		1		○										
	数学科教育論B1	2③		1		○										
	数学科教育論B2	2④		1		○										
	数学科教育論C1	3①		1		○					1					
	数学科教育論C2	3②		1		○					1					
	数学科教育論D1	3③		1		○					1					
	数学科教育論D2	3④		1		○					1					
	家庭科教育論A	2		2		○										集中
	家庭科教育論B	3		2		○										集中
	家庭科教育論C1	3①		1		○					1					
	家庭科教育論C2	3②		1		○					1					
	家庭科教育論D1	3③		1		○					1					
	家庭科教育論D2	3④		1		○					1					
	社会科教育論A1	2		1		○										集中
	社会科教育論A2	2		1		○										集中
	社会科教育論B1	2		1		○										集中
	社会科教育論B2	2		1		○										集中
公民科教育論1	2		1		○										集中	
公民科教育論2	2		1		○										集中	
社会科・公民科教育論1	3①		1		○											
社会科・公民科教育論2	3②		1		○											
地歴科教育論1	2①		1		○											
地歴科教育論2	2②		1		○											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
資格免許のための科目	社会科・地歴科教育論1	2		1		○									集中
	社会科・地歴科教育論2	2		1		○									集中
	博物館概論1	2①		1		○									
	博物館概論2	2②		1		○									
	博物館経営論1	2③		1		○									
	博物館経営論2	2④		1		○									
	博物館資料論1	3③		1		○									
	博物館資料論2	3④		1		○									
	博物館展示論1	2①		1		○									
	博物館展示論2	2②		1		○									
	博物館教育論1	2		1		○									集中
	博物館教育論2	2		1		○									集中
	博物館情報・メディア論1	2③		1		○									
	博物館情報・メディア論2	2④		1		○									
	博物館実習	2①～3④		3				○							
	小計 (115科目)		—	0	126	0	—			4	4	0	0	0	
合計 (613科目)		—	30	660.5 又は 661.5	0	—			13	23	1				兼162
学位又は称号	学士 (学術)		学位又は学科の分野				法学関係, 経済学関係, 社会学・社会福祉学関係, 理学関係, 工学関係, 農学関係, 家政関係								

I 設置の趣旨・必要性

(設置の背景・必要性)

情報通信技術が爆発的に進展し、経済・社会の活動範囲が地球規模で広がるグローバル化が急速に進行する中、ヒト、モノ、カネ、情報がかつてない規模とスピードで地球上を自由に行き来するようになった。そこでは、人類の更なる発展が期待される一方で、地球規模での競争の激化を背景に、様々なレベルで価値観の衝突や知識・富の偏在等の問題が懸念されている。しかも、我が国は諸外国に先駆けて超高齢社会に突入し、少子化の動きと相まって急激な人口減少による地方消滅の危機が指摘されている。

こうした現実を前に、私たちは、国民一人ひとりに豊かで安心できる生活を確保するため、一刻も早く課題克服の道筋を探し出し、持続的成長を果たす活力ある成熟社会を作り上げていく必要がある。今日の知識基盤社会の動向を踏まえるとき、そこで必要になるのが、新たな価値を生み出す「知」とそれを担う人材であることは、言を俟たない。

そして、こうした脈絡において、大学には強い期待が寄せられている。

例えば、中央教育審議会答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」(平成 24 年 8 月)では、「予測困難な時代」において「未来を見通し、これからの社会を担い、未知の時代を切り拓く力のある学生の育成や、将来にわたって我が国と世界の社会経済構造や文化、思想に影響を及ぼす可能性を持つ学術研究の推進などを通して、未来を形づくり、社会をリードする役割を担う」ことが、大学に求められている。

さらに、「21 世紀の日本にふさわしい教育体制を構築し、教育の再生を実行」することを目的に置かれた教育再生実行会議も、大学が「未踏の地への挑戦により新たな知を創造し、社会を変革していく主体」(「これからの大学教育等の在り方について(第三次提言)」平成 25 年 5 月)となることを期待し、最近では特に人材育成に焦点を当て、「これからの時代を生きる人たちに必要とされる資質・能力」として、「主体的に課題を発見し、解決に導く力、志、リーダーシップ」「創造性、チャレンジ精神、忍耐力、自己肯定感」「感性、思いやり、コミュニケーション能力、多様性を受容する力」を養成すべきとしている(「これからの時代に求められる資質・能力と、それを培う教育、教師の在り方(第七次提言)」平成 27 年 5 月)。

大学は今、蓄積した数多くの資源を最大限に発揮し、こうした社会の要請に積極的に応えていく必要がある。

(神戸大学のこれまでの取組)

国立大学法人神戸大学(以下、「本学」とする。)は、100 有余年の歴史と伝統を有し、開放的で国際性に富む固有の文化の下、「真摯・自由・協同」の精神を発揮し、人類社会に貢献するため、普遍的価値を有する「知」を創造するとともに、人間性豊かな指導的人材を育成することを使命とする。

そして、この使命を果たすため、本学は、昨年 4 月に新たなビジョンを策定した。そこでは、「学理と実際の調和」という基本理念に基づいて様々な連携・融合の力を最大限に発揮し、「先端研究・文理融合研究で輝く卓越研究大学」として世界最高水準の教育研究拠点の構築を構想する。その中で、教育に関しては「教育のグローバル化による世界で活躍する先導的人材の育成」を掲げ、その中核的事業として、国際文化学部と発達科学部を再編し、種々のグローバルイシュー(地球的課題)の解決に向けて多様な人々と協働しながらリーダーシップを発揮できる「協働型グローバル人材」の養成を目的とする国際人間科学部(以下、「新学部」という。)を設置する。

国際文化学部は、平成 4 年、新しい学際的な領域を開拓することを目的に、異文化理解を深め、国際社会の協調を推進するためのコミュニケーションの方法を開発することを理念として、教養部を廃止して設置された。それ以来、幅広い教養と高い倫理性を身に付け、豊かな感性と柔軟な思考力をもって自ら主体的に課題に取り組み、考え、判断し、行動できる能力等を有し、文化の諸問題を世界的視野に立って考察し、地球規模で社会に貢献できる人材を養成してきた。特に、協定大学との間で毎年相互に 40 ～ 50 名の交換留学を実施しているほか、卒業生の就職についても高い就職率を誇っており、東洋経済新報社による「就職で差が付く『本当に強い大学』ランキング」(平成 27 年 8 月 27 日付け)においては全国の外国語・国際系学部で第一位に評価されている。

また、発達科学部は、平成 4 年、教育・研究の対象を、学校教育を主体とした領域から人間の発達にわたる全領域に広げ、新しい科学としての学問体系、それに伴う教育・研究体制を確立し、社会的要請に応え得る人材の育成を図ることを目的に、教育学部を改組して設置した。それ以来、乳幼児期から高齢期に至るまでの人間の発達及びそれを支える環境を対象とした発達科学の学問分野の教育研究を通じて、幅広い知識と豊かな教養を身に付け、発達科学に関する専門的知見及び問題解決能力を有し、広く社会で活躍できる人材を養成してきた。特に、少人数対話型教育を徹底し、受講学生の問題発見能力、効果的なプレゼンテーション能力、質問・ディスカッション能力等を涵養している点に特色を持つ。

新学部は、これら二つの学部の強みと特色を最大限に生かすことで、「持続的な『競争力』を持ち、高い付加価値を創り出す」ことを目指す。

国際人間科学部 再編計画概要

【現行】

国際文化学部 140人	
国際文化学科(140)	情報コミュニケーション論 現代文化論 異文化コミュニケーション論 地域文化論
発達科学部 280人	
人間形成学科(90)	心理発達論コース 子ども発達論コース 教育科学論コース 学校教育論コース
人間行動学科(50)	健康発達論コース 行動発達論コース 身体行動論コース
人間表現学科(40)	人間表現論コース
人間環境学科(100)	自然環境論コース 数理情報環境論コース 生活環境論コース 社会環境論コース

【再編後】

国際人間科学部 370人 (△50)	
グローバル文化学科(140)	グローバル文化形成 グローバル社会動態 グローバル・コミュニケーション
発達コミュニティ学科(100)	発達基礎 コミュニティ形成
環境共生学科(80)	環境基礎科学 環境形成科学
子ども教育学科(50)	学校教育学 乳幼児教育学



(養成する人材)

新学部は、グローバルイシュー（現代社会が地球規模での協働を通して取り組まなければならない課題）を深い人間理解と他者への共感をもって解決し、世界の人が多様な境界線を越えて共存できる「グローバル共生社会」の実現に貢献する「協働型グローバル人材」を養成することを教育研究上の目的とする。その達成に向け、新学部では、教育課程を通じて授与する学位に関して、国際的に卓越した教育を保証するため、以下の方針に従って当該学位を授与する。

国際人間科学部規則に定める卒業に必要な単位を修得する。

卒業までに、新学部生が次の能力を獲得することを学修の目標とする。

- ① グローバルイシューを構成する諸課題を発見する批判的・合理的思考力
- ② 外国語や ICT を使いこなす多様なコミュニケーション能力と情報収集・分析力
- ③ グローバルイシューを異文化理解・人間発達・環境共生の観点から理解する能力
- ④ グローバルイシューの解決に向けて、他者と協働しつつ、リーダーシップを発揮する行動力

II 教育課程編成の考え方・特色

新学部は、グローバル社会で生起する環境、災害、民族、宗教、経済格差、人権、教育、社会福祉等に関わるグローバルイシューを深い人間理解と他者への共感をもって解決し、「グローバル共生社会」の実現に貢献する「協働型グローバル人材」を養成することを目的としている。このような人材養成を達成するため、新学部は、グローバル文化学科、発達コミュニティ学科、環境共生学科、子ども教育学科の4学科を設置する。それぞれ、グローバル文化学科は「多文化状況、文化交流、文化摩擦等をめぐる諸問題の解決」、発達コミュニティ学科は「人間の発達の諸相の理解とそれを支えるコミュニティの形成」、環境共生学科は「共生社会を支える環境の創出と保全」、子ども教育学科は「持続可能なグローバル共生社会を創造する次世代指導者の育成」を、専門教育の目標に掲げている。

このような学科ごとの専門性を身に付けた「協働型グローバル人材」を養成するため、新学部では、必要な能力を年次進行に沿って修得できるよう、4つの科目区分を設ける。

- (1) 全学共通授業科目（基礎教養科目、総合教養科目、外国語科目、情報科目、健康・スポーツ科学、共通専門基礎科目、資格免許のための科目、その他必要と認める科目）
- (2) 高度教養科目（他学部開講科目）
- (3) 専門科目
 - ① 学部共通基礎科目
 - ② 学部共通発展科目
 - ③ グローバル・スタディーズ・プログラム(GSP)科目
 - ④ 学科専門科目
- (4) 自由選択科目

上記の(1)及び(2)は、本学の学生が卒業時に身に付けるべき共通の能力を「神戸スタンダード」として明示し、その修得を目標とする。「神戸スタンダード」とは、本学の全学部学生を対象とする教養教育において修得を目指す「複眼的に思考する能力」、「多様性と地球的課題を理解する能力」、「協働して実践する能力」の総称である。なお、卒業単位数に占めるその割合等は、各学部の特性に応じ

その裁量に委ねられている。

このうち②は、異なる専門分野の学生が、協働して学際的な課題を学ぶことで、学生の自主性、コミュニケーション能力、チームワークなどの社会的能力、課題解決能力を養成することを目的とする授業科目である。

③は、新学部が教育目的とする「協働型グローバル人材」として社会に羽ばたくに当たり必要不可欠となる基礎知識とスキルを、新学部の学生に共有させるための学部の基盤教育である。そのうち、①は主として1年次に開講される基本的な授業科目であり、②は①において修得した知識や技能を更に発展させて、「協働型グローバル人材」として世界中の人々と実践の場でグローバルイシュー解決のために協力できる基礎力を得られるよう設計された授業科目である。特に②の外国語科目については、①で設定された外国語科目のうち、英語のみならずフランス語、ドイツ語、中国語等の第二外国語のスキルを一層向上させるための上級外国語科目である「Academic Communication」、「Academic Writing」等のほか、①で設定されていないロシア語、スペイン語、イタリア語などグローバル社会で重視される外国語を修得するための多様な入門科目を開設することとした。

③のグローバル・スタディーズ・プログラム（GSP）は、国境を越えた実践の場でコミュニケーション能力を駆使して多様な人々と協働する経験を積ませるための重要なカリキュラムである。したがって、このプログラムは、④の学科専門科目の一部でありつつも、新学部のカリキュラムの“目玉”として、学部の「必修科目」として位置付けられている。その詳細については、下記で説明する。

④は、協働型グローバル人材というジェネリックなスキルを備える人材養成像を学部として追求しながらも、単なる実践的技術の修得にとどまらず、多様性に富んだ専門的知識とそれに基づき具体的問題を“構造化する”構想力とを育成するための専門教育を実施するものである。世界中の人々とグローバルイシューの解決のために協働するためには、コミュニケーション・スキルの会得を踏まえ、地に足の着いた多彩な専門的知識を基に、世界が直面する深刻な課題を関係者間の協力と妥協によって“解決可能なもの”として認識を共有できるよう図式化し提案・発信できる豊かな構想力が求められているからである。

④は、コミュニケーション能力や多面的視野を広げるため、上級外国語や他学科の専門科目を中心に各自の関心に基づき修得できる科目である。

[グローバル・スタディーズ・プログラム（GSP）]

(1) GSP の構成

GSP は、学生の専門性とニーズにきめ細かく対応するために国内外の多様な学びの場の設定し、事前学修及び事後学修の徹底による体系的教育とする。そのため、GSP は次の3つの部分から構成され、学生は7単位の修得を必修化する。

(ア) グローバル・スタディーズ準備科目（2単位）

「グローバルイシュー概論」及び「グローバルイシュー演習」により、現代世界が抱える諸課題を包括的に学修し、海外研修・フィールド学修の課題を絞り込むための基礎的情報を学ぶ。

(イ) 海外研修・フィールド学修（3単位）

海外の大学等教育機関での語学を含む教育、海外フィールドでの社会体験、国内フィールドでの社会体験などを主な構成要素としながら、それらを柔軟に組み合わせ、実践的な学問研究につなげることを目標とし、個々の学生の専門性と要望に応じて選択する次の3つのGSコースを置くこととしている。

各コースについては、期間や方法等が異なるが、そこで達成すべき履修目標が同じであり、学修時間を満たし、一定の学修効果も得られることから、一律3単位としている。

- ・留学型GSコース：中長期の交換留学協定校への派遣留学若しくは私費留学又は4週間以上のサマースクール若しくは語学研修とその期間中に学生自身が留学先現地において計画、実施するフィールド学修、ボランティア活動等から構成され、海外での適応能力、企画力・行動力の修得を目的とする。
- ・実践型GSコース：フィールド学修の要素を含む、1週間以上の海外でのスタディー・ツアーや海外企業、教育機関、NGO等でのインターンシップ等を行う。本コースは、特に海外での実践的コミュニケーション能力の向上及び国境を越える協働を通じた問題解決能力の修得を目的とする。
- ・研修型GSコース：2週間以上の語学研修、サマースクール等のプログラムを海外において履修し、そこで得た問題意識を活かし、さらに国内フィールド学修を履修する。海外事情と国内の状況の比較を含む総括的学修を通じた幅広い視野からの問題解決能力の修得を目的とする。

(ウ) GSP 演習科目（2単位）

海外研修・フィールド学修に先立つ「オリエンテーション」と、事後に行う「リフレクション」から構成される。ここでは、アクティブ・ラーニングの手法を用いて事前の課題設定と事後の自己評価を行う。

(2) 留学先等の選択支援

GSコースの選択や留学先等の決定に当たり、次のとおりきめ細かな履修指導を行う。

(ア) 「オリエンテーション」時における指導

「オリエンテーション」において、学生の適性や履修時期・方法を考慮し、適切なGSコースを選択するよう指導する。

(イ) GSP オフィスにおける個別相談

GSP オフィスを設置し、海外研修・フィールド学修に関する個別の学修相談、生活相談等に応じる。

(ウ) 派遣学生の選抜

交換留学の選考に当たっては、外国語能力の測定のみに頼ることなく、学問的関心、専門的な勉学意欲、積極性を測るための「モチベーション・テスト」を実施する。

(エ) 充実した外国語教育

英語をはじめ、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語等に関する専門科目を多数準備し、学生のニーズと海外研修先に応じた語学力の向上を図る。

(3) 単位認定方法

「オリエンテーション」「リフレクション」では、発表及びレポートを課す。

各GSコースでは、留学・研修期間中の活動報告を課す。

(4) 留学中の指導・危機管理

留学中の指導については、GSPの各プログラムに教員アドバイザーを配置し、指導、助言を行う。

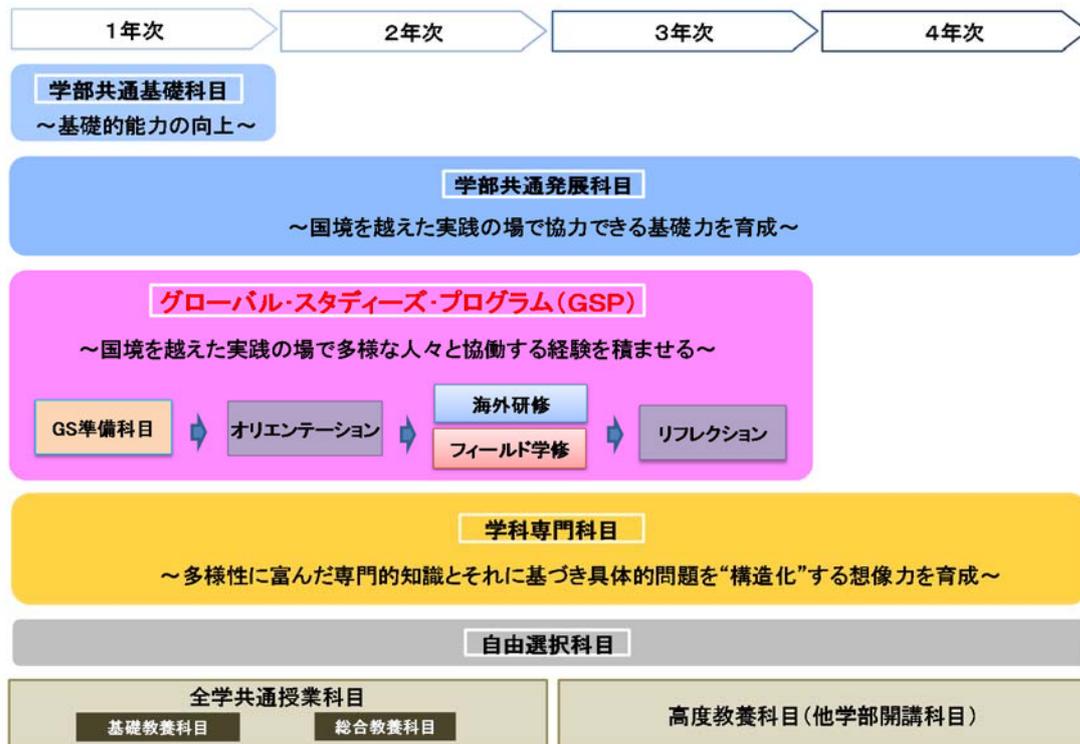
海外で事件や災害などが発生した場合に備えて、民間企業の危機管理システムを利用し、海外で事故等の際の各種の支援を得られる体制を構築する。

(5) 海外研修及びフィールド学修先の確保

(ア) 海外での研修先

- 本学と学術交流協定を締結した海外大学（69校）など
 (i) 国内フィールド学修先
 兵庫県内の社会教育関連施設、兵庫県内の自治体など

カリキュラム体系図



(学科の特色)

環境共生学科

(7) 学科の目標

環境共生学科では、人間と環境の調和に根ざす持続可能なグローバル共生社会の実現を目指し、身近な環境から地球環境に至る幅広い環境について、様々な問題を発見・立論し、解決に導くために必要な能力を有し、さらに、国際的な視野から課題に取り組む行動力を身に付けた人材を養成する。具体的には、環境に関する多岐にわたる問題の把握に必要な知識の体系、フィールドワーク・科学実験・各種調査・統計解析などの技能、論理的かつ緻密な分析の力を身に付け、さらに、課題解決に向けて、環境改善の技術・システムのデザイン、自治体・企業・NPO等の環境改善活動、市民科学教育などに積極的に参加・貢献し、国際的な協働関係の中で自身の役割を果たすことができる実践力を備えた人材を養成することを目的とする。

(i) 専門教育の特色

共生社会を支える環境を創出し、維持するには、まず、環境の成り立ちを理解するために、基礎科学の素養が必要になる。次に、より良い環境の形成を目指し、実現するための知識と技能、そして試行錯誤の力が求められる。この文脈の下で、人間と環境の共生関係の創造に取り組む実践力を育成するために、本学科は、学科目として、「環境基礎科学」と「環境形成科学」を設ける。「環境基礎科学」は主に自然科学・数理学、「環境形成科学」は主に生活科学・工学・農学・社会科学に基づく専門性と学際性を備える。

「環境基礎科学」の学科目では、環境の成り立ちを解析し、問題と課題を発見・立論するために必要な基礎科学の専門教育を行う。

「環境形成科学」の学科目では、環境改善のための技術・システム、政府・自治体の政策、企業・NPO・NGO等の活動、教育と市民参加に関する専門教育を行う。

さらに、環境共生の実現を目指す専門家としての協働型グローバル人材の育成に向けて、高度の学術を重視すると同時に、実践的な能力と国際性を高める専門教育として、グローバル・スタディーズ・プログラム(GSP)とそれに基づく海外研修、国内外でのフィールド学修、本学科で実施する多彩な調査、最先端の科学実験、様々な環境改善プロジェクトや国内外のNPO・NGO等の環境関連事業への参加を積極的に促進する。

本学科では、グローバル共生社会の環境の在り方について、様々な問題を発見し解決に導く実践力を備えた人材を養成するため、学科共通科目(必修科目)の「環境共生学概論1」、「同2」、「同3」において、「環境と先端科学・技術」、「環境と持続的開発」、「環境と安全・リスク」をテーマとし、環境共生学という学問領域の幅の広さとこれからの展開の可能性を示すことによって、基礎知識の提供にとどまらず、初学者の学修・研究への関心を高めることを目的として講述を行う。

卒業要件及び履修方法

授業期間等

(卒業要件)

4年以上在学し、学部規則で定める授業科目のうちから124単位以上を修得しなければならない。ただし、3年以上在学した者が、卒業の要件として学部規則に定める単位を優秀な成績で修得したものと認められ、かつ、学生が卒業を希望する場合には卒業することができる。

(履修方法)

(1) 全学共通授業科目 23単位以上(必修7単位、選択16単位以上)

(2) 高度教養科目(他学部開講科目) 4単位

(3) 専門科目

① 学部共通基礎科目 6単位以上(必修4単位、選択2単位以上)

② 学部共通発展科目 4単位以上(必修2単位、選択2単位以上)

③ グローバル・スタディーズ・プログラム(GSP)科目 7単位(必修4単位、選択3単位)

④ 学科専門科目 76単位以上(必修13単位、選択63単位以上)

(ア) 共通専門基礎科目(選択8単位以上)

(イ) 学科共通科目(必修3単位)

(ウ) 学科コア科目(選択10単位以上)

(エ) 学科展開科目(必修10単位、選択10単位以上)

(4) 自由選択科目 4単位以上

(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

1 学年の学期区分	4 学期
1 学期の授業期間	8 週
1 時限の授業時間	90 分

教育課程等の概要(事前伺い)

(国際人間科学部子ども教育学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通授業科目	社会科学系	法学A	1②-2④	1		○									
		法学B	1②-2④	1		○									
		政治学A	1②-2④	1		○									
		政治学B	1②-2④	1		○									
		経済学A	1②-2④	1		○									
		経済学B	1②-2④	1		○									
		社会学	1②-2④	1		○									
		地理学	1②-2④	1		○									
		小計(8科目)	—	0	8	0	—	—	—	0	0	0	0	0	—
	生命科学系	医学A	1②-2④	1		○									
		医学B	1②-2④	1		○									
		保健学A	1②-2④	1		○									
		保健学B	1②-2④	1		○									
		健康科学A	1②-2④	1		○									
		健康科学B	1②-2④	1		○									
		生物学A	1②-2④	1		○									共同
		生物学B	1②-2④	1		○									共同
		生物学C	1②-2④	1		○									
	小計(9科目)	—	0	9	0	—	—	—	0	0	0	0	0	—	
	自然科学系	数学A	1②-2④	1		○									
		数学B	1②-2④	1		○									
		数学C	1②-2④	1		○				1					
		物理学A	1②-2④	1		○									
		物理学B	1②-2④	1		○									
		化学A	1②-2④	1		○									オムニバス
		化学B	1②-2④	1		○									オムニバス
		化学C	1②-2④	1		○									オムニバス
化学D		1②-2④	1		○									オムニバス	
惑星学A		1②-2④	1		○									オムニバス	
惑星学B		1②-2④	1		○									オムニバス	
惑星学C		1②-2④	1		○									オムニバス	
情報学A		1②-2④	1		○										
情報学B		1②-2④	1		○										
小計(14科目)	—	0	14	0	—	—	—	1	0	0	0	0	—		
総合教養科目	(1) 多文化理解	文学A	1②-2④	1		○									
		文学B	1②-2④	1		○									
		言語科学A	1②-2④	1		○									
		言語科学B	1②-2④	1		○									
		芸術と文化A	1②-2④	1		○									
		芸術と文化B	1②-2④	1		○									
		日本史A	1②-2④	1		○									
		日本史B	1②-2④	1		○									
		東洋史A	1②-2④	1		○									
		東洋史B	1②-2④	1		○									
		アジア史A	1②-2④	1		○									
		アジア史B	1②-2④	1		○									
		西洋史A	1②-2④	1		○									
		西洋史B	1②-2④	1		○									
		考古学A	1②-2④	1		○									
		考古学B	1②-2④	1		○									
		芸術史A	1②-2④	1		○									
		芸術史B	1②-2④	1		○									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
全学共通授業科目	(1) 多文化理解	美術史A	1②-2④	1		○											
		美術史B	1②-2④	1		○											
		科学史A	1②-2④	1		○											
		科学史B	1②-2④	1		○											
		社会思想史	1②-2④	1		○											
		文化人類学	1②-2④	1		○											
		現代社会論A	1②-2④	1		○											
		現代社会論B	1②-2④	1		○											
		越境する文化	1②-2④	1		○											
		生活環境と技術	1②-2④	1		○											
		学校教育と社会	1②-2④	1		○											
		かみんの文化学A	1②-2④	1		○											
		かみんの文化学B	1②-2④	1		○											
	小計 (31科目)		-	0	31	0	-		0	0	0	0	0	0		-	
	(2) 自然界の成り立ち	科学技術と倫理	1②-2④	1		○											
		現代物理学が描く世界	1②-2④	1		○											
		身近な物理法則	1②-2④	1		○											
		かみんの自然学	1②-2④	1		○											
		ものづくりと科学技術A	1②-2④	1		○										オムニハス	
		ものづくりと科学技術B	1②-2④	1		○										オムニハス	
		生命科学A	1②-2④	1		○											
		生命科学B	1②-2④	1		○											
		生物資源と農業A	1②-2④	1		○											オムニハス
		生物資源と農業B	1②-2④	1		○											オムニハス
	生物資源と農業C	1②-2④	1		○											オムニハス	
	生物資源と農業D	1②-2④	1		○											オムニハス	
	小計 (12科目)		-	0	12	0	-		0	0	0	0	0	0		-	
	(3) グローバルレイシユール	環境学入門A	1②-2④	1		○											
		環境学入門B	1②-2④	1		○											
		社会と人権A	1②-2④	1		○											
		社会と人権B	1②-2④	1		○											
男女共同参画とジェンダー-A		1②-2④	1		○											オムニハス	
男女共同参画とジェンダー-B		1②-2④	1		○											オムニハス	
グローバルリーダーシップ 育成基礎演習		1②-2④	2		○											共同	
EU基礎論		1②-2④	1		○											オムニハス	
国際協力の現状と課題A		1②-2④	1		○												
国際協力の現状と課題B		1②-2④	1		○												
政治と社会		1②-2④	1		○												
社会生活と法		1②-2④	1		○												
国家と法		1②-2④	1		○												
現代の経済A		1②-2④	1		○												
現代の経済B		1②-2④	1		○												
経済社会の発展		1②-2④	1		○												
企業と経営		1②-2④	1		○												
地球史における生物の変遷		1②-2④	1		○												
生物の環境適応		1②-2④	1		○												
人間活動と地球生態系		1②-2④	1		○												
食と健康A		1②-2④	1		○											オムニハス	
食と健康B		1②-2④	1		○											オムニハス	
資源・材料とエネルギー-A		1②-2④	1		○											オムニハス	
資源・材料とエネルギー-B		1②-2④	1		○											オムニハス	
小計 (24科目)		-	0	25	0	-		0	0	0	0	0	0		-		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学共通授業科目	(4) ESD	ESD基礎(持続可能な社会づくり1)A	1②-2④	1		○										オムニバス・共同(一部)
		ESD基礎(持続可能な社会づくり1)B	1②-2④	1		○										
		ESD論(持続可能な社会づくり2)A	1②-2④	1		○										
		ESD論(持続可能な社会づくり2)B	1②-2④	1		○										
		ESD生涯学習論A	1②-2④	1		○										
		ESD生涯学習論B	1②-2④	1		○										
		ESDポランティア論	1②-2④	1		○										
	小計(7科目)	—	0	7	0	—		0	0	0	0	0	0	—		
	(5) キャリア科目	企業社会論A	1②-2④	1		○										オムニバス
		企業社会論B	1②-2④	1		○										オムニバス
		職業と学び-キャリアデザインを考えるA	1②-2④	1		○										
		職業と学び-キャリアデザインを考えるB	1②-2④	1		○										
		社会基礎学(グローバル人材に不可欠な教養)	1②-2④	2		○										
		ボランティアと社会貢献活動A	1②-2④	1		○										
		ボランティアと社会貢献活動B	1②-2④	1		○										
	グローバルチャレンジ実習	1②-2④	1又は2													
	小計(8科目)	—	0	9又は10	0	—		0	0	0	0	0	0	—		
	(6) 神戸学	神戸大学史A	1②-2④	1		○										オムニバス
		神戸大学史B	1②-2④	1		○										オムニバス
		神戸大学の研究最前線A	1②-2④	1		○										
		神戸大学の研究最前線B	1②-2④	1		○										
		阪神・淡路大震災A	1②-2④	1		○										オムニバス
		阪神・淡路大震災B	1②-2④	1		○										オムニバス
海への誘い		1②-2④	2		○											
瀬戸内海学入門	1②-2④	2		○												
小計(8科目)	—	0	10	0	—		0	0	0	0	0	0	—			
外国語科目	外国語第I	English Communication A1	1①	0.5			○									
		English Communication A2	1②	0.5			○									
		English Communication B1	1③	0.5			○									
		English Communication B2	1④	0.5			○									
		English Literacy A1	1①	0.5			○									
		English Literacy A2	1②	0.5			○									
		English Literacy B1	1③	0.5			○									
		English Literacy B2	1④	0.5			○									
		Autonomous English 1	1①	0.5			○									
		Autonomous English 2	1②	0.5			○									
		Advanced English A1	2①・2③	0.5			○									
		Advanced English A2	2②・2④	0.5			○									
		Advanced English B	2①-2④	0.5			○									
		Advanced English C	2①・2②	1			○									
		Advanced English GEC (Productive) 1	1③	0.5			○									
		Advanced English GEC (Productive) 2	1④	0.5			○									
		Advanced English GEC(海外研修)	1④	1			○									
		Advanced English GEC(フレッズセッション)1	2①	0.5			○									
		Advanced English GEC(フレッズセッション)2	2②	0.5			○									
		Advanced English GEC(ライティング)1	2①	0.5			○									
	Advanced English GEC(ライティング)2	2②	0.5			○										
	Advanced English GEC(ディスカッション)1	2①	0.5			○										
	Advanced English GEC(ディスカッション)2	2②	0.5			○										
小計(23科目)	—	5	7.5	0	—		0	0	0	0	0	0	—			
外国語第II	トイ語初級A1	1①	0.5			○										
	トイ語初級A2	1②	0.5			○										
	トイ語初級B1	1①	0.5			○										
	トイ語初級B2	1②	0.5			○										
	トイ語初級A3	1③	0.5			○										
	トイ語初級A4	1④	0.5			○										
	トイ語初級B3	1③	0.5			○										
トイ語初級B4	1④	0.5			○											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
全学共通授業科目	外国語第Ⅱ	ドイツ語初級SA3	1③		0.5			○									
		ドイツ語初級SA4	1④		0.5			○									
		ドイツ語初級SB3	1③		0.5			○									
		ドイツ語初級SB4	1④		0.5			○									
		ドイツ語中級C1	2①		0.5			○									
		ドイツ語中級C2	2②		0.5			○									
		フランス語初級A1	1①		0.5			○									
		フランス語初級A2	1②		0.5			○									
		フランス語初級B1	1①		0.5			○									
		フランス語初級B2	1②		0.5			○									
		フランス語初級A3	1③		0.5			○									
		フランス語初級A4	1④		0.5			○									
		フランス語初級B3	1③		0.5			○									
		フランス語初級B4	1④		0.5			○									
		フランス語初級SA3	1③		0.5			○									
		フランス語初級SA4	1④		0.5			○									
		フランス語初級SB3	1③		0.5			○									
		フランス語初級SB4	1④		0.5			○									
		フランス語中級C1	2①		0.5			○									
		フランス語中級C2	2②		0.5			○									
		中国語初級A1	1①		0.5			○									
		中国語初級A2	1②		0.5			○									
		中国語初級B1	1①		0.5			○									
		中国語初級B2	1②		0.5			○									
		中国語初級A3	1③		0.5			○									
		中国語初級A4	1④		0.5			○									
		中国語初級B3	1③		0.5			○									
		中国語初級B4	1④		0.5			○									
		中国語初級SA3	1③		0.5			○									
		中国語初級SA4	1④		0.5			○									
		中国語初級SB3	1③		0.5			○									
		中国語初級SB4	1④		0.5			○									
		中国語中級C1	2①		0.5			○									
		中国語中級C2	2②		0.5			○									
	ロシア語初級A1	1①		0.5			○										
	ロシア語初級A2	1②		0.5			○										
	ロシア語初級B1	1①		0.5			○										
	ロシア語初級B2	1②		0.5			○										
	ロシア語初級A3	1③		0.5			○										
	ロシア語初級A4	1④		0.5			○										
	ロシア語初級B3	1③		0.5			○										
	ロシア語初級B4	1④		0.5			○										
	ロシア語中級C1	2①		0.5			○										
	ロシア語中級C2	2②		0.5			○										
		小計 (52科目)	—	0	26	0	—	—	—	0	0	0	0	0	—	—	
		外国語第Ⅲ	第三外国語(ドイツ語)T1	2①		0.5			○								
			第三外国語(ドイツ語)T2	2②		0.5			○								
			第三外国語(ドイツ語)T3	2③		0.5			○								
			第三外国語(ドイツ語)T4	2④		0.5			○								
			第三外国語(フランス語)T1	2①		0.5			○								
			第三外国語(フランス語)T2	2②		0.5			○								
			第三外国語(フランス語)T3	2③		0.5			○								
	第三外国語(フランス語)T4		2④		0.5			○									
	小計 (8科目)	—	0	4	0	—	—	—	0	0	0	0	0	—	—		
	情報科目	情報基礎	1①	1				○									
		小計 (1科目)	—	1	0	0	—	—	—	0	0	0	0	0	—	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通授業科目	健康・スポーツ科学講義A	1③		1		○									
	健康・スポーツ科学講義B	1③		1		○									
	健康・スポーツ科学講義C	1③		1		○									
	健康・スポーツ科学実習基礎1	1①	0.5					○	1						
	健康・スポーツ科学実習基礎2	1②	0.5					○	1						
	健康・スポーツ科学実習1	1③		0.5				○	1						
	健康・スポーツ科学実習2	1④		0.5				○	1						
	小計 (7科目)	—	1	4	0	—			4	0	0	0	0	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目	学部 専攻 基礎科目	初年次セミナー	1①	1				○		2	2					兼23	
		異文化コミュニケーション論	1②		1		○									兼2	オムニバス
		協働型リーダーシップ論	1①		1		○				1					兼3	オムニバス
		国際開発援助論(JICA)1	1①	1			○									兼7	オムニバス
		国際開発援助論(JICA)2	1②	1			○									兼7	オムニバス
		コミュニティ創成論	2①	1			○									兼4	オムニバス
		フィールドワーク基礎論	1③		1		○				1					兼3	オムニバス
		異文化間教育論1	1③		1		○									兼1	
		異文化間教育論2	1④		1		○									兼1	
		ソーシャルエンパワメント論	1②		1		○									兼2	オムニバス
		情報リテラシー演習1	1③		1				○			1				兼5	共同
		情報リテラシー演習2	1④		1				○			1				兼5	共同
	小計(12科目)	—	4	8	0	—	—	—	—	4	3	0	0	0	兼40	—	
学部 専攻 発展科目	外国語実習A	1~4		1				○							兼1		
	外国語実習B	1~4		2				○							兼1		
	インターシップ実習A	1~4		1				○							兼1		
	インターシップ実習B	1~4		2				○							兼1		
	フィールドワーク実習A	1~4		1				○							兼1		
	フィールドワーク実習B	1~4		2				○							兼1		
	フィールドワーク方法論	2①		1		○									兼2	オムニバス	
	情報発信演習1	2①		1				○							兼5	共同	
	情報発信演習2	2②		1				○							兼5	共同	
	プログラミング基礎演習1	2③		1				○							兼4	共同	
	プログラミング基礎演習2	2④		1				○							兼4	共同	
	Academic Communication(英)A	2①	1					○							兼6		
	Academic Communication(英)B	2②		1				○							兼6		
	Academic Writing(英)A	2③		1				○							兼6		
	Academic Writing(英)B	2④		1				○							兼6		
	TOEFL演習A	1③		1				○							兼4		
	TOEFL演習B	1④		1				○							兼4		
	TOEIC演習A	2①		1				○							兼4		
	TOEIC演習B	2②		1				○							兼4		
	English Presentation SkillsA	3①		1				○							兼4		
	English Presentation SkillsB	3②		1				○							兼4		
	English for Professional PurposesA	3③		1				○							兼4		
	English for Professional PurposesB	3④		1				○							兼4		
	Academic Communication(独)A	2①		1				○							兼2		
	Academic Communication(独)B	2②		1				○							兼2		
	Academic Communication(仏)A	2①		1				○							兼2		
	Academic Communication(仏)B	2②		1				○							兼2		
	Academic Communication(中)A	2①		1				○							兼1		
	Academic Communication(中)B	2②		1				○							兼1		
	Academic Communication(露)A	2①		1				○							兼1		
	Academic Communication(露)B	2②		1				○							兼1		
	Academic Writing(独)A	2③		1				○							兼2		
	Academic Writing(独)B	2④		1				○							兼2		
	Academic Writing(仏)A	2③		1				○							兼2		
	Academic Writing(仏)B	2④		1				○							兼2		
	Academic Writing(中)A	2③		1				○							兼1		
Academic Writing(中)B	2④		1				○							兼1			
Academic Writing(露)A	2③		1				○							兼1			
Academic Writing(露)B	2④		1				○							兼1			
スペイン語入門1	2①		1				○							兼1			
スペイン語入門2	2②		1				○							兼1			
スペイン語入門3	2③		1				○							兼1			
スペイン語入門4	2④		1				○							兼1			
コリア語入門1	2①		1				○							兼1			
コリア語入門2	2②		1				○							兼1			
コリア語入門3	2③		1				○							兼1			
コリア語入門4	2④		1				○							兼1			
ラテン語入門1	2①		1				○							兼1			
ラテン語入門2	2②		1				○							兼1			
ラテン語入門3	2③		1				○							兼1			
ラテン語入門4	2④		1				○							兼1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目 学部専門科目 学部共通発展科目	イタリア語入門1	2①		1			○								兼1		
	イタリア語入門2	2②		1			○								兼1		
	イタリア語入門3	2③		1			○								兼1		
	イタリア語入門4	2④		1			○								兼1		
	国際コミュニケーション演習A	1①		1			○								兼1		
	国際コミュニケーション演習B	1②		1			○								兼1		
	Cultures and Societies in JapanA	2①		1			○								兼1		
	Cultures and Societies in JapanB	2②		1			○								兼1		
	日本語コミュニケーション1	2①		1			○								兼1		
	日本語コミュニケーション2	2②		1			○								兼1		
	日本語文法基礎	1①～4④		1			○								兼5		
	実践日本語基礎	1①～4④		1			○								兼5		
	日本語・日本文化基礎演習	1①～4④		1				○							兼5		
	途上国農村地域開発論	2・3③		2				○							兼1	隔年	
	グローバル共生社会論	1④	1					○							兼7	オムニバス	
	小計 (66科目)	—	2	68	0		—		0	0	0	0	0	0	兼36	—	
	(デグ イロー S P) ズバ ル ブ スタ ラム 科目	グローバルイシュー概論	1①	1				○					1	1		兼6	オムニバス
		グローバルイシュー演習	1②	1					○				2	2		兼23	
		GSP演習(リエンテーション)	1①～3①	1					○				3	1		兼12	
		留学型GSコース	1①～3④		3				○				1	1		兼6	
実践型GSコース		1①～3④		3				○				1	1		兼6		
研修型GSコース		1①～3④		3				○				1	1		兼6		
GSP演習(リフレクション)		1④～3④	1					○				3	1		兼12		
小計 (7科目)	—	4	9	0		—		9	7	0	0	0	0	兼59	—		
学科専門科目 学科共通科目 (子ども教育学科)	子ども教育学概論1	1①	1				○					3	3				
	子ども教育学概論2	1②	1				○					3	3				
	子ども教育学演習1	3①	1					○				9	9	2			
	子ども教育学演習2	3②	1					○				9	9	2			
	子ども教育学演習3	3④	1					○				9	9	2			
	子ども教育学演習4	3④	1					○				9	9	2			
	子ども教育学演習5	4①	1					○				9	9	2			
	子ども教育学演習6	4②	1					○				9	9	2			
	子ども教育学演習7	4③	1					○				9	9	2			
	子ども教育学演習8	4④	1					○				9	9	2			
	国際文化理解教育論1	2③		1				○						1			
	国際文化理解教育論2	2④		1				○						1			
	教育原理(世界と日本の学校教育)1	1③		1				○				1					
	教育原理(世界と日本の学校教育)2	1④		1				○				1					
	保育原理(世界と日本の乳幼児教育)1	1①		1				○					1				
	保育原理(世界と日本の乳幼児教育)2	1②		1				○					1				
小計 (16科目)	—	10	6	0		—		9	9	3	0	0	0		—		
学科コア科目 (子ども教育学科)	教職論(小)1	1①		1			○					1					
	教職論(小)2	1②		1			○					1					
	教師入門1	1③		1			○						1				
	教師入門2	1④		1			○						1				
	日本教育史1	2①		1			○					1					
	日本教育史2	2②		1			○					1					
	初等国語科教育論1	2③		1			○						1				
	初等国語科教育論2	2④		1			○						1				
	初等特別活動指導論1	3①		1			○								兼1		
	初等特別活動指導論2	3②		1			○								兼1		
	総合学習教育論1	3①		1			○								兼1		
	総合学習教育論2	3②		1			○								兼1		
	乳幼児心理学1	1①		1			○					1					
	乳幼児心理学2	1②		1			○					1					
	児童の発達と学習1	2①		1			○								兼1		
	児童の発達と学習2	2②		1			○								兼1		
	初等社会科教育論1	3①		1			○						1				
	初等社会科教育論2	3②		1			○						1				
	初等生徒指導論(進路指導を含む)1	3①		1			○						1				
初等生徒指導論(進路指導を含む)2	3②		1			○						1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目 学科専門科目	学科コア科目（子ども教育学科）	発達心理学（幼・小）1	1③	1		○									兼1	
		発達心理学（幼・小）2	1④	1		○									兼1	
		教育経営学（幼・小）1	1③	1		○				1						
		教育経営学（幼・小）2	1④	1		○				1						
		初等理科教育論1	3①	1		○				1						
		初等理科教育論2	3②	1		○				1						
		教育行政学（幼・小）1	2①	1		○				1						
		教育行政学（幼・小）2	2②	1		○				1						
		初等カリキュラム論1	2①	1		○					1					
		初等カリキュラム論2	2②	1		○					1					
		初等生活科教育論1	2③	1		○				1						
		初等生活科教育論2	2④	1		○				1						
		初等学校教育相談1	3①	1		○										兼1
		初等学校教育相談2	3②	1		○										兼1
		初等算数論1	1③	1		○				1						
		初等算数論2	1④	1		○				1						
		初等算数科教育論1	2①	1		○				1						
		初等算数科教育論2	2②	1		○				1						
		初等音楽科教育論1	2③	1		○				1						
		初等音楽科教育論2	2④	1		○				1						
		初等体育論1	2①	1		○				1						
		初等体育論2	2②	1		○				1						
		初等図工科教育論1	2①	1		○						1				
		初等図工科教育論2	2②	1		○						1				
		初等家庭科教育論1	3①	1		○					1					
		初等家庭科教育論2	3②	1		○					1					
		初等体育科教育論1	2③	1		○				1						
		初等体育科教育論2	2④	1		○				1						
		初等英語教育論1	2③	1		○										兼1
		初等英語教育論2	2④	1		○										兼1
		初等国語論1	2①	1		○					1					
		初等国語論2	2②	1		○					1					
		初等道德教育論1	2③	1		○				1						
		初等道德教育論2	2④	1		○				1						
		初等図工論1	1③	1		○						1				
		初等図工論2	1④	1		○						1				
		初等教育方法学1	2③	1		○					1					
		初等教育方法学2	2④	1		○					1					
		初等生活科論1	2①	1		○										兼1
		初等生活科論2	2②	1		○										兼1
初等社会科論1	2③	1		○					1							
初等社会科論2	2④	1		○					1							
初等音楽論1	2①	1		○				1								
初等音楽論2	2②	1		○				1								
初等理科論1	2③	1		○				1								
初等理科論2	2④	1		○				1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目 学科専門科目	初等英語論1	2①		1		○									兼1	オムニバス	
	初等英語論2	2②		1		○									兼1		
	初等家庭科論1	2③		1		○				1							
	初等家庭科論2	2④		1		○				1							
	乳幼児教育課程論1	2③		1		○				1							
	乳幼児教育課程論2	2④		1		○				1							
	保育内容研究(健康Ⅰ)1	2①		1		○			1								
	保育内容研究(健康Ⅰ)2	2②		1		○			1								
	保育内容研究(健康Ⅱ)1	2③		1		○									兼1		
	保育内容研究(健康Ⅱ)2	2④		1		○									兼1		
	保育内容研究(環境)1	2①		1		○									兼2		
	保育内容研究(環境)2	2②		1		○			1								
	乳幼児教育内容・方法論1	3①		1		○				1							
	乳幼児教育内容・方法論2	3②		1		○				1							
	保育内容研究(人間関係)1	2①		1		○			1								
	保育内容研究(人間関係)2	2②		1		○			1								
	乳幼児臨床心理学1	3①		1		○			1								
	乳幼児臨床心理学2	3②		1		○			1								
	子どもの食と栄養1	2③		1		○									兼1		
	子どもの食と栄養2	2④		1		○									兼1		
	子どもの保健と健康1	3①		1		○									兼1		
	子どもの保健と健康2	3②		1		○									兼1		
	保育内容研究(造形表現)1	1③		1		○					1						
	保育内容研究(造形表現)2	1④		1		○					1						
	保育内容研究(音楽表現)1	1③		1		○			1								
	保育内容研究(音楽表現)2	1④		1		○			1								
	保育内容研究(児童文化と言葉)1	1③		1		○				1							
	保育内容研究(児童文化と言葉)2	1④		1		○				1							
	小計(102科目)		—	0	94	0	—			9	9	1	0	0	兼13		—
	学科展開科目 (子ども教育学科)	グローバル教育演習(教育行政学)1	2①		1			○		1							
		グローバル教育演習(教育行政学)2	2②		1			○		1							
		グローバル教育演習(教育制度)1	2③		1			○			1						
グローバル教育演習(教育制度)2		2④		1			○			1							
比較教育システム論1		3①		1		○				1							
比較教育システム論2		3②		1		○				1							
西洋教育思想史1		3①		1		○			1								
西洋教育思想史2		3②		1		○			1								
比較教育政策論1		3①		1		○			1								
比較教育政策論2		3②		1		○			1								
グローバル教育演習(子どもの保健)		3④		1			○		1								
グローバル教育演習(科学教育)1		2①		1			○		1								
グローバル教育演習(科学教育)2		2②		1			○		1								
グローバル教育演習(教育方法学)1		2③		1			○			1							
グローバル教育演習(教育方法学)2		2④		1			○			1							
グローバル教育文献演習1		3①		1			○		1								
グローバル教育文献演習2		3②		1			○		1								
グローバル教育演習(教育史学)1		2③		1			○		1								
グローバル教育演習(教育史学)2		2④		1			○		1								
特別支援教育総論1		3①		1			○		1								
特別支援教育総論2	3②		1			○		1									
特別支援教育学	2③		1			○								兼1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目 学科専門科目	学科展開科目（子ども教育学科）	発達障害心理学1	2①	1		○				1							
		発達障害心理学2	2②	1		○				1							
		発達障害と共生社会1	2③	1		○				1							
		発達障害と共生社会2	2④	1		○				1							
		障害児発達学1	2③	1		○									兼1		
		障害児発達学2	2④	1		○									兼1		
		知的障害の生理・病理	3②	1		○									兼1		
		障害児支援学概論	3①	1		○									兼2	オムニバス	
		肢体不自由者心理・生理・病理1	2①	1		○									兼1		
		肢体不自由者心理・生理・病理2	2②	1		○									兼1		
		知的障害支援学1	3④	1		○					1						
		知的障害支援学2	3④	1		○					1						
		発達障害教育論1	3②	1		○					1						
		発達障害教育論2	3④	1		○					1						
		肢体不自由教育論1	3④	1		○									兼1		
		肢体不自由教育論2	3④	1		○									兼1		
		障害共生教育論1	2①	1		○									兼1		
		障害共生教育論2	2②	1		○									兼1		
		支援教育臨床学1	2①	1		○					1						
		支援教育臨床学2	2②	1		○					1						
		臨床発達支援学1	2③	1		○					1						
		臨床発達支援学2	2④	1		○					1						
		児童青年精神医学1	2④	1		○									兼1		
		児童青年精神医学2	2④	1		○									兼1		
		障害とリハビリテーション	2②	1		○									兼1		
		言語発達と教育1	2④	1		○									兼1		
		言語発達と教育2	2④	1		○									兼1		
		観察実習Ⅰ	1①	1					○		1	2					
		観察実習Ⅱ	2①	1					○		1	2					
		科学教育実践研究1	3①	1		○						1					
		科学教育実践研究2	3②	1		○						1					
		社会認識実践研究1	3④	1		○						1					
		社会認識実践研究2	4①	1		○						1					
		数理認識実践研究1	3④	1		○					1						
		数理認識実践研究2	4①	1		○					1						
		英語科実践研究1	3①	1		○									兼1		
		英語科実践研究2	3②	1		○									兼1		
		教育・保育実践演習（児童文学）	3④	1				○				1					
		教育・保育実践演習（音楽表現）	3④	1				○			1						
		教育・保育実践演習（造形表現）	3④	1				○				1					
		教育・保育実践演習（家庭保育）	3④	1				○				1					
		教育・保育実践演習（乳幼児教育）	4④	1				○				1					
初等教育事前・事後指導	3③	1					○		1	2							
初等教育実地研究	3③	4					○		1	2				オムニバス			
特別支援教育実地研究	4③	3					○		1	1			兼1	オムニバス			
教職実践演習（幼・小）1	4③	1					○		1	2							
教職実践演習（幼・小）2	4④	1					○		1	2							
学校インターシップⅠ	2通	1						○	1	2							
学校インターシップⅡ	3通	1						○	1	2							
学校インターシップⅢ	4通	1						○	1	2							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目 学科専門科目 学科展開科目 (子ども教育学科)	社会福祉論1	2①		1		○									兼1		
	社会福祉論2	2②		1		○									兼1		
	社会的養護1	3①		1		○									兼1		
	社会的養護2	3②		1		○									兼1		
	障害児保育演習1	3①		1		○				1							
	障害児保育演習2	3②		1		○				1							
	社会的養護内容演習	4①		1		○									兼1		
	幼児心理学演習1	2③		1			○			1							
	幼児心理学演習2	2④		1			○			1							
	乳児心理学演習	1③		1			○			1							
	子どもと家庭1	3①		1		○				1							
	子どもと家庭2	3②		1		○				1							
	子ども家庭支援論1	3④		1		○				1							
	子ども家庭支援論2	3④		1		○				1							
	卒業研究	4通	10							7	9	1					
	小計(87科目)	—	—	19	82	0	—	—	—	9	9	2	0	0	兼14	—	
	資格免許のための科目	日本国憲法1	2③		1		○										
		日本国憲法2	2④		1		○										
		教職論(中・高)1	1		1		○									集中	
教職論(中・高)2		1		1		○									集中		
教育原理1		1③		1		○											
教育原理2		1④		1		○											
教育史1		2①		1		○											
教育史2		2②		1		○											
発達心理学(中・高)1		1③		1		○											
発達心理学(中・高)2		1④		1		○											
青年心理学1		2③		1		○											
青年心理学2		2④		1		○											
教育行政学(中・高)1		1③		1		○				1							
教育行政学(中・高)2		1④		1		○				1							
教育経営学(中・高)1		2①		1		○											
教育経営学(中・高)2		2②		1		○											
中等カリキュラム論1		2		1		○									集中		
中等カリキュラム論2		2		1		○									集中		
中等道徳教育論1		2		1		○									集中		
中等道徳教育論2		2		1		○									集中		
中等特別活動指導論1		3①		1		○											
中等特別活動指導論2		3②		1		○											
中等学習指導論1		2		1		○									集中		
中等学習指導論2		2		1		○									集中		
中等生徒指導論1		3①		1		○											
中等生徒指導論2		3②		1		○											
中等学校教育相談1		2①		1		○											
中等学校教育相談2		2②		1		○											
中等教育事前・事後指導		3①		1				○		2	1						
中学校教育実地研究A		3①		2				○		1	2						
中学校教育実地研究B		3②		2				○		1	2						
高等学校教育実地研究		3①		2				○		2	1						
教職実践演習(中・高)1		4③		1				○		1	2						
教職実践演習(中・高)2	4④		1				○		1	2							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
資格免許のための科目	社会科学教育論A1	2		1		○									集中
	社会科学教育論A2	2		1		○									集中
	社会科学教育論B1	2		1		○									集中
	社会科学教育論B2	2		1		○									集中
	公民科教育論1	2		1		○									集中
	公民科教育論2	2		1		○									集中
	社会科・公民科教育論1	3①		1		○									
	社会科・公民科教育論2	3②		1		○									
	地歴科教育論1	2①		1		○									
	地歴科教育論2	2②		1		○									
	社会科・地歴科教育論1	2		1		○									集中
	社会科・地歴科教育論2	2		1		○									集中
	博物館概論1	2①		1		○									
	博物館概論2	2②		1		○									
	博物館経営論1	2③		1		○									
	博物館経営論2	2④		1		○									
	博物館資料論1	3③		1		○									
	博物館資料論2	3④		1		○									
	博物館展示論1	2①		1		○									
	博物館展示論2	2②		1		○									
	博物館教育論1	2		1		○									集中
	博物館教育論2	2		1		○									集中
	博物館情報・メディア論1	2③		1		○									
	博物館情報・メディア論2	2④		1		○									
	博物館実習	2①～3④		3				○							
	社会調査法1	3①		1		○									
	社会調査法2	3②		1		○									
小計 (117科目)	—	0	128	0	—			10	10	0	0	0		—	
合計 (609科目)		—	46	561.5 又は 562.5	0	—		9	9	3				兼191	
学位又は称号	学士 (学術), 学士 (教育学)		学位又は学科の分野				文学関係, 教育学・保育学関係								

I 設置の趣旨・必要性

(設置の背景・必要性)

情報通信技術が爆発的に進展し、経済・社会の活動範囲が地球規模で広がるグローバル化が急速に進行する中、ヒト、モノ、カネ、情報がかつてない規模とスピードで地球上を自由に行き来するようになった。そこでは、人類の更なる発展が期待される一方で、地球規模での競争の激化を背景に、様々なレベルで価値観の衝突や知識・富の偏在等の問題が懸念されている。しかも、我が国は諸外国に先駆けて超高齢社会に突入し、少子化の動きと相まって急激な人口減少による地方消滅の危機が指摘されている。

こうした現実を前に、私たちは、国民一人ひとりに豊かで安心できる生活を確保するため、一刻も早く課題克服の道筋を探し出し、持続的成長を果たす活力ある成熟社会を作り上げていく必要がある。今日の知識基盤社会の動向を踏まえるとき、そこで必要になるのが、新たな価値を生み出す「知」とそれを担う人材であることは、言を俟たない。

そして、こうした脈絡において、大学には強い期待が寄せられている。

例えば、中央教育審議会答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」(平成 24 年 8 月)では、「予測困難な時代」において「未来を見通し、これからの社会を担い、未知の時代を切り拓く力のある学生の育成や、将来にわたって我が国と世界の社会経済構造や文化、思想に影響を及ぼす可能性を持つ学術研究の推進などを通して、未来を形づくり、社会をリードする役割を担う」ことが、大学に求められている。

さらに、「21 世紀の日本にふさわしい教育体制を構築し、教育の再生を実行」することを目的に置かれた教育再生実行会議も、大学が「未踏の地への挑戦により新たな知を創造し、社会を変革していく主体」(「これからの大学教育等の在り方について(第三次提言)」平成 25 年 5 月)となることを期待し、最近では特に人材育成に焦点を当て、「これからの時代を生きる人たちに必要とされる資質・能力」として、「主体的に課題を発見し、解決に導く力、志、リーダーシップ」「創造性、チャレンジ精神、忍耐力、自己肯定感」「感性、思いやり、コミュニケーション能力、多様性を受容する力」を養成すべきとしている(「これからの時代に求められる資質・能力と、それを培う教育、教師の在り方(第七次提言)」平成 27 年 5 月)。

大学は今、蓄積した数多くの資源を最大限に発揮し、こうした社会の要請に積極的に応えていく必要がある。

(神戸大学のこれまでの取組)

国立大学法人神戸大学(以下、「本学」とする。)は、100 有余年の歴史と伝統を有し、開放的で国際性に富む固有の文化の下、「真摯・自由・協同」の精神を発揮し、人類社会に貢献するため、普遍的価値を有する「知」を創造するとともに、人間性豊かな指導的人材を育成することを使命とする。

そして、この使命を果たすため、本学は、昨年 4 月に新たなビジョンを策定した。そこでは、「学理と実際の調和」という基本理念に基づいて様々な連携・融合の力を最大限に発揮し、「先端研究・文理融合研究で輝く卓越研究大学」として世界最高水準の教育研究拠点の構築を構想する。その中で、教育に関しては「教育のグローバル化による世界で活躍する先導的人材の育成」を掲げ、その中核的事業として、国際文化学部と発達科学部を再編し、種々のグローバルイシュー(地球的課題)の解決に向けて多様な人々と協働しながらリーダーシップを発揮できる「協働型グローバル人材」の養成を目的とする国際人間科学部(以下、「新学部」という。)を設置する。

国際文化学部は、平成 4 年、新しい学際的な領域を開拓することを目的に、異文化理解を深め、国際社会の協調を推進するためのコミュニケーションの方法を開発することを理念として、教養部を廃止して設置された。それ以来、幅広い教養と高い倫理性を身に付け、豊かな感性と柔軟な思考力をもって自ら主体的に課題に取り組み、考え、判断し、行動できる能力等を有し、文化の諸問題を世界的視野に立って考察し、地球規模で社会に貢献できる人材を養成してきた。特に、協定大学との間で毎年相互に 40 ～ 50 名の交換留学を実施しているほか、卒業生の就職についても高い就職率を誇っており、東洋経済新報社による「就職で差が付く『本当に強い大学』ランキング」(平成 27 年 8 月 27 日付け)においては全国の外国語・国際系学部で第一位に評価されている。

また、発達科学部は、平成 4 年、教育・研究の対象を、学校教育を主体とした領域から人間の発達にわたる全領域に広げ、新しい科学としての学問体系、それに伴う教育・研究体制を確立し、社会的要請に応え得る人材の育成を図ることを目的に、教育学部を改組して設置した。それ以来、乳幼児期から高齢期に至るまでの人間の発達及びそれを支える環境を対象とした発達科学の学問分野の教育研究を通じて、幅広い知識と豊かな教養を身に付け、発達科学に関する専門的知見及び問題解決能力を有し、広く社会で活躍できる人材を養成してきた。特に、少人数対話型教育を徹底し、受講学生の問題発見能力、効果的なプレゼンテーション能力、質問・ディスカッション能力等を涵養している点に特色を持つ。

新学部は、これら二つの学部の強みと特色を最大限に生かすことで、「持続的な『競争力』を持ち、高い付加価値を創り出す」ことを目指す。

国際人間科学部 再編計画概要

【現行】

国際文化学部 140人	
国際文化学科(140)	情報コミュニケーション論 現代文化論 異文化コミュニケーション論 地域文化論
発達科学部 280人	
人間形成学科(90)	心理発達論コース 子ども発達論コース 教育科学論コース 学校教育論コース
人間行動学科(50)	健康発達論コース 行動発達論コース 身体行動論コース
人間表現学科(40)	人間表現論コース
人間環境学科(100)	自然環境論コース 数理情報環境論コース 生活環境論コース 社会環境論コース

【再編後】

国際人間科学部 370人 (△50)	
グローバル文化学科(140)	グローバル文化形成 グローバル社会動態 グローバル・コミュニケーション
発達コミュニティ学科(100)	発達基礎 コミュニティ形成
環境共生学科(80)	環境基礎科学 環境形成科学
子ども教育学科(50)	学校教育学 乳幼児教育学

(養成する人材)

新学部は、グローバルイシュー（現代社会が地球規模での協働を通して取り組まなければならない課題）を深い人間理解と他者への共感をもって解決し、世界の人が多様な境界線を越えて共存できる「グローバル共生社会」の実現に貢献する「協働型グローバル人材」を養成することを教育研究上の目的とする。その達成に向け、新学部では、教育課程を通じて授与する学位に関して、国際的に卓越した教育を保証するため、以下の方針に従って当該学位を授与する。

国際人間科学部規則に定める卒業に必要な単位を修得する。

卒業までに、新学部生が次の能力を獲得することを学修の目標とする。

- ① グローバルイシューを構成する諸課題を発見する批判的・合理的思考力
- ② 外国語や ICT を使いこなす多様なコミュニケーション能力と情報収集・分析力
- ③ グローバルイシューを異文化理解・人間発達・環境共生の観点から理解する能力
- ④ グローバルイシューの解決に向けて、他者と協働しつつ、リーダーシップを発揮する行動力

II 教育課程編成の考え方・特色

新学部は、グローバル社会で生起する環境、災害、民族、宗教、経済格差、人権、教育、社会福祉等に関わるグローバルイシューを深い人間理解と他者への共感をもって解決し、「グローバル共生社会」の実現に貢献する「協働型グローバル人材」を養成することを目的としている。このような人材養成を達成するため、新学部は、グローバル文化学科、発達コミュニティ学科、環境共生学科、子ども教育学科の4学科を設置する。それぞれ、グローバル文化学科は「多文化状況、文化交流、文化摩擦等をめぐる諸問題の解決」、発達コミュニティ学科は「人間の発達の諸相の理解とそれを支えるコミュニティの形成」、環境共生学科は「共生社会を支える環境の創出と保全」、子ども教育学科は「持続可能なグローバル共生社会を創造する次世代指導者の育成」を、専門教育の目標に掲げている。

このような学科ごとの専門性を身に付けた「協働型グローバル人材」を養成するため、新学部では、必要な能力を年次進行に沿って修得できるよう、4つの科目区分を設ける。

- (1) 全学共通授業科目（基礎教養科目、総合教養科目、外国語科目、情報科目、健康・スポーツ科学、共通専門基礎科目、資格免許のための科目、その他必要と認める科目）
- (2) 高度教養科目（他学部開講科目）
- (3) 専門科目
 - ① 学部共通基礎科目
 - ② 学部共通発展科目
 - ③ グローバル・スタディーズ・プログラム(GSP)科目
 - ④ 学科専門科目
- (4) 自由選択科目

上記の(1)及び(2)は、本学の学生が卒業時に身に付けるべき共通の能力を「神戸スタンダード」として明示し、その修得を目標とする。「神戸スタンダード」とは、本学の全学部学生を対象とする教養教育において修得を目指す「複眼的に思考する能力」、「多様性と地球的課題を理解する能力」、「協働して実践する能力」の総称である。なお、卒業単位数に占めるその割合等は、各学部の特性に応じ

その裁量に委ねられている。

このうち②は、異なる専門分野の学生が、協働して学際的な課題を学ぶことで、学生の自主性、コミュニケーション能力、チームワークなどの社会的能力、課題解決能力を養成することを目的とする授業科目である。

③は、新学部が教育目的とする「協働型グローバル人材」として社会に羽ばたくに当たり必要不可欠となる基礎知識とスキルを、新学部の学生に共有させるための学部の基盤教育である。そのうち、①は主として1年次に開講される基本的な授業科目であり、②は①において修得した知識や技能を更に発展させて、「協働型グローバル人材」として世界中の人々と実践の場でグローバルイシュー解決のために協力できる基礎力を得られるよう設計された授業科目である。特に②の外国語科目については、①で設定された外国語科目のうち、英語のみならずフランス語、ドイツ語、中国語等の第二外国語のスキルを一層向上させるための上級外国語科目である「Academic Communication」、「Academic Writing」等のほか、①で設定されていないロシア語、スペイン語、イタリア語などグローバル社会で重視される外国語を修得するための多様な入門科目を開設することとした。

③のグローバル・スタディーズ・プログラム（GSP）は、国境を越えた実践の場でコミュニケーション能力を駆使して多様な人々と協働する経験を積ませるための重要なカリキュラムである。したがって、このプログラムは、④の学科専門科目の一部でありつつも、新学部のカリキュラムの“目玉”として、学部の「必修科目」として位置付けられている。その詳細については、下記で説明する。

④は、協働型グローバル人材というジェネリックなスキルを備える人材養成像を学部として追求しながらも、単なる実践的技術の修得にとどまらず、多様性に富んだ専門的知識とそれに基づき具体的問題を“構造化する”構想力とを育成するための専門教育を実施するものである。世界中の人々とグローバルイシューの解決のために協働するためには、コミュニケーション・スキルの会得を踏まえ、地に足の着いた多彩な専門的知識を基に、世界が直面する深刻な課題を関係者間の協力と妥協によって“解決可能なもの”として認識を共有できるよう図式化し提案・発信できる豊かな構想力が求められているからである。

④は、コミュニケーション能力や多面的視野を広げるため、上級外国語や他学科の専門科目を中心に各自の関心に基づき修得できる科目である。

〔グローバル・スタディーズ・プログラム（GSP）〕

(1) GSP の構成

GSP は、学生の専門性とニーズにきめ細かく対応するために国内外の多様な学びの場の設定し、事前学修及び事後学修の徹底による体系的教育とする。そのため、GSP は次の3つの部分から構成され、学生は7単位の修得を必修化する。

(ア) グローバル・スタディーズ準備科目（2単位）

「グローバルイシュー概論」及び「グローバルイシュー演習」により、現代世界が抱える諸課題を包括的に学修し、海外研修・フィールド学修の課題を絞り込むための基礎的情報を学ぶ。

(イ) 海外研修・フィールド学修（3単位）

海外の大学等教育機関での語学を含む教育、海外フィールドでの社会体験、国内フィールドでの社会体験などを主な構成要素としながら、それらを柔軟に組み合わせ、実践的な学問研究につなげることを目標とし、個々の学生の専門性と要望に応じて選択する次の3つのGSコースを置くこととしている。

各コースについては、期間や方法等が異なるが、そこで達成すべき履修目標が同じであり、学修時間を満たし、一定の学修効果も得られることから、一律3単位としている。

- ・留学型GSコース：中長期の交換留学協定校への派遣留学若しくは私費留学又は4週間以上のサマースクール若しくは語学研修とその期間中に学生自身が留学先現地において計画、実施するフィールド学修、ボランティア活動等から構成され、海外での適応能力、企画力・行動力の修得を目的とする。
- ・実践型GSコース：フィールド学修の要素を含む、1週間以上の海外でのスタディー・ツアーや海外企業、教育機関、NGO等でのインターンシップ等を行う。本コースは、特に海外での実践的コミュニケーション能力の向上及び国境を越える協働を通じた問題解決能力の修得を目的とする。
- ・研修型GSコース：2週間以上の語学研修、サマースクール等のプログラムを海外において履修し、そこで得た問題意識を活かし、さらに国内フィールド学修を履修する。海外事情と国内の状況の比較を含む総括的学修を通じた幅広い視野からの問題解決能力の修得を目的とする。

(ウ) GSP 演習科目（2単位）

海外研修・フィールド学修に先立つ「オリエンテーション」と、事後に行う「リフレクション」から構成される。ここでは、アクティブ・ラーニングの手法を用いて事前の課題設定と事後の自己評価を行う。

(2) 留学先等の選択支援

GSコースの選択や留学先等の決定に当たり、次のとおりきめ細かな履修指導を行う。

(ア) 「オリエンテーション」時における指導

「オリエンテーション」において、学生の適性や履修時期・方法等を考慮し、適切なGSコースを選択するよう指導する。

(イ) GSP オフィスにおける個別相談

GSP オフィスを設置し、海外研修・フィールド学修に関する個別の学修相談、生活相談等に応じる。

(ウ) 派遣学生の選抜

交換留学の選考に当たっては、外国語能力の測定のみに頼ることなく、学問的関心、専門的な勉学意欲、積極性を測るための「モチベーション・テスト」を実施する。

(エ) 充実した外国語教育

英語をはじめ、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語等に関する専門科目を多数準備し、学生のニーズと海外研修先に応じた語学力の向上を図る。

(3) 単位認定方法

「オリエンテーション」「リフレクション」では、発表及びレポートを課す。

各GSコースでは、留学・研修期間中の活動報告を課す。

(4) 留学中の指導・危機管理

留学中の指導については、GSPの各プログラムに教員アドバイザーを配置し、指導、助言を行う。

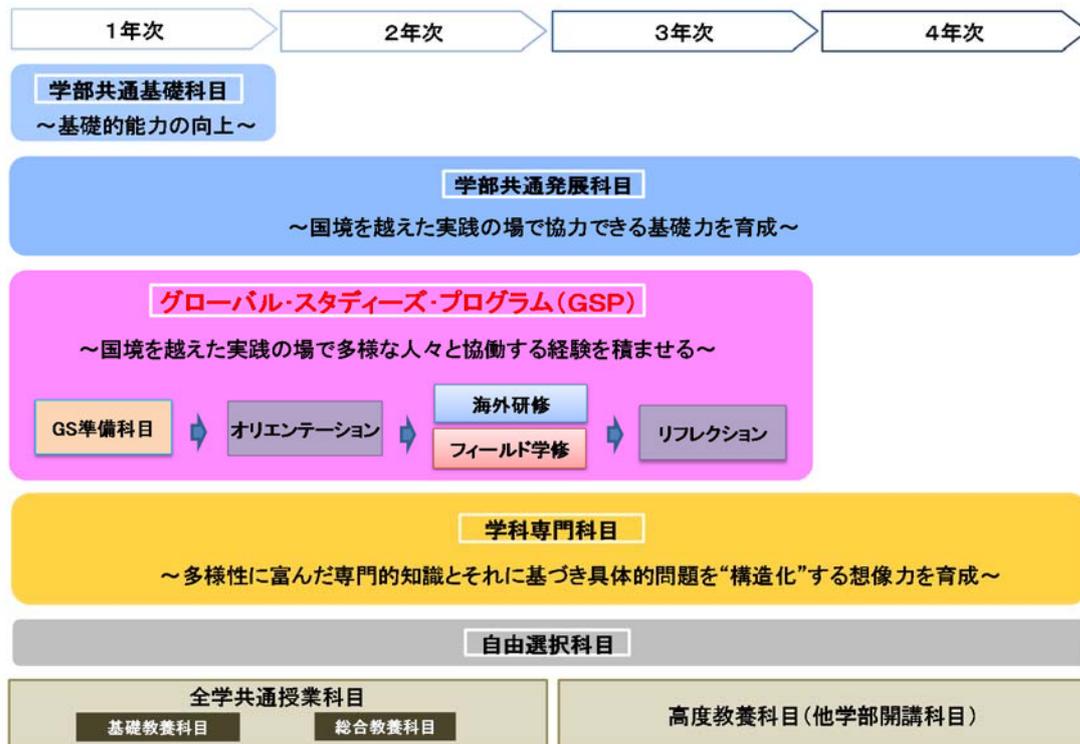
海外で事件や災害などが発生した場合に備えて、民間企業の危機管理システムを利用し、海外で事故等の際の各種の支援を得られる体制を構築する。

(5) 海外研修及びフィールド学修先の確保

(ア) 海外での研修先

- 本学と学術交流協定を締結した海外大学（69校）など
 (i) 国内フィールド学修先
 兵庫県内の社会教育関連施設、兵庫県内の自治体など

カリキュラム体系図



(学科の特色)

子ども教育学科

(7) 学科の目標

子ども教育学科では、次世代育成を通じたグローバル共生社会の実現を目指し、グローバル社会に関わる幅広い視野を持ちながら、子どもと学校が抱える課題を多面的に認識し、実践的に解決していく能力を身に付けた初等教育教員等を養成する。具体的には、グローバル社会で生起する諸課題についての幅広い見識、人間形成や多様な文化的背景を持つ子どもや特別なニーズを持つ子どもについての高度な専門的知見、教科についての深い学問的理解を基盤に、グローバル化した現代社会の文化的多様性を尊重した子どもの教育を、実際の学校現場等において様々な関係者と連携・協働しながら推進していく能力を有する人材を養成することを目的とする。

(i) 専門教育の特色

本学科では、初等教育を構成する「学校教育学」と「乳幼児教育学」の2つの学科目を設け、世界と日本の学校教育、国際文化理解教育など、グローバル共生社会の実現に向けた教育の現状と課題について理解を深めた後、分野ごとの体系的な教育研究を行う。

「学校教育学」の学科目では、主に教育学、教科内容・指導論、心理学の専門性に基づき、義務教育の基盤である小学校を中心とした教育理念、制度、教育内容と方法に関する教育研究を行う。あわせて、インクルーシブ教育の観点から、障害のある子どもに対する特別支援教育に関する教育研究を行う。

「乳幼児教育学」の学科目では、主に教育学、保育内容・指導論、心理学の専門性に基づき、生涯にわたる人格形成の基盤である乳幼児期を中心とした教育理念、制度、保育内容と方法に関する教育研究を行う。あわせて、幼小連携教育の観点から、小学校教育の内容と方法等に関する教育研究を行う。

本学科の専門教育の特色は、大学での講義・演習を通じた専門的な学修と、附属学校園を含む国内外の学校現場での教育実習やインターンシップの経験とを有機的に連関させることを通じて、学生が主体的に理論と実践を往還しながら、初等教育教員としての実践的指導力を身に付けると同時に、子どもの教育を学問的に探究するための研究能力の基礎を身に付ける点にある。

また、本学科における必修科目には、「子ども教育学概論1・2」、「観察実習Ⅰ」、「観察実習Ⅱ」、「子ども教育学演習1~8」、「初等教育事前・事後指導」、「初等教育実地研究」、「教職実践演習(幼・小)1・2」、「卒業研究」がある。これらの科目は、学生が主体的に理論と実践を往還しながら、初等教育教員としての実践的指導力を身に付けると同時に、子どもの教育を学問的に探究するための研究能力の基礎を身に付けることができよう、4年間を通して体系的に配置している。

1年の前半に「子ども教育学概論1・2」を設定し、国内外の最新の研究動向を交え、未来のグローバル共生社会を創り出す個々の子ども及び子ども集団の原理的諸側面と教科的諸側面を中心に、多角的な基礎知見と探究方法論の修得を目指し、協働型グローバル人材となるための能力の基礎を培う。また1年の前半の「観察実習Ⅰ」(約5日間)において、幼稚園・小学校・特別支援学校を訪問し、教員の仕事の全体像と発達段階による子どもの特性を理解する。

2年の前半の「観察実習Ⅱ」(約5日間)では、教科の指導や保育実践の観察、教育実践記録の方法の理解、多様な文化的背景を持つ外国人児童の指導の観察等を行うことを通じて、主に学習指導に求められる専門的資質能力について理解する。

3年次には、「子ども教育学演習1・2」で研究資料やデータの収集・分析能力を養い、「子ども教育学演習3・4」でグローバル社会と子ども・教育の諸問題についての理解を深め、様々な関係者との連携・協働のためのコミュニケーション力の向上を目指す。また3年の後半に4週間の教育実習である「初等教育実地研究」とその前後の「初等教育事前・事後指導」を通して、学生が子どもたちと継続的に関わる中で、文化的、教育的ニーズの多様性をふまえた子ども理解について実地で学び、学習指導と生活指導の基礎的力量を形成するとともに、研究的視点から学校現場の諸課題について多面的に認識する。

4年次の「子ども教育学演習5・6・7・8」では、「観察実習Ⅰ、Ⅱ」や「初等教育実地研究」で培った経験や課題意識を活かしながら、各自が研究課題を設定し、主体的・能動的な調査・学修・報告・協議をしながら、「卒業論文」の構想を練り、発表・討議し、学問的理解と専門的知見を深める。最後に、「卒業論文」を作成し、「教職実践演習1・2」で自己の教育実践上の到達点と課題を認識する作業を通して、学習の総括と展望を試みる中で、グローバル化した現代社会の文化的多様性を尊重した子どもの教育を実現する能力を持った次世代指導者を育てる。

本学科では、グローバル・スタディーズ・プログラム(GSP)による海外研修やフィールド学修をとおして教育分野を含むグローバルイシューへの実践的課題意識を醸成しつつ、上記の専門教育を通して、グローバル社会に関わる幅広い視野から子どもと学校が抱える課題を多面的に認識し、実践的に解決していく能力を身に付けた者に、「学士(学術)」を授与する。

こうした能力に加え、科学教育実践研究、社会認識実践研究、数理認識実践研究、英語教育実践研究、教育・保育実践演習(児童文学)、教育・保育実践演習(音楽表現)、教育・保育実践演習(造形表現)、教育・保育実践演習(家庭保育)、教育・保育実践演習(乳幼児教育)、学校インターンシップ等の科目を通して、今日の学校現場に生起する諸問題と直接向き合いながら、初等教育教員が持つべきより実践的な指導力を身に付け、幼稚園教諭や小学校教諭の教員免許状申請が可能な単位を取得した者に、「学士(教育学)」を授与する。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
(卒業要件) 4年以上在学し、学部規則で定める授業科目のうちから124単位以上を修得しなければならない。ただし、3年以上在学した者が、卒業の要件として学部規則に定める単位を優秀な成績で修得したものと認められ、かつ、学生が卒業を希望する場合には卒業することができる。 (履修方法) (1)全学共通授業科目 23単位以上(必修7単位, 選択16単位以上) (2)高度教養科目(他学部開講科目) 4単位 (3)専門科目 ①学部共通基礎科目 6単位以上(必修4単位, 選択2単位以上) ②学部共通発展科目 4単位以上(必修2単位, 選択2単位以上) ③グローバル・スタディーズ・プログラム(GSP)科目 7単位(必修4単位, 選択3単位) ④学科専門科目 76単位以上(必修29単位, 選択47単位以上) (ア) 学科共通科目(必修10単位, 選択2単位以上) 選択科目については以下の要件を満たすこと。 ・「教育原理1,2」, 「保育原理1,2」の中から2単位以上 (イ) 学科コア科目(選択10単位以上) (ウ) 学科展開科目(必修19単位, 選択6単位以上) (4)自由選択科目 4単位以上 (履修科目の登録の上限:49単位(年間))	1学年の学期区分	4学期
	1学期の授業期間	8週
	1時限の授業時間	90分

教育課程等の概要																
（既設 国際文化学部国際文化学科）																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学共通科目	人文系	論理学	1②-2④		1		○								兼5	-
		教育学A	1②-2④		1		○								兼8	
		教育学B	1②-2④		1		○								兼3	
		小計（3科目）	-	0	3	0	-		0	0	0	0	0	0	兼10	
	社会科学系	法学A	1②-2④		1		○								兼4	-
		法学B	1②-2④		1		○								兼4	
		経済学A	1②-2④		1		○								兼4	
		経済学B	1②-2④		1		○								兼4	
		地理学	1②-2④		1		○								兼6	
		小計（5科目）	-	0	5	0	-		0	0	0	0	0	0	兼12	
	生命科学系	医学A	1②-2④		1		○								兼1	共同 共同
		医学B	1②-2④		1		○								兼1	
		保健学A	1②-2④		1		○								兼5	
		保健学B	1②-2④		1		○								兼1	
		健康科学A	1②-2④		1		○								兼1	
		健康科学B	1②-2④		1		○								兼6	
		生物学A	1②-2④		1		○								兼5	
		生物学B	1②-2④		1		○								兼6	
		生物学C	1②-2④		1		○								兼4	
	小計（9科目）	-	0	9	0	-		0	0	0	0	0	0	兼26		
自然科学系	数学A	1②-2④		1		○								兼8	-	
	数学B	1②-2④		1		○								兼8		
	数学C	1②-2④		1		○								兼6		
	物理学A	1②-2④		1		○								兼2		
	物理学B	1②-2④		1		○								兼2		
	化学A	1②-2④		1		○								兼4		
	化学B	1②-2④		1		○								兼4		
	化学C	1②-2④		1		○								兼4		
	化学D	1②-2④		1		○								兼4		
	惑星学A	1②-2④		1		○								兼8		
	惑星学B	1②-2④		1		○								兼8		
	惑星学C	1②-2④		1		○								兼8		
	小計（12科目）	-	0	12	0	-		0	0	0	0	0	0	兼52		
総合教養科目	(1) 多文化理解	教育と人間形成	1②-2④		1		○								兼3	-
		文学A	1②-2④		1		○								兼4	
		文学B	1②-2④		1		○								兼10	
		言語科学A	1②-2④		1		○			2					兼4	
		言語科学B	1②-2④		1		○			2					兼4	
		芸術と文化A	1②-2④		1		○				2				兼8	
		芸術と文化B	1②-2④		1		○				6				兼6	
		日本史A	1②-2④		1		○			1	1				兼4	
		日本史B	1②-2④		1		○			1	1				兼4	
		東洋史A	1②-2④		1		○								兼2	
		東洋史B	1②-2④		1		○								兼2	
		アジア史A	1②-2④		1		○				4				兼2	
		アジア史B	1②-2④		1		○				4				兼2	
		西洋史A	1②-2④		1		○					2			兼2	
		西洋史B	1②-2④		1		○					2			兼2	
		考古学A	1②-2④		1		○								兼2	
		考古学B	1②-2④		1		○								兼2	
		芸術史A	1②-2④		1		○								兼2	
		芸術史B	1②-2④		1		○								兼2	
		美術史A	1②-2④		1		○								兼1	
美術史B	1②-2④		1		○								兼1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学 共通科目	総合 教養科目 多文化 理解	科学史A	1②-2④	1		○			2						兼3	
		科学史B	1②-2④	1		○			2						兼3	
		社会思想史	1②-2④	1		○			4							
		文化人類学	1②-2④	1		○			2	4					兼2	
		現代社会論A	1②-2④	1		○									兼1	
		現代社会論B	1②-2④	1		○									兼7	
		越境する文化	1②-2④	1		○					4					
		生活環境と技術	1②-2④	1		○									兼4	
		学校教育と社会	1②-2④	1		○									兼8	
		か好の文化学A	1②-2④	1		○									兼1	
		か好の文化学B	1②-2④	1		○									兼1	
	小計 (32科目)	—	0	32	0	—			7	8	0	0	0	兼44	—	
	自然 界の 成り 立ち	科学技術と倫理	1②-2④	1		○									兼4	
		現代物理学が描く世界	1②-2④	1		○									兼4	
		身近な物理法則	1②-2④	1		○									兼4	
		か好の自然学	1②-2④	1		○									兼1	
		ものづくりと科学技術A	1②-2④	1		○									兼4	オムニハス
		ものづくりと科学技術B	1②-2④	1		○									兼4	オムニハス
		生命科学A	1②-2④	1		○									兼1	
		生命科学B	1②-2④	1		○									兼1	
		生物資源と農業A	1②-2④	1		○									兼3	オムニハス
		生物資源と農業B	1②-2④	1		○									兼3	オムニハス
		生物資源と農業C	1②-2④	1		○									兼5	オムニハス
	生物資源と農業D	1②-2④	1		○									兼4	オムニハス	
	小計 (12科目)	—	0	12	0	—			0	0	0	0	0	兼29	—	
	グ ロー バ ル イ シ ユ ー	環境学入門A	1②-2④	1		○									兼1	
		環境学入門B	1②-2④	1		○									兼1	
		社会と人権A	1②-2④	1		○									兼4	
		社会と人権B	1②-2④	1		○									兼4	
		男女共同参画とジェンダーA	1②-2④	1		○				1					兼1	オムニハス
		男女共同参画とジェンダーB	1②-2④	1		○				1					兼1	オムニハス
		グローバルリーダーシップ 育成基礎演習	1②-2④	2		○									兼2	共同
		EU基礎論	1②-2④	1		○				1	1				兼3	オムニハス
国際協力の現状と課題A		1②-2④	1		○									兼10		
国際協力の現状と課題B		1②-2④	1		○									兼8		
政治と社会		1②-2④	1		○				4	2				兼2		
社会生活と法		1②-2④	1		○				6					兼2		
国家と法		1②-2④	1		○									兼10		
現代の経済A		1②-2④	1		○									兼10		
現代の経済B		1②-2④	1		○									兼10		
経済社会の発展		1②-2④	1		○									兼4		
企業と経営		1②-2④	1		○									兼4		
地球史における生物の変遷		1②-2④	1		○									兼3		
生物の環境適応	1②-2④	1		○									兼3			
人間活動と地球生態系	1②-2④	1		○									兼2			
食と健康A	1②-2④	1		○									兼7	オムニハス		
食と健康B	1②-2④	1		○									兼8	オムニハス		
資源・材料とエネルギーA	1②-2④	1		○									兼6	オムニハス		
資源・材料とエネルギーB	1②-2④	1		○									兼7	オムニハス		
小計 (24科目)	—	0	25	0	—			5	2	0	0	0	兼65	—		
E S D	ESD基礎(持続可能な社会づくり1)A	1②-2④	1		○									兼1		
	ESD基礎(持続可能な社会づくり1)B	1②-2④	1		○											
	ESD論(持続可能な社会づくり2)A	1②-2④	1		○									兼1		
	ESD論(持続可能な社会づくり2)B	1②-2④	1		○									兼1		
	ESD生涯学習論A	1②-2④	1		○											
	ESD生涯学習論B	1②-2④	1		○											
	ESDポランティア論	1②-2④	1		○									兼2	オムニハス・ 共同(一部)	
小計 (7科目)	—	0	7	0	—			0	0	0	0	0	兼2	—		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学 共通 科目	(5) キャリア 科目	企業社会論A	1②-2④		1		○								兼2	オムニバス
		企業社会論B	1②-2④		1		○								兼1	オムニバス
		職業と学び-キャリアデザインを考えるA	1②-2④		1		○								兼1	
		職業と学び-キャリアデザインを考えるB	1②-2④		1		○								兼1	
		社会基礎学(グローバル人材に不可欠な教養)	1②-2④		2		○								兼1	
		ボランティアと社会貢献活動A	1②-2④		1		○								兼1	
		ボランティアと社会貢献活動B	1②-2④		1		○								兼1	
		グローバルチャレンジ実習	1②-2④		1又は2					2	1				兼10	
	小計(8科目)	—	0	9又は10	0	—			2	1	0	0	0	兼12	—	
	(6) 神戸学	神戸大学史A	1②-2④		1		○								兼4	オムニバス
		神戸大学史B	1②-2④		1		○			2					兼2	オムニバス
		神戸大学の研究最前線A	1②-2④		1		○				2				兼16	
		神戸大学の研究最前線B	1②-2④		1		○								兼18	
		阪神・淡路大震災A	1②-2④		1		○								兼9	オムニバス
		阪神・淡路大震災B	1②-2④		1		○								兼9	オムニバス
		海への誘い	1②-2④		2		○								兼1	
		瀬戸内海学入門	1②-2④		2		○								兼1	
	小計(8科目)	—	0	10	0	—			1	2	0	0	0	兼45	—	
	外国 語科 目	外国 語第 I	English Communication A1	1①	0.5			○		6	4				兼55	
English Communication A2			1②	0.5			○		6	4				兼55		
English Communication B1			1③	0.5			○		9	4				兼66		
English Communication B2			1④	0.5			○		9	4				兼66		
English Literacy A1			1①	0.5			○		3	8				兼54		
English Literacy A2			1②	0.5			○		3	8				兼54		
English Literacy B1			1③	0.5			○		5	5				兼69		
English Literacy B2			1④	0.5			○		5	5				兼69		
Advanced English A1			2①・2③	0.5			○									
Advanced English A2			2②・2④	0.5			○									
Advanced English B			2①-2④	0.5			○									
Advanced English C			2①・2②	1			○									
Advanced English GEC (Productive) 1			2①	0.5			○									
Advanced English GEC (Productive) 2			2②	0.5			○									
Advanced English GEC(海外研修)			1③・1④	1			○								兼1	
Advanced English GEC(プレゼンテーション)1			2①-2④	0.5			○									
Advanced English GEC(プレゼンテーション)2			2①-2④	0.5			○									
Advanced English GEC(ライティング)1			2①-2④	0.5			○									
Advanced English GEC(ライティング)2			2①-2④	0.5			○									
Advanced English GEC(ディスカッション)1			2①-2④	0.5			○									
Advanced English GEC(ディスカッション)2			2①-2④	0.5			○									
小計(21科目)	—	4	7.5	0	—			11	6	0	0	0	兼59	—		
外国 語第 II	ドイツ語初級A1	1①	0.5			○		5	4					兼20		
	ドイツ語初級A2	1②	0.5			○		5	4					兼20		
	ドイツ語初級B1	1①	0.5			○		3						兼26		
	ドイツ語初級B2	1②	0.5			○		3						兼26		
	ドイツ語初級A3	1③	0.5			○		5	4					兼20		
	ドイツ語初級A4	1④	0.5			○		5	4					兼20		
	ドイツ語初級B3	1③	0.5			○		3						兼26		
	ドイツ語初級B4	1④	0.5			○		3						兼26		
	ドイツ語初級SA3	1③	0.5			○								兼1		
	ドイツ語初級SA4	1④	0.5			○								兼1		
	ドイツ語初級SB3	1③	0.5			○								兼1		
	ドイツ語初級SB4	1④	0.5			○								兼1		
	ドイツ語中級C1	2①	0.5			○		3	1					兼3		
	ドイツ語中級C2	2②	0.5			○		3	1					兼3		
	フランス語初級A1	1①	0.5			○		6	3					兼11		
	フランス語初級A2	1②	0.5			○		6	3					兼11		
	フランス語初級B1	1①	0.5			○								兼20		
	フランス語初級B2	1②	0.5			○								兼20		
	フランス語初級A3	1③	0.5			○		7	2					兼11		
フランス語初級A4	1④	0.5			○		7	2					兼11			
フランス語初級B3	1③	0.5			○								兼20			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
全学共通科目	外国語第Ⅱ	フランス語初級B4	1④		0.5			○								兼20	
		フランス語初級SA3	1③		0.5			○								兼1	
		フランス語初級SA4	1④		0.5			○								兼1	
		フランス語初級SB3	1③		0.5			○								兼1	
		フランス語初級SB4	1④		0.5			○								兼1	
		フランス語中級C1	2①		0.5			○		4						兼3	
		フランス語中級C2	2②		0.5			○		4						兼3	
		中国語初級A1	1①		0.5			○				1				兼29	
		中国語初級A2	1②		0.5			○				1				兼29	
		中国語初級B1	1①		0.5			○			2	2				兼26	
		中国語初級B2	1②		0.5			○			2	2				兼26	
		中国語初級A3	1③		0.5			○				2				兼28	
		中国語初級A4	1④		0.5			○				2				兼28	
		中国語初級B3	1③		0.5			○		3	2	1				兼24	
		中国語初級B4	1④		0.5			○		3	2	1				兼24	
		中国語初級SA3	1③		0.5			○								兼1	
		中国語初級SA4	1④		0.5			○								兼1	
		中国語初級SB3	1③		0.5			○								兼1	
		中国語初級SB4	1④		0.5			○								兼1	
		中国語中級C1	2①		0.5			○		2		2				兼6	
	中国語中級C2	2②		0.5			○		2		2				兼6		
	ロシア語初級A1	1①		0.5			○				2				兼2		
	ロシア語初級A2	1②		0.5			○				2				兼2		
	ロシア語初級B1	1①		0.5			○					2			兼4		
	ロシア語初級B2	1②		0.5			○					2			兼4		
	ロシア語初級A3	1③		0.5			○					2			兼2		
	ロシア語初級A4	1④		0.5			○					2			兼2		
	ロシア語初級B3	1③		0.5			○						2		兼4		
	ロシア語初級B4	1④		0.5			○							2	兼4		
	ロシア語中級C1	2①		0.5			○								兼2		
	ロシア語中級C2	2②		0.5			○								兼2		
	小計 (52科目)		—	0	26	0			—	11	4	2	0	0	兼63	—	
	外国語第Ⅲ	第三外国語(ドイツ語)T1	2①		0.5				○								
		第三外国語(ドイツ語)T2	2②		0.5				○								
		第三外国語(ドイツ語)T3	2③		0.5				○								
		第三外国語(ドイツ語)T4	2④		0.5				○								
		第三外国語(フランス語)T1	2①		0.5				○								
		第三外国語(フランス語)T2	2②		0.5				○								
		第三外国語(フランス語)T3	2③		0.5				○			1					
		第三外国語(フランス語)T4	2④		0.5				○			1					
		第三外国語(韓国語)T1	2①		0.5				○							兼2	
		第三外国語(韓国語)T2	2②		0.5				○							兼2	
		第三外国語(韓国語)T3	2③		0.5				○							兼2	
		第三外国語(韓国語)T4	2④		0.5				○							兼2	
		第三外国語(スペイン語)T1	2①		0.5				○							兼1	
		第三外国語(スペイン語)T2	2②		0.5				○							兼1	
		第三外国語(スペイン語)T3	2③		0.5				○							兼1	
		第三外国語(スペイン語)T4	2④		0.5				○							兼1	
		第三外国語(イタリア語)T1	2①		0.5				○							兼1	
		第三外国語(イタリア語)T2	2②		0.5				○							兼1	
		第三外国語(イタリア語)T3	2③		0.5				○							兼1	
		第三外国語(イタリア語)T4	2④		0.5				○							兼1	
小計 (20科目)		—	0	10	0			—	2	1	0	0	0	兼3	—		
健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学講義A	1③		1				○							兼20		
	健康・スポーツ科学講義B	1③		1				○							兼19		
	健康・スポーツ科学講義C	1③		1				○							兼12		
	健康・スポーツ科学実習基礎1	1①	0.5												兼55		
	健康・スポーツ科学実習基礎2	1②	0.5												兼55		
	健康・スポーツ科学実習1	1③		0.5											兼33		
	健康・スポーツ科学実習2	1④		0.5											兼33		
	小計 (7科目)		—	1	4	0			—	0	0	0	0	0	兼55	—	
科情報	情報基礎	1①		1				○							兼40		
	小計 (1科目)		—	1	0	0			—	4	2	0	0	0	兼28	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	情報科学概論	1前	2			○			2	1					兼1	オムニバス 集中
	情報科学演習I	1後	2				○		2	2					兼1	
	情報科学演習II	2前		2			○			1					兼1	
	情報科学演習III	2後		2			○		1	1					兼1	
	English for Academic Purposes	1前		1			○								兼2	
	Academic Writing	1後		1			○			1					兼2	
	TOEFL演習	1後		1			○								兼1	
	スピーチ入門I	1前		1			○								兼1	
	スピーチ入門II	1後		1			○								兼1	
	現代コリア語I	1後		1			○								兼1	
	現代コリア語II	2前		1			○								兼1	
	専門基礎英語(文章表現, 会話)I	2前	1				○				2				兼2	
	専門基礎英語(文章表現, 会話)II	2後	1				○				2				兼2	
	ドイツ語会話I	2前		1			○								兼1	
	ドイツ語会話II	2後		1			○								兼1	
	フランス語会話I	2前		1			○								兼1	
	フランス語会話II	2後		1			○								兼1	
	中国語会話I	2前		1			○					1				
	中国語会話II	2後		1			○					1				
	ロシア語会話I	2前		1			○								兼1	
	ロシア語会話II	2後		1			○								兼1	
	ラテン語入門I	2前		1			○					1				
	ラテン語入門II	2後		1			○					1				
	英語文章表現(上級)	3前		1			○					1			兼2	
	英会話(上級)I	3前		1			○					1			兼2	
	英会話(上級)II	3後		1			○					1			兼2	
	専門諸言語	2前後, 3前後		1			○			2	1					
	日本語コミュニケーション	1後		2			○								兼1	
	国際コミュニケーション演習I	1後		2			○					1				
	国際コミュニケーション演習II	2前		2			○					1				
	国際コミュニケーション演習III	1後		2			○					1				
	国際コミュニケーション演習IV	2前		2			○					1				
	Cultures and Societies in Japan I	1後		2			○								兼1	
	Cultures and Societies in Japan II	2前		2			○								兼1	
	Cultures and Societies in Japan III	1後		2			○					1				
	Cultures and Societies in Japan IV	2前		2			○					1				
	English Summer Camp (Oxbridge) I	1前		1					○	1						
	English Summer Camp (Oxbridge) II	2前		1					○	1						
	English Summer Camp (Oxbridge) III	3前		1					○	1						
	海外研修	1前～4後		1					○	3						
	国際文化特殊講義	1前後, 2前		2			○			2					兼1	
	グローバルキャリア特殊講義	2後		2			○								兼1	
	Aspects of EU Culture and Society (Lecture)	2前		2			○								兼1	
	Aspects of EU Culture and Society (Seminar)	2後		2				○							兼1	
	日欧比較セミナーI	2前		2				○							兼1	
日欧比較セミナーII	2後		2				○							兼1		
日欧比較セミナーIII	3前		2				○							兼1		
Academic Communication (独)	2後		2				○							兼1		
Academic Communication (仏)	2後		2				○							兼1		
Academic Writing (独)	3前		2				○							兼1		
Academic Writing (仏)	3前		2				○							兼1		
EUエキスパート人材養成プログラム特別講義	1前～4後		2			○								兼2		
国際文化化学実習	1前		2					○						兼1		
外国語実習	1前～4後		1					○	1							
インターシップ実習	1前～4後		2					○	1							
国際人権論	2前		2			○								兼1		
初年次セミナー	1前		1				○		9	3						
基礎ゼミ	1前		1				○		9	3						
専門基礎演習	1後		2				○		2	3				兼2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	外国語演習	2前後, 3前後		2			○		12	2	1			兼2	集中
	資料講読演習	2後, 3後		2			○			1					
	専門演習A	2前		2			○		18	7	1				
	専門演習B	2後, 3前後		2			○		41	18	1				
	卒論演習	4前後	2				○		41	18	1				
	卒業研究	4通	10				○		41	18	1				
	情報コミュニケーション概論	1前		2			○		1	2				兼1	
	言語構造論	1後		2			○								
	言語表現論	2前		2			○		1						
	言語機能論	2前		2			○		1						
	言語間コミュニケーション論	2後		2			○		1						
	第二言語習得基礎論	2前		2			○		1						
	非言語コミュニケーション論	1後		2			○			1					
	音声コミュニケーション論	2後		2			○		1						
	感性文法論	3前		2			○		1						
	言語脳科学	2後		2			○		1						
	対人コミュニケーション論	2前		2			○		1						
	情報環境論	1後		2			○		1						
	メディア情報処理	2前		2				○	1						
	統計情報処理	2後		2				○	1						
	情報資料構成論	3前		2			○			1					
	プログラミング基礎	3前		2							1				
	現代文化概論	1前		2			○		6	1					
	近代社会思想論	1後		2			○		1						
	近代経済思想論	2後		2			○		1						
	近代政治思想論	2前		2			○			1					
	近代表象文化論	2前		2			○		1						
	近代文化言説論	2後		2			○			1					
	現代社会理論	2後		2			○		1						
	メディア文化論	2前		2			○		1						
	バイオエシックス	2後		2			○		1						
	環境倫理学	2前		2			○		1						
	ジェンダー文化論	1後		2			○							兼1	
	ジェンダー社会論	2前		2			○		1						
	現代アート論	2前		2			○			1					
	視覚文化論	1前		2			○		1						
	芸術文化環境論	2後		2			○		1						
	芸術文化形成論	2前		2			○		1						
	モダニズム芸術論	2前		2			○							兼1	
	芸術文化社会論	2後		2			○			1					
	アートプロジェクト	2後		2				○						兼1	
	アートマネジメント実習	2前		2									○	兼1	
	文化施設制度論	2前		2			○							兼1	
	異文化コミュニケーション概論	1前		2			○		3	2					
	文化人類学	1前		2			○			1					
文化混交論	2後		2			○			1						
民族誌学	2後		2			○		1							
民族学	2前		2			○		1							
国際関係論	1後		2			○		1							
ガバナンス論	2前		2			○		1							
多文化政治社会論	2後		2			○			1						
平和構築論	2前		2			○			1						
比較政策論	2前		2			○			1						
比較文明論	1後		2			○							兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	テノ文明論	2前		2		○			1						兼1
	翻訳文化形成論	2前		2		○			1						
	現代越境文化論	2後		2		○			1						
	文化様式成立論	2前		2		○				1					
	地域文化概論	1前		2		○				1					
	日本近現代社会論	2後		2		○			1						
	日本伝承文化論	1後		2		○									
	日本語文化論	2前		2		○				1					
	日本文化交流論	2前		2		○			1						
	日本文化表象論	2前		2		○				1					
	東アジア社会経済論	2後		2		○				1					
	中国社会システム論	1前		2		○			1						
	北アジア社会文化論	2前		2		○			1						
	東南アジア国家形成論	2後		2		○			1						
	東南アジア宗教・社会論	2後		2		○				1					
	オセアニア社会文化論	2前		2		○			1						
	環大西洋文化論	1後		2		○				1					
	ヨーロッパ市民社会論	2前		2		○			1						
	ヨーロッパ女性文化論	2後		2		○			1						
	スラブ文化論	2前		2		○					1				
アメリカ多元文化表現論	2後		2		○			1							
現代アメリカ論	2前		2		○				1						
ヨーロッパ・アメリカ宗教文化論	2後		2		○			1							
小計(136科目)		—	20	230	0	—			41	21	2	0	0	兼31	
目資格免許のための科	英米文学概論	2前			2	○			1						
	博物館概論	2前		2		○								兼1	
	博物館経営論	2後		2		○								兼1	
	博物館展示論	2前		2		○								兼1	
	博物館情報・メディア論	2後		2		○								兼1	
	博物館実習	2前			2			○	1					兼1	
小計(6科目)		—	0	8	4	—		2	0	0	0	0	兼5		
合計(363科目)		—	26	409.5 又は 410.5	4	—			41	21	2	0	0	兼36	
学位又は称号	学士(国際文化学)	学位又は学科の分野						文学関係, 教育学・保育学関係, 法学関係, 経済学関係, 社会学・社会福祉学関係, 工学関係, 美術関係, 体育関係							

教育課程等の概要																
(既設 発達科学部人間形成学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学共通科目	基礎教養科目 社会科学系	法学A	1②-2④		1		○								兼4	
		法学B	1②-2④		1		○								兼4	
		政治学A	1②-2④		1		○								兼4	
		政治学B	1②-2④		1		○								兼4	
		経済学A	1②-2④		1		○								兼4	
		経済学B	1②-2④		1		○								兼4	
		社会学	1②-2④		1		○								兼6	
		地理学	1②-2④		1		○								兼6	
	小計 (8科目)		-	0	8	0	-			0	0	0	0	0	兼18	-
	生命科学系	医学A	1②-2④		1		○								兼1	
		医学B	1②-2④		1		○								兼1	
		保健学A	1②-2④		1		○								兼5	
		保健学B	1②-2④		1		○								兼1	
		健康科学A	1②-2④		1		○								兼1	
		健康科学B	1②-2④		1		○								兼6	
		生物学A	1②-2④		1		○								兼5	共同
		生物学B	1②-2④		1		○								兼6	共同
	生物学C	1②-2④		1		○								兼4		
	小計 (9科目)		-	0	9	0	-			0	0	0	0	0	兼26	-
	自然科学系	数学A	1②-2④		1		○								兼8	
		数学B	1②-2④		1		○								兼8	
		数学C	1②-2④		1		○								兼4	
		物理学A	1②-2④		1		○								兼2	
		物理学B	1②-2④		1		○								兼2	
		化学A	1②-2④		1		○								兼4	オムニハス
		化学B	1②-2④		1		○								兼4	オムニハス
		化学C	1②-2④		1		○								兼4	オムニハス
		化学D	1②-2④		1		○								兼4	オムニハス
		惑星学A	1②-2④		1		○								兼8	オムニハス
		惑星学B	1②-2④		1		○								兼8	オムニハス
惑星学C		1②-2④		1		○								兼8	オムニハス	
情報学A		1②-2④		1		○								兼4		
情報学B		1②-2④		1		○								兼4		
小計 (14科目)		-	0	14	0	-			1	0	0	0	0	兼55	-	
総合教養科目	(1) 多文化理解	文学A	1②-2④		1		○							兼4		
		文学B	1②-2④		1		○							兼14		
		言語科学A	1②-2④		1		○								兼6	
		言語科学B	1②-2④		1		○								兼2	
		芸術と文化A	1②-2④		1		○								兼8	
		芸術と文化B	1②-2④		1		○								兼12	
		日本史A	1②-2④		1		○								兼6	
		日本史B	1②-2④		1		○								兼6	
		東洋史A	1②-2④		1		○								兼2	
		東洋史B	1②-2④		1		○								兼2	
		アジア史A	1②-2④		1		○								兼4	
		アジア史B	1②-2④		1		○								兼4	
		西洋史A	1②-2④		1		○								兼4	
		西洋史B	1②-2④		1		○								兼4	
		考古学A	1②-2④		1		○								兼2	
		考古学B	1②-2④		1		○								兼2	
		芸術史A	1②-2④		1		○								兼2	
		芸術史B	1②-2④		1		○								兼2	
		美術史A	1②-2④		1		○								兼1	
		美術史B	1②-2④		1		○								兼1	
		科学史A	1②-2④		1		○								兼5	
		科学史B	1②-2④		1		○								兼5	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
全学共通科目	(1) 多文化理解	社会思想史	1②-2④		1		○									兼4	
		文化人類学	1②-2④		1		○									兼8	
		現代社会論A	1②-2④		1		○									兼1	
		現代社会論B	1②-2④		1		○									兼7	
		越境する文化	1②-2④		1		○									兼4	
		生活環境と技術	1②-2④		1		○									兼4	
		学校教育と社会	1②-2④		1		○									兼8	
		か好の文化学A	1②-2④		1		○									兼1	
		か好の文化学B	1②-2④		1		○									兼1	
	小計 (31科目)		—	0	31	0	—		1	0	0	0	0	0	兼57	—	
	(2) 自然界の成り立ち	科学技術と倫理	1②-2④		1		○									兼4	
		現代物理学が描く世界	1②-2④		1		○									兼4	
		身近な物理法則	1②-2④		1		○									兼4	
		か好の自然学	1②-2④		1		○									兼1	
		ものづくりと科学技術A	1②-2④		1		○									兼4	オムニバ`ス
		ものづくりと科学技術B	1②-2④		1		○									兼4	オムニバ`ス
		生命科学A	1②-2④		1		○									兼1	
		生命科学B	1②-2④		1		○									兼1	
		生物資源と農業A	1②-2④		1		○									兼3	オムニバ`ス
		生物資源と農業B	1②-2④		1		○									兼3	オムニバ`ス
		生物資源と農業C	1②-2④		1		○									兼5	オムニバ`ス
		生物資源と農業D	1②-2④		1		○									兼4	オムニバ`ス
	小計 (12科目)		—	0	12	0	—		0	0	0	0	0	0	兼29	—	
	(3) グローバルイシュー	環境学入門A	1②-2④		1		○									兼1	
		環境学入門B	1②-2④		1		○									兼1	
		社会と人権A	1②-2④		1		○									兼4	
		社会と人権B	1②-2④		1		○									兼4	
		男女共同参画とジェンダー-A	1②-2④		1		○									兼2	オムニバ`ス
		男女共同参画とジェンダー-B	1②-2④		1		○									兼2	オムニバ`ス
		グローバルリダーシップ 育成基礎演習	1②-2④		2		○									兼2	共同
		EU基礎論	1②-2④		1		○									兼5	オムニバ`ス
国際協力の現状と課題A		1②-2④		1		○									兼10		
国際協力の現状と課題B		1②-2④		1		○									兼8		
政治と社会		1②-2④		1		○									兼8		
社会生活と法		1②-2④		1		○									兼8		
国家と法		1②-2④		1		○									兼10		
現代の経済A		1②-2④		1		○									兼10		
現代の経済B		1②-2④		1		○									兼10		
経済社会の発展		1②-2④		1		○									兼4		
企業と経営		1②-2④		1		○									兼4		
地球史における生物の変遷		1②-2④		1		○									兼3		
生物の環境適応		1②-2④		1		○									兼3		
人間活動と地球生態系		1②-2④		1		○									兼2		
食と健康A		1②-2④		1		○									兼7	オムニバ`ス	
食と健康B	1②-2④		1		○									兼8	オムニバ`ス		
資源・材料とエネルギー-A	1②-2④		1		○									兼6	オムニバ`ス		
資源・材料とエネルギー-B	1②-2④		1		○									兼7	オムニバ`ス		
小計 (24科目)		—	0	25	0	—		0	0	0	0	0	0	兼72	—		
(4) ESD	ESD基礎(持続可能な社会づくり1)A	1②-2④		1		○				1							
	ESD基礎(持続可能な社会づくり1)B	1②-2④		1		○											
	ESD論(持続可能な社会づくり2)A	1②-2④		1		○				1							
	ESD論(持続可能な社会づくり2)B	1②-2④		1		○				1							
	ESD生涯学習論A	1②-2④		1		○											
	ESD生涯学習論B	1②-2④		1		○											
	ESDポ`ランティア論	1②-2④		1		○				1					兼1	オムニバ`ス・共同(一部)	
小計 (7科目)		—	0	7	0	—		1	0	0	0	0	0	兼1	—		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学 共通 科目	(5) キャリア 科目	企業社会論A	1②-2④		1		○								兼2	オムニバス
		企業社会論B	1②-2④		1		○									オムニバス
		職業と学び-キャリアデザインを考えるA	1②-2④		1		○								兼1	
		職業と学び-キャリアデザインを考えるB	1②-2④		1		○								兼1	
		社会基礎学(グローバル人材に不可欠な教養)	1②-2④		2		○								兼1	
		ボランティアと社会貢献活動A	1②-2④		1		○								兼1	
		ボランティアと社会貢献活動B	1②-2④		1		○								兼1	
		グローバルチャレンジ実習	1②-2④		1又は2										兼13	
	小計(8科目)	—	0	9又は10	0	—		0	0	0	0	0	0	兼15	—	
	(6) 神戸学	神戸大学史A	1②-2④		1		○								兼4	オムニバス
		神戸大学史B	1②-2④		1		○								兼4	オムニバス
		神戸大学の研究最前線A	1②-2④		1		○								兼18	
		神戸大学の研究最前線B	1②-2④		1		○								兼18	
		阪神・淡路大震災A	1②-2④		1		○								兼9	オムニバス
		阪神・淡路大震災B	1②-2④		1		○								兼9	オムニバス
海への誘い		1②-2④		2		○								兼1		
瀬戸内海学入門		1②-2④		2		○								兼1		
小計(8科目)	—	0	10	0	—		0	0	0	0	0	0	兼48	—		
外国 語科 目	外国語第I	English Communication A1	1①	0.5			○								兼65	
		English Communication A2	1②	0.5			○								兼65	
		English Communication B1	1③	0.5			○								兼79	
		English Communication B2	1④	0.5			○								兼79	
		English Literacy A1	1①	0.5			○								兼65	
		English Literacy A2	1②	0.5			○								兼65	
		English Literacy B1	1③	0.5			○								兼79	
		English Literacy B2	1④	0.5			○								兼79	
		Productive English 1	2①	0.5			○								兼18	
		Productive English 2	2②	0.5			○								兼18	
		Autonomous English 1	2①	0.5			○								兼18	
		Autonomous English 2	2②	0.5			○								兼18	
		Advanced English A1	2①・2③	0.5			○									
		Advanced English A2	2②・2④	0.5			○									
		Advanced English B	2①-2④	0.5			○									
		Advanced English C	2①・2②	1			○									
		Advanced English GEC(海外研修)	1③・1④	1			○									兼1
		Advanced English GEC(プレゼンテーション)1	2①-2④	0.5			○									
		Advanced English GEC(プレゼンテーション)2	2①-2④	0.5			○									
		Advanced English GEC(ライティング)1	2①-2④	0.5			○									
		Advanced English GEC(ライティング)2	2①-2④	0.5			○									
		Advanced English GEC(ディスカッション)1	2①-2④	0.5			○									
		Advanced English GEC(ディスカッション)2	2①-2④	0.5			○									
小計(23科目)	—	4	8.5	0	—		0	0	0	0	0	0	兼77	—		
外国 語第II	ドイツ語初級A1	1①		0.5			○							兼29		
	ドイツ語初級A2	1②		0.5			○							兼29		
	ドイツ語初級B1	1①		0.5			○							兼29		
	ドイツ語初級B2	1②		0.5			○							兼29		
	ドイツ語初級A3	1③		0.5			○							兼29		
	ドイツ語初級A4	1④		0.5			○							兼29		
	ドイツ語初級B3	1③		0.5			○							兼29		
	ドイツ語初級B4	1④		0.5			○							兼29		
	ドイツ語初級SA3	1③		0.5			○							兼1		
	ドイツ語初級SA4	1④		0.5			○							兼1		
	ドイツ語初級SB3	1③		0.5			○							兼1		
	ドイツ語初級SB4	1④		0.5			○							兼1		
	ドイツ語中級C1	2①		0.5			○							兼7		
	ドイツ語中級C2	2②		0.5			○							兼7		
	フランス語初級A1	1①		0.5			○							兼20		
	フランス語初級A2	1②		0.5			○							兼20		
フランス語初級B1	1①		0.5			○							兼20			
フランス語初級B2	1②		0.5			○							兼20			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
全学 共通科目	外国語第Ⅱ	フランス語初級A3	1③	0.5			○								兼20		
		フランス語初級A4	1④	0.5			○								兼20		
		フランス語初級B3	1③	0.5			○								兼20		
		フランス語初級B4	1④	0.5			○								兼20		
		フランス語初級SA3	1③	0.5			○								兼1		
		フランス語初級SA4	1④	0.5			○								兼1		
		フランス語初級SB3	1③	0.5			○								兼1		
		フランス語初級SB4	1④	0.5			○								兼1		
		フランス語中級C1	2①	0.5			○									兼7	
		フランス語中級C2	2②	0.5			○									兼7	
		中国語初級A1	1①	0.5			○									兼30	
		中国語初級A2	1②	0.5			○									兼30	
		中国語初級B1	1①	0.5			○									兼30	
		中国語初級B2	1②	0.5			○									兼30	
		中国語初級A3	1③	0.5			○									兼30	
		中国語初級A4	1④	0.5			○									兼30	
		中国語初級B3	1③	0.5			○									兼30	
		中国語初級B4	1④	0.5			○									兼30	
		中国語初級SA3	1③	0.5			○									兼1	
		中国語初級SA4	1④	0.5			○									兼1	
		中国語初級SB3	1③	0.5			○									兼1	
		中国語初級SB4	1④	0.5			○									兼1	
		中国語中級C1	2①	0.5			○									兼10	
		中国語中級C2	2②	0.5			○									兼10	
		ロシア語初級A1	1①	0.5			○									兼4	
		ロシア語初級A2	1②	0.5			○									兼4	
		ロシア語初級B1	1①	0.5			○									兼4	
		ロシア語初級B2	1②	0.5			○									兼4	
		ロシア語初級A3	1③	0.5			○									兼4	
		ロシア語初級A4	1④	0.5			○									兼4	
		ロシア語初級B3	1③	0.5			○									兼4	
		ロシア語初級B4	1④	0.5			○									兼4	
	ロシア語中級C1	2①	0.5			○									兼2		
	ロシア語中級C2	2②	0.5			○									兼2		
	小計 (52科目)		—	0	26	0		—		0	0	0	0	0	0	兼80	—
	第Ⅲ外国語	第三外国語(ドイツ語)T1	2①		0.5			○								兼1	
		第三外国語(ドイツ語)T2	2②		0.5			○								兼1	
		第三外国語(ドイツ語)T3	2③		0.5			○								兼1	
		第三外国語(ドイツ語)T4	2④		0.5			○								兼1	
		第三外国語(フランス語)T1	2①		0.5			○								兼1	
		第三外国語(フランス語)T2	2②		0.5			○								兼1	
		第三外国語(フランス語)T3	2③		0.5			○								兼1	
		第三外国語(フランス語)T4	2④		0.5			○								兼1	
		第三外国語(韓国語)T1	2①		0.5			○								兼2	
		第三外国語(韓国語)T2	2②		0.5			○								兼2	
		第三外国語(韓国語)T3	2③		0.5			○								兼2	
		第三外国語(韓国語)T4	2④		0.5			○								兼2	
		第三外国語(スペイン語)T1	2①		0.5			○								兼1	
		第三外国語(スペイン語)T2	2②		0.5			○								兼1	
		第三外国語(スペイン語)T3	2③		0.5			○								兼1	
		第三外国語(スペイン語)T4	2④		0.5			○								兼1	
		第三外国語(イタリア語)T1	2①		0.5			○								兼1	
第三外国語(イタリア語)T2		2②		0.5			○								兼1		
第三外国語(イタリア語)T3		2③		0.5			○								兼1		
第三外国語(イタリア語)T4		2④		0.5			○								兼1		
小計 (20科目)		—	0	10	0		—		0	0	0	0	0	0	兼6	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学共通科目	健康・スポーツ科学講義A	1③		1		○									兼20	
	健康・スポーツ科学講義B	1③		1		○									兼19	
	健康・スポーツ科学講義C	1③		1		○									兼12	
	健康・スポーツ科学実習基礎1	1①	0.5					○	2						兼53	
	健康・スポーツ科学実習基礎2	1②	0.5					○	2						兼53	
	健康・スポーツ科学実習1	1③		0.5				○	1						兼32	
	健康・スポーツ科学実習2	1④		0.5				○	1						兼32	
小計 (7科目)		—	1	4	0	—			1	0	0	0	0	兼54	—	
科目情報	情報基礎	1①	1				○								兼56	
	小計 (1科目)	—	1	0	0	—			0	0	0	0	0	兼34	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	初年次セミナー	1①	1			○			4	4					
	発達科学への招待	1②	1			○			3	5					
	ESD演習I(環境発達学)	2前			2		○		1						
	ESD演習II(環境発達学)	2後			2		○		1						
	ESD実践論	3後			2	○			1						
	異文化理解	1後			2	○					1				
	海外実習A	1前～4後			1			○							
	海外実習B	1前～4後			2			○							
	外国語実習	1前～4後			1			○							
	海外インターンシップ実習	1前～4後			1			○							
	小計(10科目)	-	2	0	13		-		10	9	1	0	0	0	
学科共通科目	心理学入門	1前	2			○				1					
	発達心理学概論	1後	2			○				1					
	子ども発達論	1前	2			○			1						
	子ども教育論	1後	2			○				1					
	教育学概論	1前	2			○				1					
	道徳教育論	2後	2			○			2	1					
	乳幼児発達論	2後	2			○			1						
	幼児精神衛生論	3後	2			○			1						
	児童心理学	2前	2			○			1						
	青年心理学	2後	2			○				1					
	児童青年精神医学	2後	2			○								兼1	
	発達障害心理学1	2前	2			○								兼1	
	発達障害臨床学1	2前	2			○			1						
	教育心理学	1後	2			○				1					
	相談心理学	2前	2			○				1					
	臨床心理学	1後	2			○			1					兼1	
	カウンセリング	3前	2			○			1						
	認知発達論	2後	2			○				1					
	異文化教育論	1前	2			○					1				
	算数教育論	2前	2			○			1						
	初等体育論	2後	2			○			1						
	音楽表現発達論	2前	2			○			1						
	造形表現発達論	2前	2			○			1		1				
	児童言語教育論	2前	2			○				1					
	生涯学習論	1前	2			○			1						
	教育アセスメント入門	1後	2			○			1						
教育人間学	2前	2			○								兼1		
教職論	1後	2			○			1							
教育制度概説	2後	2			○								兼1		
科学技術社会と教育	3後	2			○				1						
情報化社会と教育	3前	2			○			1							
初等社会科教育論	2後	2			○			1							
人間形成学特講	3前	2			○								兼1		
発達支援論研究	2後	2			○			3							
	小計(34科目)	-	68	0	0		-		21	11	2	0	0	兼6	
心理発達論コース	心理学研究法1A	2前	2				○			1					
	心理学研究法1B	2後	2				○			1					
	心理学研究法2A	3前	2				○			1					
	心理学研究法2B	3後	2				○			1					
	心理学研究法3A	4前	2				○								
	心理学研究法3B	4後	2				○			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
専門科目	心理発達論コース	外書講読	2前	2				○		1								
	心理検査法1	2前	2					○		1								
	心理検査法2	3前		2				○		1								
	心理検査法3	3後		2				○			1							
	心理統計法1	2前		2			○				1							
	心理統計法2	2後		2			○				1							
	生涯発達心理学	3前		2			○				1							
	人格形成論	3前		2			○				1							
	人間関係発達論	2前		2			○			1								
	教育発達心理学	2後		2			○			1								
	深層心理学	2後		2			○											兼1
	障害児発達学	2後		2			○											兼1
	発達障害心理学2	2後		2			○				1							
	発達障害臨床学2	2後		2			○			1								
	科学教育論	2後		2			○			1								
	障害児指導学	3後		2			○			1								
	子ども社会論	2・3前		2			○										兼1	集中・隔年
	心理発達論演習A	3後		2			○				1							
	心理発達論演習B	3前		2			○				1							
	心理発達論演習C	3後		2			○				1							
知的障害の心理・生理・病理演習	3後		2			○				1								
卒業研究	4通		10						4	6								
	小計(28科目)	-	26	38	0			-	12	21	0	0	0			兼3		
子ども発達論コース	子どもの発達	2前	2					○		1								
	子どもの心と教育	2前	2					○			1							
	子どもと生活	2後	2					○		1								
	子どものからだづくり	2前	2					○		1								
	子どもの認識	2後	2					○		1								
	子どもの表現	2前	2					○				1						
	子どもの表現教育	2後	2					○		1								
	子どもとメディア	2後	2					○			1							
	子どもの発達支援	2後	2					○		1								
	外書講読	3後	2						○	5	2							
	子ども発達論演習1	3前	2						○	5	2							
	子ども発達論演習2	3後	2						○	5	2							
	子ども発達研究法1	4前	2						○	5	2							
	子ども発達研究法2	4後	2						○	5	2							
	数理認識発達論	3後		2				○		1								
	子どもスポーツ論	3前		2				○		1								
	幼年音楽論	3後		2				○		1								
	美術教育史論	3前		2				○		1								
	乳幼児認知発達論	3前		2				○		1								
	造形発達論	3後		2				○				1						
	児童文学論	3後		2				○			1							
	児童福祉論	2・3前		2				○									兼1	集中・隔年
	子ども社会論	2・3前		2				○									兼1	集中・隔年
	心理統計法1	2前		2				○			1							
	心理統計法2	2後		2				○			1							
	人間関係発達論	2前		2				○		1								
教育制度	2後		2				○			1								
健康行動科学	3前		2				○				1							
異言語指導論	2後		2				○										兼1	
卒業研究	4通		10						5	2								
	小計(30科目)	-	38	30	0			-	42	18	3	0	0			兼3		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	教育学研究法1	2前	2				○		1							
	教育学研究法2	2後	2				○				1					
	教育学研究法3	2前	2				○			1						
	教育学研究法4	2後	2				○		1							
	教育学研究法5	2前	2				○		1							
	教育学研究法6	2前	2				○		1							
	教育学研究法7	2前	2				○		1							
	教育学研究法8	2後	2				○			1						
	外書講読	2後	2				○		1							
	教育科学論演習1	3前	2				○		5	3	2					
	教育科学論演習2	3後	2				○		5	3	2					
	教育科学研究1	4前	2				○		5	3	2					
	教育科学研究2	4後	2				○		5	3	2					
	教育思想史	2後		2			○		1							
	日本教育史	2前		2			○		1							
	教育制度	2後		2			○			1						
	教育法	3前		2			○			1						
	教育政策	2前		2			○		1							
	教育行政学	2後		2			○		1							
	教育方法学	2前		2			○			1						
	学習指導論	2前		2			○		1							
	生活指導論	3前		2			○			1						
	科学教育論	2後		2			○		1							
	カリキュラム論	2前		2			○			1						
	社会科教育方法論	2前		2			○			1						
	社会教育論	2前		2			○		1							
	社会教育計画論	2後		2			○		1							
	授業デザイン論	2前		2			○			1						
	教師教育史論	3前		2			○		1							
	教育哲学	2前		2			○		1							
	異言語指導論	2後		2			○								兼1	
	子どもの表現	2前		2			○				1					
	造形発達論	3後		2			○				1					
	卒業研究	4通		10					5	3	2					
	小計(34科目)		-	36	40	0		-	41	24	13	0	0		兼1	
学校教育論コース	教育哲学	2前	2				○									
	学習指導論	2前	2				○		1							
	教育政策	2前	2				○		1							
	幼児教育内容論	3前	2				○			1						
	学習障害等教育総論	2後	2				○								兼1	
	異言語指導論	2後	2				○								兼1	
	学校教育資料調査法	3後	2					○	10	5	2					
	特別支援教育学	3後		2				○							兼1	
	視覚障害児発達学	3前		2				○							兼1	
	子ども発達論演習1	3前		2				○	5	3	2					
	教育科学論演習1	3前		2				○	5	2						
	子ども発達論演習2	3後		2				○	5	3	2					
	教育科学論演習2	3後		2				○	5	2						
	子ども発達研究法1	4前		2				○	5	3	2					
	教育科学研究1	4前		2				○	5	2						
	子ども発達研究法2	4後		2				○	5	3	2					
	教育科学研究2	4後		2				○	5	2						
	教育思想史	2後		2				○	1							
	自然教育論	2前		2				○	1							
	生活科教育論	2前		2				○	1							
	初等家政学概論	3後		2				○	1							
国語教育方法論	2後		2				○		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考					
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手						
専門科目	社会科学教育方法論	2前		2		○			1										
	理科教育方法論	3後		2		○				1									
	算数教育方法論	3前		2		○			1										
	生活科教育方法論	2前		2		○													
	家庭科教育方法論	3後		2		○												兼1	
	音楽表現教育方法論	2前		2		○												兼1	
	造形表現教育方法論	2後		2		○			1										
	運動教育方法論	3前		2		○			1										
	幼児音楽表現指導法	3前		2		○			1										
	幼児造形表現指導法	3後		2		○					1								兼1
	幼児環境指導法	2前		2		○			1	1									
	幼児健康指導法	2前		2		○													兼1
	幼児人間関係指導法	2後		2		○					1								
	幼児言語表現指導法	2後		2		○													兼1
	教師教育史論	3前		2		○			1										
	教育法	3前		2		○					1								
	教育行政学	2後		2		○			1										
	教育方法学	2後		2		○					1								
	生活指導論	3前		2		○					1								
	カリキュラム論	2前		2		○					1								
	授業デザイン論	2前		2		○					1								
	特別活動指導法	2後		2		○			1										
	障害児発達学	2後		2		○			2										
	障害児指導学	3後		2		○			1										
	発達障害心理学2	2後		2		○					1								
	発達障害臨床学2	2後		2		○			1										
	特別支援教育総論	2前		2		○			1										
	児童文学論	3後		2		○					1								
	卒業研究	4通		10					10	5	2								
	小計(51科目)		—	24	86	0	—		80	42	13	0	0					兼9	
	発達支援論コース	発達支援論研究	2後	2			○			3	1			1					
		発達支援論演習(ジエンター-研究・学習支援論)	3前		2			○											
発達支援論演習(労働・成人教育支援論)		3前		2			○												
発達支援論演習(子ども・家庭支援論)		3前		2			○		1										
発達支援論演習(ボランティア社会・学習支援論)		3前		2			○		1										
発達支援論演習(障害共生支援論)		3前		2			○		1										
発達支援研究法		3前	2				○		1										
小計(7科目)		—	4	10	0	—		7	1	0	1	0	0				0		
の資格免許のため	情報機器の操作	2前	1				○										兼1		
	保育学	1前		2		○											集中・隔年		
	家庭看護	2前		2		○											集中・隔年		
	博物館教育論	2前		2		○											兼1		
	博物館資料論	3後		2		○											兼1		
小計(5科目)			1	8	0			0	0	0	0	0	0				兼3		
合計(423科目)		—	205	385.5 又は 386.5	26	—		213	126	32	1	0					兼25		
学位又は称号	学士(発達科学)	学位又は学科の分野				文学関係, 教育学・保育学関係, 社会学・社会福祉学関係, 理学関係, 美術関係, 音楽関係, 体育関係													

教 育 課 程 等 の 概 要

（既設 発達科学部人間行動学科）

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手					
全 学 共 通 科 目	系人 文	倫理学	1②-2④		1		○									兼4		
		小計（1科目）	—	0	1	0	—		0	0	0	0	0	0	0	兼2	—	
	社 会 科 学 系	法学A	1②-2④		1		○										兼4	
		法学B	1②-2④		1		○										兼4	
		政治学A	1②-2④		1		○										兼4	
		政治学B	1②-2④		1		○										兼4	
		経済学A	1②-2④		1		○										兼4	
		経済学B	1②-2④		1		○										兼4	
		社会学	1②-2④		1		○										兼6	
		地理学	1②-2④		1		○										兼6	
		小計（8科目）	—	0	8	0	—		0	0	0	0	0	0	0	兼18	—	
	生 命 科 学 系	医学A	1②-2④		1		○										兼1	
		医学B	1②-2④		1		○										兼1	
		保健学A	1②-2④		1		○										兼5	
		保健学B	1②-2④		1		○										兼1	
		健康科学A	1②-2④		1		○										兼1	
		健康科学B	1②-2④		1		○										兼6	
		生物学A	1②-2④		1		○										兼5	共同
		生物学B	1②-2④		1		○										兼6	共同
		生物学C	1②-2④		1		○										兼4	
	小計（9科目）	—	0	9	0	—		0	0	0	0	0	0	0	兼26	—		
自 然 科 学 系	数学A	1②-2④		1		○										兼8		
	数学B	1②-2④		1		○										兼8		
	数学C	1②-2④		1		○										兼6		
	物理学A	1②-2④		1		○										兼2		
	物理学B	1②-2④		1		○										兼2		
	化学A	1②-2④		1		○										兼4	オムニハス	
	化学B	1②-2④		1		○										兼4	オムニハス	
	化学C	1②-2④		1		○										兼4	オムニハス	
	化学D	1②-2④		1		○										兼4	オムニハス	
	惑星学A	1②-2④		1		○										兼8	オムニハス	
	惑星学B	1②-2④		1		○										兼8	オムニハス	
	惑星学C	1②-2④		1		○										兼8	オムニハス	
	情報学A	1②-2④		1		○										兼4		
	情報学B	1②-2④		1		○										兼4		
	小計（14科目）	—	0	14	0	—		0	0	0	0	0	0	0	兼56	—		
総 合 教 養 科 目	(1) 多 文 化 理 解	教育と人間形成	1②-2④		1		○									兼3		
		文学A	1②-2④		1		○									兼4		
		文学B	1②-2④		1		○									兼14		
		言語科学A	1②-2④		1		○									兼6		
		言語科学B	1②-2④		1		○									兼2		
		芸術と文化A	1②-2④		1		○									兼10		
		芸術と文化B	1②-2④		1		○									兼12		
		日本史A	1②-2④		1		○									兼6		
		日本史B	1②-2④		1		○									兼6		
		東洋史A	1②-2④		1		○									兼2		
		東洋史B	1②-2④		1		○									兼2		
		アジア史A	1②-2④		1		○									兼4		
		アジア史B	1②-2④		1		○									兼4		
		西洋史A	1②-2④		1		○									兼4		
		西洋史B	1②-2④		1		○									兼4		
		考古学A	1②-2④		1		○									兼2		
		考古学B	1②-2④		1		○									兼2		
		芸術史A	1②-2④		1		○									兼2		
		芸術史B	1②-2④		1		○									兼2		
		美術史A	1②-2④		1		○									兼1		
美術史B	1②-2④		1		○									兼1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学共通科目	総合教養科目 （1）多文化理解	科学史A	1②-2④	1		○									兼5	
		科学史B	1②-2④	1		○									兼5	
		社会思想史	1②-2④	1		○									兼4	
		文化人類学	1②-2④	1		○									兼8	
		現代社会論A	1②-2④	1		○									兼1	
		現代社会論B	1②-2④	1		○				2					兼5	
		越境する文化	1②-2④	1		○									兼4	
		生活環境と技術	1②-2④	1		○									兼4	
		学校教育と社会	1②-2④	1		○									兼8	
		か好の文化学A	1②-2④	1		○									兼1	
		か好の文化学B	1②-2④	1		○									兼1	
	小計（32科目）	—	0	32	0	—			0	2	0	0	0	兼57	—	
	（2）自然界の成り立ち	科学技術と倫理	1②-2④	1		○									兼4	
		現代物理学が描く世界	1②-2④	1		○									兼4	
		身近な物理法則	1②-2④	1		○									兼4	
		か好の自然学	1②-2④	1		○									兼1	
		ものづくりと科学技術A	1②-2④	1		○									兼4	オムニバース
		ものづくりと科学技術B	1②-2④	1		○									兼4	オムニバース
		生命科学A	1②-2④	1		○									兼1	
		生命科学B	1②-2④	1		○									兼1	
		生物資源と農業A	1②-2④	1		○									兼3	オムニバース
		生物資源と農業B	1②-2④	1		○									兼3	オムニバース
		生物資源と農業C	1②-2④	1		○									兼5	オムニバース
	生物資源と農業D	1②-2④	1		○									兼4	オムニバース	
	小計（12科目）	—	0	12	0	—			0	0	0	0	0	兼29	—	
	（3）グローバルイシュー	環境学入門A	1②-2④	1		○									兼1	
		環境学入門B	1②-2④	1		○									兼1	
		社会と人権A	1②-2④	1		○									兼4	
		社会と人権B	1②-2④	1		○									兼4	
		男女共同参画とジェンダーA	1②-2④	1		○									兼2	オムニバース
		男女共同参画とジェンダーB	1②-2④	1		○									兼2	オムニバース
		グローバルリーダーシップ育成基礎演習	1②-2④	2		○									兼2	共同
		EU基礎論	1②-2④	1		○									兼5	オムニバース
国際協力の現状と課題A		1②-2④	1		○									兼10		
国際協力の現状と課題B		1②-2④	1		○									兼8		
政治と社会		1②-2④	1		○									兼8		
社会生活と法		1②-2④	1		○									兼8		
国家と法		1②-2④	1		○									兼10		
現代の経済A		1②-2④	1		○									兼10		
現代の経済B		1②-2④	1		○									兼10		
経済社会の発展		1②-2④	1		○									兼4		
企業と経営		1②-2④	1		○									兼4		
地球史における生物の変遷		1②-2④	1		○									兼3		
生物の環境適応		1②-2④	1		○									兼3		
人間活動と地球生態系	1②-2④	1		○									兼2			
食と健康A	1②-2④	1		○									兼7	オムニバース		
食と健康B	1②-2④	1		○									兼8	オムニバース		
資源・材料とエネルギーA	1②-2④	1		○									兼6	オムニバース		
資源・材料とエネルギーB	1②-2④	1		○									兼7	オムニバース		
小計（24科目）	—	0	25	0	—			0	0	0	0	0	兼72	—		
（4）ESD	ESD基礎(持続可能な社会づくり1)A	1②-2④	1		○									兼1		
	ESD基礎(持続可能な社会づくり1)B	1②-2④	1		○											
	ESD論(持続可能な社会づくり2)A	1②-2④	1		○									兼1		
	ESD論(持続可能な社会づくり2)B	1②-2④	1		○									兼1		
	ESD生涯学習論A	1②-2④	1		○											
	ESD生涯学習論B	1②-2④	1		○											
	ESDポランティア論	1②-2④	1		○									兼2	オムニバース・共同(一部)	
小計（7科目）	—	0	7	0	—			0	0	0	0	0	兼2	—		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学 共通科目	(5) キャリア科目	企業社会論A	1②-2④		1		○								兼2	オムニバス
		企業社会論B	1②-2④		1		○									オムニバス
		職業と学び-キャリアデザインを考えるA	1②-2④		1		○								兼1	
		職業と学び-キャリアデザインを考えるB	1②-2④		1		○								兼1	
		社会基礎学(グローバル人材に不可欠な教養)	1②-2④		2		○								兼1	
		ボランティアと社会貢献活動A	1②-2④		1		○								兼1	
		ボランティアと社会貢献活動B	1②-2④		1		○								兼1	
		グローバルチャレンジ実習	1②-2④		1又は2										兼13	
	小計(8科目)	—	0	9又は10	0	—	—	0	0	0	0	0	0	兼15	—	
	(6) 神戸学	神戸大学史A	1②-2④		1		○								兼4	オムニバス
		神戸大学史B	1②-2④		1		○								兼4	オムニバス
		神戸大学の研究最前線A	1②-2④		1		○								兼18	
		神戸大学の研究最前線B	1②-2④		1		○								兼18	
		阪神・淡路大震災A	1②-2④		1		○								兼9	オムニバス
		阪神・淡路大震災B	1②-2④		1		○								兼9	オムニバス
海への誘い		1②-2④		2		○								兼1		
瀬戸内海学入門		1②-2④		2		○								兼1		
小計(8科目)	—	0	10	0	—	—	0	0	0	0	0	0	兼48	—		
外国語科目	外国語第I	English Communication A1	1①	0.5			○								兼65	
		English Communication A2	1②	0.5			○								兼65	
		English Communication B1	1③	0.5			○								兼79	
		English Communication B2	1④	0.5			○								兼79	
		English Literacy A1	1①	0.5			○								兼65	
		English Literacy A2	1②	0.5			○								兼65	
		English Literacy B1	1③	0.5			○								兼79	
		English Literacy B2	1④	0.5			○								兼79	
		Productive English 1	2①	0.5			○								兼18	
		Productive English 2	2②	0.5			○								兼18	
		Autonomous English 1	2①	0.5			○								兼18	
		Autonomous English 2	2②	0.5			○								兼18	
		Advanced English A1	2①・2③	0.5			○									
		Advanced English A2	2②・2④	0.5			○									
		Advanced English B	2①-2④	0.5			○									
		Advanced English C	2①・2②	1			○									
		Advanced English GEC(海外研修)	1③・1④	1			○									兼1
		Advanced English GEC(プレゼンテーション)1	2①-2④	0.5			○									
		Advanced English GEC(プレゼンテーション)2	2①-2④	0.5			○									
		Advanced English GEC(ライティング)1	2①-2④	0.5			○									
		Advanced English GEC(ライティング)2	2①-2④	0.5			○									
		Advanced English GEC(ディスカッション)1	2①-2④	0.5			○									
		Advanced English GEC(ディスカッション)2	2①-2④	0.5			○									
小計(23科目)	—	4	8.5	0	—	—	0	0	0	0	0	0	兼77	—		
外国語第II	ドイツ語初級A1	1①		0.5			○							兼29		
	ドイツ語初級A2	1②		0.5			○							兼29		
	ドイツ語初級B1	1①		0.5			○							兼29		
	ドイツ語初級B2	1②		0.5			○							兼29		
	ドイツ語初級A3	1③		0.5			○							兼29		
	ドイツ語初級A4	1④		0.5			○							兼29		
	ドイツ語初級B3	1③		0.5			○							兼29		
	ドイツ語初級B4	1④		0.5			○							兼29		
	ドイツ語初級SA3	1③		0.5			○							兼1		
	ドイツ語初級SA4	1④		0.5			○							兼1		
	ドイツ語初級SB3	1③		0.5			○							兼1		
	ドイツ語初級SB4	1④		0.5			○							兼1		
	ドイツ語中級C1	2①		0.5			○							兼7		
	ドイツ語中級C2	2②		0.5			○							兼7		
	フランス語初級A1	1①		0.5			○							兼20		
フランス語初級A2	1②		0.5			○							兼20			
フランス語初級B1	1①		0.5			○							兼20			
フランス語初級B2	1②		0.5			○							兼20			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
全学 共通科目	外国語第Ⅱ	フランス語初級A3	1③	0.5			○								兼20		
		フランス語初級A4	1④	0.5			○								兼20		
		フランス語初級B3	1③	0.5			○								兼20		
		フランス語初級B4	1④	0.5			○								兼20		
		フランス語初級SA3	1③	0.5			○								兼1		
		フランス語初級SA4	1④	0.5			○								兼1		
		フランス語初級SB3	1③	0.5			○								兼1		
		フランス語初級SB4	1④	0.5			○								兼1		
		フランス語中級C1	2①	0.5			○									兼7	
		フランス語中級C2	2②	0.5			○									兼7	
		中国語初級A1	1①	0.5			○									兼30	
		中国語初級A2	1②	0.5			○									兼30	
		中国語初級B1	1①	0.5			○									兼30	
		中国語初級B2	1②	0.5			○									兼30	
		中国語初級A3	1③	0.5			○									兼30	
		中国語初級A4	1④	0.5			○									兼30	
		中国語初級B3	1③	0.5			○									兼30	
		中国語初級B4	1④	0.5			○									兼30	
		中国語初級SA3	1③	0.5			○									兼1	
		中国語初級SA4	1④	0.5			○									兼1	
		中国語初級SB3	1③	0.5			○									兼1	
		中国語初級SB4	1④	0.5			○									兼1	
		中国語中級C1	2①	0.5			○									兼10	
		中国語中級C2	2②	0.5			○									兼10	
		ロシア語初級A1	1①	0.5			○									兼4	
		ロシア語初級A2	1②	0.5			○									兼4	
		ロシア語初級B1	1①	0.5			○									兼4	
		ロシア語初級B2	1②	0.5			○									兼4	
		ロシア語初級A3	1③	0.5			○									兼4	
		ロシア語初級A4	1④	0.5			○									兼4	
		ロシア語初級B3	1③	0.5			○									兼4	
		ロシア語初級B4	1④	0.5			○									兼4	
	ロシア語中級C1	2①	0.5			○									兼2		
	ロシア語中級C2	2②	0.5			○									兼2		
	小計 (52科目)		—	0	26	0		—		0	0	0	0	0	0	兼80	—
	外国語第Ⅲ	第三外国語(ドイツ語)T1	2①		0.5			○								兼1	
		第三外国語(ドイツ語)T2	2②		0.5			○								兼1	
		第三外国語(ドイツ語)T3	2③		0.5			○								兼1	
		第三外国語(ドイツ語)T4	2④		0.5			○								兼1	
		第三外国語(フランス語)T1	2①		0.5			○								兼1	
		第三外国語(フランス語)T2	2②		0.5			○								兼1	
		第三外国語(フランス語)T3	2③		0.5			○								兼1	
		第三外国語(フランス語)T4	2④		0.5			○								兼1	
		第三外国語(韓国語)T1	2①		0.5			○								兼2	
		第三外国語(韓国語)T2	2②		0.5			○								兼2	
		第三外国語(韓国語)T3	2③		0.5			○								兼2	
		第三外国語(韓国語)T4	2④		0.5			○								兼2	
		第三外国語(スペイン語)T1	2①		0.5			○								兼1	
		第三外国語(スペイン語)T2	2②		0.5			○								兼1	
		第三外国語(スペイン語)T3	2③		0.5			○								兼1	
		第三外国語(スペイン語)T4	2④		0.5			○								兼1	
		第三外国語(イタリア語)T1	2①		0.5			○								兼1	
第三外国語(イタリア語)T2		2②		0.5			○								兼1		
第三外国語(イタリア語)T3		2③		0.5			○								兼1		
第三外国語(イタリア語)T4		2④		0.5			○								兼1		
小計 (20科目)		—	0	10	0		—		0	0	0	0	0	0	兼6	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目	健康・スポーツ科学講義A	1③		1		○			12		8				兼19 兼2 兼39 兼39 兼24 兼24
	健康・スポーツ科学講義B	1③		1		○									
	健康・スポーツ科学講義C	1③		1		○			10						
	健康・スポーツ科学実習基礎1	1①	0.5					○	9	7					
	健康・スポーツ科学実習基礎2	1②	0.5					○	9	7					
	健康・スポーツ科学実習1	1③		0.5				○	4	5					
	健康・スポーツ科学実習2	1④		0.5				○	4	5					
小計 (7科目)		—	1	4	0			—	10	4	2	0	0	兼39	—
科目情報	情報基礎	1①	1					○		1					兼55
	小計 (1科目)	—	1	0	0			—	0	1	0	0	0	兼33	—

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	学部共通科目	初年次セミナー	1			○			4	4						
	発達科学への招待	1②	1			○			3	5						
	ESD演習I(環境発達学)	2前			2		○									
	ESD演習II(環境発達学)	2後			2		○									
	ESD実践論	3後			2	○			1							
	異文化理解	1後			2	○					1					
	海外実習A	1前～4後			1								○			
	海外実習B	1前～4後			2								○			
	外国語実習	1前～4後			1								○			
	海外インターシップ実習	1前～4後			1								○			
	小計(10科目)	-	2	0	13		-		8	9	1	0	0	0		
学科共通科目	健康発達概論	1前	2			○			1		1					
	行動発達概論	1前	2			○				1						
	身体行動概論	1前	2			○										兼1
	社会調査法	1後		2		○										
	エイジング論	1後		2		○					1					
	生涯スポーツ論	1後		2		○			1							
	人体構造機能論	1後		2		○										
	健康管理論	1後		2		○					1					
	身体機能加齢論	1後		2		○										
	身体運動のしくみ	1後		2		○										
	からだの構造と運動	1後		2		○			1	1						
	身体文化論	2前		2		○					1					
	健康教育論	2前		2		○			1							
	健康評価論	2前		2		○					1					
	身体運動発達論	3前		2		○			1							
	人間行動特論A	3・4前		2		○										兼1
人間行動特論B	3・4前		2		○										兼1	
発達支援論研究	2後		2		○			3								
	小計(18科目)	-	6	30	0		-		8	4	3	0	0	兼3		
健康発達論コース	ヘルスプロモーション論	2後		2		○			1							
	公衆衛生学	2前		2		○			1							
	健康統計学	2・3前		2		○										兼1
	健康行動科学	3前		2		○					1					隔年
	安全行動・管理論	2・3前		2		○										隔年
	予防医学概説	2・3後		2		○										兼1
	救急医療概説	2・3前		2		○										兼1
	健康環境論	3後		2		○					1					
	健康政策論	3後		2		○			1							
	国際健康開発論	2・3前		2		○			1							隔年
	身体適応論	2後		2		○			1							
	身体運動システム論	2前		2		○				1						
	認知発達論	2後		2		○										
	人間関係発達論	2前		2		○			1							
	臨床心理学	2後		2		○			1							兼1
	カウンセリング	3前		2		○			1							
	子どもの発達支援	2後		2		○			1							
	衣環境学1	2前		2		○			1							
	栄養学	2・3後		2		○			1							兼1
	生活環境共生論1	2前		2		○				1						隔年
生活環境心理学	2後		2		○										兼1	
応用統計学A	3・4前		2		○				1						隔年	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	健康行動科学演習1	4前		2			○				1				
	健康増進科学演習1	4前		2			○								
	健康環境論演習1	4前		2			○				1				
	健康政策論演習1	4前		2			○		1						
	ヘルスポモーション論演習1	4前		2			○		1						
	健康行動科学演習2	4後		2			○			1					
	健康増進科学演習2	4後		2			○								
	健康環境論演習2	4後		2			○				1				
	健康政策論演習2	4後		2			○		1						
	ヘルスポモーション論演習2	4後		2			○		1						
	健康発達研究法	3後	2				○		3		2				
卒業研究	4通	10						3		2					
小計(34科目)	-		12	64	0		-	21	3	10	0	0		兼6	
行動発達論コース	行動発達研究法	2前		2			○			2					
	行動適応論	2前		2		○			1						
	運動処方論	2前		2		○			1						
	身体運動システム論	2前		2		○			1						
	ヘルスポモーション論	2前		2		○		1							
	予防医学概説	2・3後		2		○			1						隔年
	身体適応論	2後		2		○			1						
	スポーツ・プロモーション論	2後		2		○			1						
	運動心理学	2後		2		○			1						
	身体運動制御論	2後		2		○			1						
	栄養学	2・3後		2		○								兼1	隔年
	乳幼児発達論	2後		2		○			1						
	臨床心理学	2後		2		○			2						
	エイジング論演習1	3前		2			○			1					
	身体機能加齢論演習1	3前		2			○		1						
	身体適応論演習1	3前		2			○		1						
	アクティブエイジング研究演習1	3前		2			○		1						
	行動適応論演習1	3前		2			○			1					
	健康行動科学	3前		2		○					1				
	エイジング論演習2	3後		2			○			1					
	身体機能加齢論演習2	3後		2			○		1						
	身体適応論演習2	3後		2			○		1						
	アクティブエイジング研究演習2	3後		2			○		1						
行動適応論演習2	3後		2			○			1						
バイオメクス実験	3後		2				○	2							
健康政策論	3後		2		○			1							
行動発達演習1	4前	2				○		3	2	1					
行動発達演習2	4後	2				○		1							
卒業研究	4通	10						3		2					
小計(29科目)	-		14	52	0		-	24	14	2	0	0		兼1	
身体行動論コース	体育・スポーツ史	2後		2		○			1						
	スポーツ社会学	2前		2		○			1						
	スポーツマネジメント論	3・4後		2		○								兼1	隔年
	スポーツ・プロモーション論	2後		2		○			1						
	運動心理学	2後		2		○			1						
	身体運動技術論	2前		2		○			1						
	運動処方論	2前		2		○				1					
	体力科学論	2後		2		○				1					
	身体適応論	2後		2		○			1						
	身体運動制御論	2後		2		○			1						
	子どものからだづくり	3前		2		○			1						
	身体運動システム論	2前		2		○				1					
	健康行動科学	3前		2		○					1				
運動生理学実験	3前		2				○	1	2						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	身体行動論コース	バドミントン実験	3後	2				○	2						兼1 兼1 兼1 隔年 隔年	
		陸上運動方法論	2前	1				○	1							
		水泳系運動方法論	2前	1						1						
		球技運動方法論	3後	1												
		武道系運動方法論	3前	1						1						
		舞踊運動方法論	3・4前	1												
		体操運動方法論	3・4前	1												
		野外運動方法論	2前・後	2					○	1	1					
		体育・スポーツ史研究法	3前	2					○		1					
		スポーツ社会学研究法	3前	2					○	1						
		運動心理学研究法	3前	2					○	1						
		体育・スポーツ史演習	3後	2					○		1					
		スポーツ社会学演習	3後	2					○	1						
		運動心理学演習	3後	2					○	1						
		身体運動技術論演習	3後	2					○	1						
		身体運動制御論演習	3後	2					○	1						
		運動処方論演習	3後	2					○		1					
		体力科学論演習	3後	2					○		1					
		身体運動システム論演習	3後	2					○		1					
		卒業研究	4通	10						4	3					
小計(34科目)		—	10	60	0		—	23	16	1	0	0	兼4			
発達支援論コース	発達支援論研究	2後	2				○		3							
	発達支援論演習(シニア研究・学習支援論)	3前	2				○									
	発達支援論演習(労働・成人教育支援論)	3前	2				○									
	発達支援論演習(子ども・家庭支援論)	3前	2				○		1							
	発達支援論演習(ホテラティア社会・学習支援論)	3前	2				○		1							
	発達支援論演習(障害共生支援論)	3前	2				○		1							
	発達支援研究法	3前	2				○		1							
小計(7科目)		—	4	10	0		—	7	0	0	0	0	0			
た資格の免科目の	保健体育科教育論A	2前		2			○							兼1		
	情報機器の操作	2前	1				○							兼1		
	保健体育科教育論B	2後		2			○		1					集中		
小計(3科目)			1	4	0			0	0	0	0	0	兼2			
合計(361科目)		—	55	395.5 又は 396.5	13		—	91	46	17	0	0	兼16			
学位又は称号	学士(発達科学)	学位又は学科の分野			文学関係, 教育学・保育学関係, 社会学・社会福祉学関係, 体育関係											

教育課程等の概要																
(既設 発達科学部人間表現学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学共通科目	社会科学系	法学A	1②-2④	1		○									兼4	
		法学B	1②-2④	1		○									兼4	
		政治学A	1②-2④	1		○									兼4	
		政治学B	1②-2④	1		○									兼4	
		経済学A	1②-2④	1		○									兼4	
		経済学B	1②-2④	1		○									兼4	
		社会学	1②-2④	1		○									兼6	
		地理学	1②-2④	1		○									兼6	
	小計 (8科目)		-	0	8	0	-			0	0	0	0	0	兼18	-
	生命科学系	医学A	1②-2④	1		○									兼1	
		医学B	1②-2④	1		○									兼1	
		保健学A	1②-2④	1		○									兼5	
		保健学B	1②-2④	1		○									兼1	
		健康科学A	1②-2④	1		○									兼1	
		健康科学B	1②-2④	1		○									兼6	
		生物学A	1②-2④	1		○									兼5	共同
		生物学B	1②-2④	1		○									兼6	共同
		生物学C	1②-2④	1		○									兼4	
	小計 (9科目)		-	0	9	0	-			0	0	0	0	0	兼26	-
	自然科学系	数学A	1②-2④	1		○									兼8	
		数学B	1②-2④	1		○									兼8	
		数学C	1②-2④	1		○									兼6	
		物理学A	1②-2④	1		○									兼2	
		物理学B	1②-2④	1		○									兼2	
		化学A	1②-2④	1		○									兼4	オムニハス
		化学B	1②-2④	1		○									兼4	オムニハス
		化学C	1②-2④	1		○									兼4	オムニハス
		化学D	1②-2④	1		○									兼4	オムニハス
		惑星学A	1②-2④	1		○									兼8	オムニハス
		惑星学B	1②-2④	1		○									兼8	オムニハス
惑星学C		1②-2④	1		○									兼8	オムニハス	
情報学A		1②-2④	1		○									兼4		
情報学B		1②-2④	1		○									兼4		
小計 (14科目)		-	0	14	0	-			0	0	0	0	0	兼56	-	
総合教養科目	(1) 多文化理解	教育と人間形成	1②-2④	1		○								兼3		
		文学A	1②-2④	1		○								兼4		
		文学B	1②-2④	1		○								兼14		
		言語科学A	1②-2④	1		○								兼6		
		言語科学B	1②-2④	1		○								兼2		
		日本史A	1②-2④	1		○								兼6		
		日本史B	1②-2④	1		○								兼6		
		東洋史A	1②-2④	1		○								兼2		
		東洋史B	1②-2④	1		○								兼2		
		アジア史A	1②-2④	1		○								兼4		
		アジア史B	1②-2④	1		○								兼4		
		西洋史A	1②-2④	1		○								兼4		
		西洋史B	1②-2④	1		○								兼4		
		考古学A	1②-2④	1		○								兼2		
		考古学B	1②-2④	1		○								兼2		
		美術史A	1②-2④	1		○								兼1		
		美術史B	1②-2④	1		○								兼1		
		科学史A	1②-2④	1		○								兼5		
		科学史B	1②-2④	1		○								兼5		
		社会思想史	1②-2④	1		○								兼4		
		文化人類学	1②-2④	1		○								兼8		
		現代社会論A	1②-2④	1		○								兼1		
		現代社会論B	1②-2④	1		○								兼7		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
全学 共通科目	総合 教養科目 文(1) 理解多	越境する文化	1②-2④		1		○									兼4	
		生活環境と技術	1②-2④		1		○									兼4	
		学校教育と社会	1②-2④		1		○									兼8	
		小計(26科目)	—	0	26	0	—		0	0	0	0	0	0	0	兼46	—
	(2) 自然 界の 成り 立ち	科学技術と倫理	1②-2④		1		○									兼4	
		現代物理学が描く世界	1②-2④		1		○									兼4	
		身近な物理法則	1②-2④		1		○									兼4	
		ものづくりと科学技術A	1②-2④		1		○									兼4	オムニバース
		ものづくりと科学技術B	1②-2④		1		○									兼4	オムニバース
		生命科学A	1②-2④		1		○									兼1	
		生命科学B	1②-2④		1		○									兼1	
		生物資源と農業A	1②-2④		1		○									兼3	オムニバース
		生物資源と農業B	1②-2④		1		○									兼3	オムニバース
		生物資源と農業C	1②-2④		1		○									兼5	オムニバース
	生物資源と農業D	1②-2④		1		○									兼4	オムニバース	
	小計(11科目)	—	0	11	0	—		0	0	0	0	0	0	0	兼28	—	
	(3) グ ロー バ ル イ シ ユ ー	環境学入門A	1②-2④		1		○									兼1	
		環境学入門B	1②-2④		1		○									兼1	
		社会と人権A	1②-2④		1		○									兼4	
		社会と人権B	1②-2④		1		○									兼4	
		男女共同参画とジェンダーA	1②-2④		1		○									兼2	オムニバース
		男女共同参画とジェンダーB	1②-2④		1		○									兼2	オムニバース
		グローバルリーダーシップ育成基礎演習	1②-2④		2		○									兼2	共同
		EU基礎論	1②-2④		1		○									兼5	オムニバース
国際協力の現状と課題A		1②-2④		1		○									兼10		
国際協力の現状と課題B		1②-2④		1		○									兼8		
政治と社会		1②-2④		1		○									兼8		
社会生活と法		1②-2④		1		○									兼8		
国家と法		1②-2④		1		○									兼10		
現代の経済A		1②-2④		1		○									兼10		
現代の経済B		1②-2④		1		○									兼10		
経済社会の発展		1②-2④		1		○									兼4		
企業と経営		1②-2④		1		○									兼4		
地球史における生物の変遷		1②-2④		1		○									兼3		
生物の環境適応	1②-2④		1		○									兼3			
人間活動と地球生態系	1②-2④		1		○									兼2			
食と健康A	1②-2④		1		○									兼7	オムニバース		
食と健康B	1②-2④		1		○									兼8	オムニバース		
資源・材料とエネルギーA	1②-2④		1		○									兼6	オムニバース		
資源・材料とエネルギーB	1②-2④		1		○									兼7	オムニバース		
小計(24科目)	—	0	25	0	—		0	0	0	0	0	0	0	兼72	—		
(4) E S D	ESD基礎(持続可能な社会づくり1)A	1②-2④		1		○									兼1		
	ESD基礎(持続可能な社会づくり1)B	1②-2④		1		○											
	ESD論(持続可能な社会づくり2)A	1②-2④		1		○									兼1		
	ESD論(持続可能な社会づくり2)B	1②-2④		1		○									兼1		
	ESD生涯学習論A	1②-2④		1		○											
	ESD生涯学習論B	1②-2④		1		○											
	ESDボランティア論	1②-2④		1		○									兼2	オムニバース・ 共同(一部)	
小計(7科目)	—	0	7	0	—		0	0	0	0	0	0	0	兼2	—		
(5) キ ャ リ ア 科 目	企業社会論A	1②-2④		1		○									兼2	オムニバース	
	企業社会論B	1②-2④		1		○										オムニバース	
	職業と学びキャリアデザインを考えるA	1②-2④		1		○									兼1		
	職業と学びキャリアデザインを考えるB	1②-2④		1		○									兼1		
	社会基礎学(グローバル人材に不可欠な教養)	1②-2④		2		○									兼1		
	ボランティアと社会貢献活動A	1②-2④		1		○									兼1		
	ボランティアと社会貢献活動B	1②-2④		1		○									兼1		
	グローバルチャレンジ実習	1②-2④		1又は2											兼13		
小計(8科目)	—	0	9又は10	0	—		0	0	0	0	0	0	0	兼15	—		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学共通科目	(6) 神戸学	神戸大学史A	1②-2④		1		○								兼4	オムニバス
		神戸大学史B	1②-2④		1		○								兼4	オムニバス
		神戸大学の研究最前線A	1②-2④		1		○								兼18	
		神戸大学の研究最前線B	1②-2④		1		○								兼18	
		阪神・淡路大震災A	1②-2④		1		○								兼9	オムニバス
		阪神・淡路大震災B	1②-2④		1		○								兼9	オムニバス
		海への誘い	1②-2④		2		○								兼1	
		瀬戸内海学入門	1②-2④		2		○								兼1	
		小計 (8科目)	—	0	10	0	—			0	0	0	0	0	兼48	—
外国語科目	外国語第I	English Communication A1	1①	0.5			○							兼65		
		English Communication A2	1②	0.5			○							兼65		
		English Communication B1	1③	0.5			○							兼79		
		English Communication B2	1④	0.5			○							兼79		
		English Literacy A1	1①	0.5			○							兼65		
		English Literacy A2	1②	0.5			○							兼65		
		English Literacy B1	1③	0.5			○							兼79		
		English Literacy B2	1④	0.5			○							兼79		
		Productive English 1	2①	0.5			○							兼18		
		Productive English 2	2②	0.5			○							兼18		
		Autonomous English 1	2①	0.5			○							兼18		
		Autonomous English 2	2②	0.5			○							兼18		
		Advanced English A1	2①・2③	0.5			○									
		Advanced English A2	2②・2④	0.5			○									
		Advanced English B	2①-2④	0.5			○									
		Advanced English C	2①・2②	1			○									
		Advanced English GEC(海外研修)	1③・1④	1			○								兼1	
		Advanced English GEC(フ レゼンテーション)1	2①-2④	0.5			○									
		Advanced English GEC(フ レゼンテーション)2	2①-2④	0.5			○									
		Advanced English GEC(フ ァイティング)1	2①-2④	0.5			○									
		Advanced English GEC(フ ァイティング)2	2①-2④	0.5			○									
		Advanced English GEC(テ ィスカッション)1	2①-2④	0.5			○									
		Advanced English GEC(テ ィスカッション)2	2①-2④	0.5			○									
小計 (23科目)	—	4	8.5	0	—			0	0	0	0	0	兼77	—		
外国語第II	外国語第II	ト 英語初級A1	1①	0.5			○							兼29		
		ト 英語初級A2	1②	0.5			○							兼29		
		ト 英語初級B1	1①	0.5			○							兼29		
		ト 英語初級B2	1②	0.5			○							兼29		
		ト 英語初級A3	1③	0.5			○							兼29		
		ト 英語初級A4	1④	0.5			○							兼29		
		ト 英語初級B3	1③	0.5			○							兼29		
		ト 英語初級B4	1④	0.5			○							兼29		
		ト 英語初級SA3	1③	0.5			○							兼1		
		ト 英語初級SA4	1④	0.5			○							兼1		
		ト 英語初級SB3	1③	0.5			○							兼1		
		ト 英語初級SB4	1④	0.5			○							兼1		
		ト 英語中級C1	2①	0.5			○							兼7		
		ト 英語中級C2	2②	0.5			○							兼7		
		フランス語初級A1	1①	0.5			○							兼20		
		フランス語初級A2	1②	0.5			○							兼20		
		フランス語初級B1	1①	0.5			○							兼20		
		フランス語初級B2	1②	0.5			○							兼20		
		フランス語初級A3	1③	0.5			○							兼20		
		フランス語初級A4	1④	0.5			○							兼20		
		フランス語初級B3	1③	0.5			○							兼20		
		フランス語初級B4	1④	0.5			○							兼20		
		フランス語初級SA3	1③	0.5			○							兼1		
		フランス語初級SA4	1④	0.5			○							兼1		
		フランス語初級SB3	1③	0.5			○							兼1		
		フランス語初級SB4	1④	0.5			○							兼1		
		フランス語中級C1	2①	0.5			○							兼7		
フランス語中級C2	2②	0.5			○							兼7				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
全学 共通科目	外国語第Ⅱ	中国語初級A1	1①	0.5			○									兼30	
		中国語初級A2	1②	0.5			○									兼30	
		中国語初級B1	1①	0.5			○									兼30	
		中国語初級B2	1②	0.5			○									兼30	
		中国語初級A3	1③	0.5			○									兼30	
		中国語初級A4	1④	0.5			○									兼30	
		中国語初級B3	1③	0.5			○									兼30	
		中国語初級B4	1④	0.5			○									兼30	
		中国語初級SA3	1③	0.5			○									兼1	
		中国語初級SA4	1④	0.5			○									兼1	
		中国語初級SB3	1③	0.5			○									兼1	
		中国語初級SB4	1④	0.5			○									兼1	
		中国語中級C1	2①	0.5			○									兼10	
		中国語中級C2	2②	0.5			○									兼10	
		ロシア語初級A1	1①	0.5			○									兼4	
		ロシア語初級A2	1②	0.5			○									兼4	
		ロシア語初級B1	1①	0.5			○									兼4	
		ロシア語初級B2	1②	0.5			○									兼4	
		ロシア語初級A3	1③	0.5			○									兼4	
		ロシア語初級A4	1④	0.5			○									兼4	
	ロシア語初級B3	1③	0.5			○									兼4		
	ロシア語初級B4	1④	0.5			○									兼4		
	ロシア語中級C1	2①	0.5			○									兼2		
	ロシア語中級C2	2②	0.5			○									兼2		
	小計 (52科目)		—	0	26	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼80	—
	外国語第Ⅲ	第三外国語(ドイツ語)T1	2①		0.5			○								兼1	
		第三外国語(ドイツ語)T2	2②		0.5			○								兼1	
第三外国語(ドイツ語)T3		2③		0.5			○								兼1		
第三外国語(ドイツ語)T4		2④		0.5			○								兼1		
第三外国語(フランス語)T1		2①		0.5			○								兼1		
第三外国語(フランス語)T2		2②		0.5			○								兼1		
第三外国語(フランス語)T3		2③		0.5			○								兼1		
第三外国語(フランス語)T4		2④		0.5			○								兼1		
第三外国語(韓国語)T1		2①		0.5			○								兼2		
第三外国語(韓国語)T2		2②		0.5			○								兼2		
第三外国語(韓国語)T3		2③		0.5			○								兼2		
第三外国語(韓国語)T4		2④		0.5			○								兼2		
第三外国語(スペイン語)T1		2①		0.5			○								兼1		
第三外国語(スペイン語)T2		2②		0.5			○								兼1		
第三外国語(スペイン語)T3		2③		0.5			○								兼1		
第三外国語(スペイン語)T4		2④		0.5			○								兼1		
第三外国語(イタリア語)T1		2①		0.5			○								兼1		
第三外国語(イタリア語)T2		2②		0.5			○								兼1		
第三外国語(イタリア語)T3		2③		0.5			○								兼1		
第三外国語(イタリア語)T4		2④		0.5			○								兼1		
小計 (20科目)		—	0	10	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼6	—	
健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学講義A	1③		1			○								兼20		
	健康・スポーツ科学講義B	1③		1			○								兼19		
	健康・スポーツ科学講義C	1③		1			○								兼12		
	健康・スポーツ科学実習基礎1	1①	0.5							○		3			兼52		
	健康・スポーツ科学実習基礎2	1②	0.5							○		3			兼52		
	健康・スポーツ科学実習1	1③		0.5						○					兼33		
	健康・スポーツ科学実習2	1④		0.5						○					兼33		
小計 (7科目)		—	1	4	0	—	—	0	1	0	0	0	0	兼54	—		
情報目録	情報基礎	1①		1				○				1			兼55		
	小計 (1科目)		—	1	0	0	—	—	0	1	0	0	0	0	兼33	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	学部共通科目	初年次セミナー	1			○			4	4					
	発達科学への招待	1②	1			○			3	5					
	ESD演習I(環境発達学)	2前			2		○		1						
	ESD演習II(環境発達学)	2後			2		○		1						
	ESD実践論	3後			2	○			1						
	異文化理解	1後			2	○					1				
	海外実習A	1前～4後			1			○							
	海外実習B	1前～4後			2			○							
	外国語実習	1前～4後			1			○							
	海外インターンシップ実習	1前～4後			1			○							
	小計(10科目)	-	2	0	13		-		10	9	1	0	0	0	
人間表現論コース	第1群(文化・芸術に関する横断的科目群)	人間表現概論1	1前	2			○		1	1					
	人間表現概論2	1後	2			○			1	1					
	舞台芸術論	3前		2		○				1					
	メディア論	3後		2		○				1					
	資料調査法	1後		2			○			1					
	感性表現論1	2前		2		○				1					
	図学	2後		2		○			1						
	サブカルチャー論	1前		2		○									兼2
	表現の政治学	3前		2		○									兼1
	アートマネジメント	3後		2		○									兼1
	創造の発想とプロセスA	1前		2			○			1					
	創造の発想とプロセスB	1後		2			○		1						
	サウンドデザイン	1前		2		○				1					
	人と音楽	2前		2		○			1						
	表現創造演習(企画)	2後		2			○			1					
	表現創造演習(総合)	3前		2			○			1					
	音楽療法論1	2前		2		○				1					
	声の表現	1後		2			○		1						
	身体表現論	2前		2		○				1					
	場所の文化史	2前		2		○			1						
表象文化論	2後		2		○				1						
子どもの表現	2前		2		○					1					
遊びと芸術	1後		2		○									兼1	
表現ワークショップ論	3前		2		○									兼1	
心理学入門	1前		2		○				1						
生涯学習論	1前		2		○			1							
発達支援論研究	2後		2		○			3							
	小計(27科目)	-	4	50	0		-		11	14	1	0	0	兼6	
第2群(文化・芸術に関する専門的科目群)	人間の発達と表現演習1	3前	2				○		5	9					
	人間の発達と表現演習2	3後	2				○		5	9					
	デザイン史	2・3後		2		○								兼1	隔年
	都市と建築の20世紀	2後		2		○			1						
	都市と建築の20世紀演習	3前		2			○		1						
	ファッション文化論	3前		2		○				1					
	ファッション文化論演習	4前		2			○			1					
	西洋音楽文化論	2前		2		○				1					
	西洋音楽文化論演習	2後		2			○			1					
	映像論	3前		2		○			1						
	映像・メディア論演習	4前		2			○		1						
音楽民族学	2後		2		○				1						
音楽集団活動論	2前		2		○									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目 人間表現論コース	合唱表現演習	2・3後		2				○								兼1
	合奏表現演習	3前		2				○								兼1
	ピアノ演奏演習1	2後		2				○		1						
	ピアノ演奏演習2	3前		2				○		1						
	室内楽	3後		2				○		1						
	声楽表現演習1	2前		2				○		1						
	声楽表現演習2	3前		2				○		1						
	音楽作品研究1	2前		2			○			1						
	音楽作品研究2	2後		2			○			1						
	立体造形	2前		2						1						
	立体造形論	2後		2			○			1						
	絵画表現	2前		2							1					
	絵画表現論	2後		2			○				1					
	舞踊創造論	2前		2			○									兼1
	舞踊表現	2後		2				○			1					
	感性表現論2	3前		2			○									兼1
	感性表現論演習	3後		2				○								兼1
	立体投象論	3後		2			○			1						
	音楽療法論2	3前		2			○				1					
	音楽療法論演習	3後		2				○			1					
ダンスセラピー	3後		2					○							兼1	
先端表現演習	1後		2					○							兼1	
先端造形演習	2前		2					○							兼1	
小計(36科目)		—	4	68	0			—		22	30	0	0	0		兼10
発達支援論コース	発達支援論研究	2後	2				○			3	1	1				
	発達支援論演習(シニア研究・学習支援論)	3前		2				○								
	発達支援論演習(労働・成人教育支援論)	3前		2				○								
	発達支援論演習(子ども・家庭支援論)	3前		2				○		1						
	発達支援論演習(ボランティア社会・学習支援論)	3前		2				○		1						
	発達支援論演習(障害共生支援論)	3前		2				○		1						
	発達支援論研究法	3前	2					○		1						
小計(7科目)		—	4	10	0			—		7	1	1	0	0	0	
卒業研究	卒業研究	4通	10							6	8	0	0	0	0	
	小計(1科目)		—	10	0	0		—		6	8	0	0	0	0	
資格免許のための科目	ソルフェージュ	2前		2				○								兼1
	音文化論	2前		2			○			1						
	情報機器の操作	2前	1					○								兼1
	美術科教育論B	2前		2			○				1					
	音楽科教育論A	2前		2			○									兼1
	ビジュアル・デザイン	3前		2				○								兼1
	音楽理論	1後		2			○			1						
	邦楽器演奏法	3後		2				○								兼1
	工芸表現演習	2後		2				○								兼1
	美術科教育論A	2前、後		2				○		1						
	音楽科教育論B	2後		2				○								兼1
	美術批評	3後		2				○								兼1
小計(12科目)		—	1	22	0			—		1	2	1	0	0		兼8
合計(291科目)		—	31	317.5 又は 318.5	13			—		57	64	4	0	0		兼24
学位又は称号	学士(発達科学)	学位又は学科の分野			工学関係, 美術関係, 音楽関係, 体育関係											

教育課程等の概要																	
(既設 発達科学部人間環境学科)																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
全学共通科目	基礎教養科目 人文系	哲学	1②-2④		1		○								兼4		
		心理学A	1②-2④		1		○								兼10		
		心理学B	1②-2④		1		○								兼8		
		論理学	1②-2④		1		○								兼5		
		教育学A	1②-2④		1		○								兼8		
		教育学B	1②-2④		1		○								兼3		
		倫理学	1②-2④		1		○								兼4		
		小計 (7科目)	-	0	7	0	-		0	0	0	0	0	0	兼24	-	
	社会科学系	政治学A	1②-2④		1		○				4					兼4	
		政治学B	1②-2④		1		○								兼4		
		経済学A	1②-2④		1		○								兼4		
		経済学B	1②-2④		1		○								兼4		
		地理学	1②-2④		1		○			2					兼4		
	小計 (5科目)	-	0	5	0	-		1	2	0	0	0	0	兼10	-		
	生命科学系	医学A	1②-2④		1		○								兼1		
		医学B	1②-2④		1		○								兼1		
		保健学A	1②-2④		1		○								兼5		
		保健学B	1②-2④		1		○								兼1		
		健康科学A	1②-2④		1		○								兼1		
		健康科学B	1②-2④		1		○								兼6		
		生物学A	1②-2④		1		○			1	1				兼3	共同	
		生物学B	1②-2④		1		○								兼6	共同	
		生物学C	1②-2④		1		○								兼4		
	小計 (9科目)	-	0	9	0	-		1	1	0	0	0	0	兼24	-		
	自然科学系	惑星学A	1②-2④		1		○								兼8	オムニバス	
		惑星学B	1②-2④		1		○								兼8	オムニバス	
		惑星学C	1②-2④		1		○								兼8	オムニバス	
		情報学A	1②-2④		1		○								兼4		
情報学B		1②-2④		1		○								兼4			
小計 (5科目)	-	0	5	0	-		0	0	0	0	0	0	兼24	-			
総合教養科目	(1) 多文化理解	教育と人間形成	1②-2④		1		○								兼3		
		文学A	1②-2④		1		○								兼4		
		文学B	1②-2④		1		○								兼14		
		言語科学A	1②-2④		1		○								兼6		
		言語科学B	1②-2④		1		○								兼2		
		芸術と文化A	1②-2④		1		○								兼10		
		芸術と文化B	1②-2④		1		○								兼12		
		日本史A	1②-2④		1		○								兼6		
		日本史B	1②-2④		1		○								兼6		
		東洋史A	1②-2④		1		○								兼2		
		東洋史B	1②-2④		1		○								兼2		
		アジア史A	1②-2④		1		○								兼4		
		アジア史B	1②-2④		1		○								兼4		
		西洋史A	1②-2④		1		○								兼4		
		西洋史B	1②-2④		1		○								兼4		
		考古学A	1②-2④		1		○								兼2		
		考古学B	1②-2④		1		○								兼2		
		芸術史A	1②-2④		1		○								兼2		
		芸術史B	1②-2④		1		○								兼2		
		美術史A	1②-2④		1		○								兼1		
		美術史B	1②-2④		1		○								兼1		
		科学史A	1②-2④		1		○								兼5		
		科学史B	1②-2④		1		○								兼5		
		社会思想史	1②-2④		1		○								兼4		
文化人類学	1②-2④		1		○								兼8				
越境する文化	1②-2④		1		○								兼4				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
全学共通科目	文化理解多	学校教育と社会	1②-2④		1		○									兼8	
		か奸の文化学A	1②-2④		1		○									兼1	
		か奸の文化学B	1②-2④		1		○									兼1	
		小計 (29科目)	—	0	29	0	—		0	0	0	0	0	0	0	兼50	—
	自然界の成り立ち	科学技術と倫理	1②-2④		1		○									兼4	
		現代物理学が描く世界	1②-2④		1		○									兼4	
		身近な物理法則	1②-2④		1		○									兼4	
		か奸の自然学	1②-2④		1		○									兼1	
		ものづくりと科学技術A	1②-2④		1		○									兼4	オムニバース
		ものづくりと科学技術B	1②-2④		1		○									兼4	オムニバース
		生命科学A	1②-2④		1		○									兼1	
		生命科学B	1②-2④		1		○									兼1	
		生物資源と農業A	1②-2④		1		○									兼3	オムニバース
		生物資源と農業B	1②-2④		1		○									兼3	オムニバース
		生物資源と農業C	1②-2④		1		○									兼5	オムニバース
		生物資源と農業D	1②-2④		1		○									兼4	オムニバース
	小計 (12科目)	—	0	12	0	—		0	0	0	0	0	0	0	兼29	—	
	グローバルイシュー	環境学入門A	1②-2④		1		○									兼1	
		環境学入門B	1②-2④		1		○									兼1	
		社会と人権A	1②-2④		1		○									兼4	
		社会と人権B	1②-2④		1		○									兼4	
		男女共同参画とジェンダーA	1②-2④		1		○									兼2	オムニバース
		男女共同参画とジェンダーB	1②-2④		1		○									兼2	オムニバース
		グローバルリーダーシップ 育成基礎演習	1②-2④		2		○									兼2	共同
		EU基礎論	1②-2④		1		○									兼5	オムニバース
		国際協力の現状と課題A	1②-2④		1		○									兼10	
		国際協力の現状と課題B	1②-2④		1		○									兼8	
		社会生活と法	1②-2④		1		○									兼8	
		国家と法	1②-2④		1		○									兼10	
		現代の経済A	1②-2④		1		○									兼10	
		現代の経済B	1②-2④		1		○									兼10	
		経済社会の発展	1②-2④		1		○									兼4	
		企業と経営	1②-2④		1		○									兼4	
		地球史における生物の変遷	1②-2④		1		○									兼3	
		生物の環境適応	1②-2④		1		○				1					兼2	
	人間活動と地球生態系	1②-2④		1		○				1					兼1		
	食と健康A	1②-2④		1		○									兼7	オムニバース	
	食と健康B	1②-2④		1		○									兼8	オムニバース	
	資源・材料とエネルギーA	1②-2④		1		○									兼6	オムニバース	
	資源・材料とエネルギーB	1②-2④		1		○									兼7	オムニバース	
小計 (23科目)	—	0	24	0	—		1	1	0	0	0	0	0	兼67	—		
ESD	ESD基礎(持続可能な社会づくり1)A	1②-2④		1		○									兼1		
	ESD基礎(持続可能な社会づくり1)B	1②-2④		1		○											
	ESD論(持続可能な社会づくり2)A	1②-2④		1		○									兼1		
	ESD論(持続可能な社会づくり2)B	1②-2④		1		○									兼1		
	ESD生涯学習論A	1②-2④		1		○											
	ESD生涯学習論B	1②-2④		1		○											
	ESDボランティア論	1②-2④		1		○									兼2	オムニバース・共同(一部)	
小計 (7科目)	—	0	7	0	—		0	0	0	0	0	0	0	兼2	—		
キャリア科目	企業社会論A	1②-2④		1		○									兼2	オムニバース	
	企業社会論B	1②-2④		1		○										オムニバース	
	職業と学びキャリアデザインを考えるA	1②-2④		1		○									兼1		
	職業と学びキャリアデザインを考えるB	1②-2④		1		○									兼1		
	社会基礎学(グローバル人材に不可欠な教養)	1②-2④		2		○									兼1		
	ボランティアと社会貢献活動A	1②-2④		1		○									兼1		
	ボランティアと社会貢献活動B	1②-2④		1		○									兼1		
	グローバルチャレンジ 実習	1②-2④		1又は2		○				1					兼12		
小計 (8科目)	—	0	9又は10	0	—		1	0	0	0	0	0	0	兼14	—		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
全学共通科目	(6) 神戸学	神戸大学史A	1②-2④		1		○			2						兼4	オムニバス	
		神戸大学史B	1②-2④		1		○										兼4	オムニバス
		神戸大学の研究最前線A	1②-2④		1		○										兼16	
		神戸大学の研究最前線B	1②-2④		1		○										兼18	
		阪神・淡路大震災A	1②-2④		1		○										兼9	オムニバス
		阪神・淡路大震災B	1②-2④		1		○										兼9	オムニバス
		海への誘い	1②-2④		2		○										兼1	
		瀬戸内海学入門	1②-2④		2		○										兼1	
		小計(8科目)	—	0	10	0	—					1	0	0	0	0	兼47	—
外国語科目	外国語第I	English Communication A1	1①	0.5			○									兼65		
		English Communication A2	1②	0.5			○									兼65		
		English Communication B1	1③	0.5			○									兼79		
		English Communication B2	1④	0.5			○									兼79		
		English Literacy A1	1①	0.5			○									兼65		
		English Literacy A2	1②	0.5			○									兼65		
		English Literacy B1	1③	0.5			○									兼79		
		English Literacy B2	1④	0.5			○									兼79		
		Productive English 1	2①	0.5			○									兼18		
		Productive English 2	2②	0.5			○									兼18		
		Autonomous English 1	2①	0.5			○									兼18		
		Autonomous English 2	2②	0.5			○									兼18		
		Advanced English A1	2①・2③	0.5			○											
		Advanced English A2	2②・2④	0.5			○											
		Advanced English B	2①-2④	0.5			○											
		Advanced English C	2①・2②	1			○											
		Advanced English GEC(海外研修)	1③・1④	1			○										兼1	
		Advanced English GEC(プレゼンテーション)1	2①-2④	0.5			○											
		Advanced English GEC(プレゼンテーション)2	2①-2④	0.5			○											
		Advanced English GEC(ライティング)1	2①-2④	0.5			○											
		Advanced English GEC(ライティング)2	2①-2④	0.5			○											
		Advanced English GEC(ディスカッション)1	2①-2④	0.5			○											
		Advanced English GEC(ディスカッション)2	2①-2④	0.5			○											
小計(23科目)	—	4	8.5	0	—				0	0	0	0	0	兼77	—			
外国語第II	外国語第II	ドイツ語初級A1	1①	0.5			○									兼29		
		ドイツ語初級A2	1②	0.5			○									兼29		
		ドイツ語初級B1	1①	0.5			○									兼29		
		ドイツ語初級B2	1②	0.5			○									兼29		
		ドイツ語初級A3	1③	0.5			○									兼29		
		ドイツ語初級A4	1④	0.5			○									兼29		
		ドイツ語初級B3	1③	0.5			○									兼29		
		ドイツ語初級B4	1④	0.5			○									兼29		
		ドイツ語初級SA3	1③	0.5			○									兼1		
		ドイツ語初級SA4	1④	0.5			○									兼1		
		ドイツ語初級SB3	1③	0.5			○									兼1		
		ドイツ語初級SB4	1④	0.5			○									兼1		
		ドイツ語中級C1	2①	0.5			○									兼7		
		ドイツ語中級C2	2②	0.5			○									兼7		
		フランス語初級A1	1①	0.5			○									兼20		
		フランス語初級A2	1②	0.5			○									兼20		
		フランス語初級B1	1①	0.5			○									兼20		
		フランス語初級B2	1②	0.5			○									兼20		
		フランス語初級A3	1③	0.5			○									兼20		
		フランス語初級A4	1④	0.5			○									兼20		
		フランス語初級B3	1③	0.5			○									兼20		
		フランス語初級B4	1④	0.5			○									兼20		
		フランス語初級SA3	1③	0.5			○									兼1		
		フランス語初級SA4	1④	0.5			○									兼1		
		フランス語初級SB3	1③	0.5			○									兼1		
		フランス語初級SB4	1④	0.5			○									兼1		
		フランス語中級C1	2①	0.5			○									兼7		
フランス語中級C2	2②	0.5			○									兼7				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学 共通科目	外国語第Ⅱ	中国語初級A1	1①	0.5			○								兼30	
		中国語初級A2	1②	0.5			○								兼30	
		中国語初級B1	1①	0.5			○								兼30	
		中国語初級B2	1②	0.5			○								兼30	
		中国語初級A3	1③	0.5			○								兼30	
		中国語初級A4	1④	0.5			○								兼30	
		中国語初級B3	1③	0.5			○								兼30	
		中国語初級B4	1④	0.5			○								兼30	
		中国語初級SA3	1③	0.5			○								兼1	
		中国語初級SA4	1④	0.5			○								兼1	
		中国語初級SB3	1③	0.5			○								兼1	
		中国語初級SB4	1④	0.5			○								兼1	
		中国語中級C1	2①	0.5			○								兼10	
		中国語中級C2	2②	0.5			○								兼10	
		ロシア語初級A1	1①	0.5			○								兼4	
		ロシア語初級A2	1②	0.5			○								兼4	
		ロシア語初級B1	1①	0.5			○								兼4	
		ロシア語初級B2	1②	0.5			○								兼4	
		ロシア語初級A3	1③	0.5			○								兼4	
		ロシア語初級A4	1④	0.5			○								兼4	
	ロシア語初級B3	1③	0.5			○								兼4		
	ロシア語初級B4	1④	0.5			○								兼4		
	ロシア語中級C1	2①	0.5			○								兼2		
	ロシア語中級C2	2②	0.5			○								兼2		
	小計 (52科目)		—	0	26	0	—			0	0	0	0	0	兼80	—
	外国語第Ⅲ	第三外国語(ドイツ語)T1	2①		0.5			○							兼1	
		第三外国語(ドイツ語)T2	2②		0.5			○							兼1	
第三外国語(ドイツ語)T3		2③		0.5			○							兼1		
第三外国語(ドイツ語)T4		2④		0.5			○							兼1		
第三外国語(フランス語)T1		2①		0.5			○							兼1		
第三外国語(フランス語)T2		2②		0.5			○							兼1		
第三外国語(フランス語)T3		2③		0.5			○							兼1		
第三外国語(フランス語)T4		2④		0.5			○							兼1		
第三外国語(韓国語)T1		2①		0.5			○							兼2		
第三外国語(韓国語)T2		2②		0.5			○							兼2		
第三外国語(韓国語)T3		2③		0.5			○							兼2		
第三外国語(韓国語)T4		2④		0.5			○							兼2		
第三外国語(スペイン語)T1		2①		0.5			○							兼1		
第三外国語(スペイン語)T2		2②		0.5			○							兼1		
第三外国語(スペイン語)T3		2③		0.5			○							兼1		
第三外国語(スペイン語)T4		2④		0.5			○							兼1		
第三外国語(イタリア語)T1		2①		0.5			○							兼1		
第三外国語(イタリア語)T2		2②		0.5			○							兼1		
第三外国語(イタリア語)T3		2③		0.5			○							兼1		
第三外国語(イタリア語)T4		2④		0.5			○							兼1		
小計 (20科目)		—	0	10	0	—			0	0	0	0	0	兼6	—	
健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学講義A	1③		1			○							兼20		
	健康・スポーツ科学講義B	1③		1			○							兼19		
	健康・スポーツ科学講義C	1③		1			○							兼12		
	健康・スポーツ科学実習基礎1	1①	0.5							○				兼55		
	健康・スポーツ科学実習基礎2	1②	0.5							○				兼55		
	健康・スポーツ科学実習1	1③		0.5						○				兼33		
	健康・スポーツ科学実習2	1④		0.5						○				兼33		
小計 (7科目)		—	1	4	0	—			0	0	0	0	0	兼55	—	
情報目録	情報基礎	1①		1				○						兼56		
	小計 (1科目)		—	1	0	0	—			0	0	0	0	0	兼34	—

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	学部共通科目	初年次セミナー	1			○			4	4					
	発達科学への招待	1②	1			○			3	5					
	ESD演習I(環境発達学)	2前			2		○		1						
	ESD演習II(環境発達学)	2後			2		○		1						
	ESD実践論	3後			2	○			1						
	異文化理解	1後			2	○					1				
	海外実習A	1前～4後			1								○		
	海外実習B	1前～4後			2								○		
	外国語実習	1前～4後			1								○		
	海外インターシップ実習	1前～4後			1								○		
	小計(10科目)	-	2	0	13		-		10	9	1	0	0	0	
学科共通科目	人間環境学概論	1前	2			○				1					
	自然環境概論	1後		2		○			1						
	数理情報環境概論	1後		2		○			1						
	生活環境概論	1後		2		○			1						
	社会環境概論	1後		2		○			1						
	統計の考え方	2前		2		○			1						
	環境マーケティング入門	2後		2		○			1						
	高齢者環境論	3後		2		○									兼1
	エコロジー論	3前		2		○			1						
	発達支援論研究	2後			2	○			3						
	小計(10科目)	-	2	16	2		-		10	1	0	0	0	兼1	
共通専門基礎科目	物理学B1	1前		2		○									
	物理学B2	1後		2		○									
	物理学B3	2前		2		○									
	物理学C1	1前		2		○									
	物理学C2	1後		2		○									
	物理学C3	1後		2		○									
	物理学C4	2前		2		○									
	物理学実験	2前		2				○							
	無機化学基礎	1前		2		○									
	有機化学基礎	1後		2		○									
	生物学I	1前		2		○									
	生物学II	1後		2		○									
	生物学III	1後		2		○									
	基礎地学	1前		2		○									
	線形代数学入門	1前		2		○									
	線形代数学1	1前		2		○									
	線形代数学2	1後		2		○									
	微分積分学入門	1後		2		○									
	微分積分学1	1前		2		○									
	微分積分学2	1後		2		○									
	数理統計学	2前		2		○									
	法律学	1・2後		2		○									隔年
	経済学	1・2前		2		○					1				隔年
	政治学	1・2前		2		○				1					隔年
	人文地理学	1・2後		2		○									隔年
	外国史	1・2前		2		○									隔年
	社会学	1後		2		○				1					
	日本史	1・2後		2		○									隔年
	倫理学	1前		2		○				1					
	小計(29科目)	-	0	58	0		-		0	3	1	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	自然環境科学実験A(主として地学)	2後	2					○	1	1						
	自然環境科学実験B(主として生物学)	2前	2					○	2							
	自然環境科学実験C(主として化学)	2後	2					○	1	2						
	自然環境科学	2前		2			○		1							
	環境地球科学A	2前		2			○			1						
	環境地球科学B	2後		2			○		1							
	現代物質科学	2前		2			○		1	1						
	現代物理化学A	2後		2			○		1							
	現代物理化学B	3前		2			○		2							
	現代生命科学A	2後		2			○		1	2						
	現代生命科学B	3前		2			○		1	1						
	環境物理学実験	3後		2					○							
	物質環境科学実験	3前		2					○	1	2					
	生物環境科学実験	3後		2					○		1					
	地球環境科学実験	3前		2					○	1	1					
	野外生物学実習	3前		2					○	1	1					集中
	分子生命科学実習	3前		2					○	1						集中
	宇宙史	2後		2				○		1						
	環境遺伝学	3前		2				○			1					集中
	鉱物学	2前		1				○							兼1	集中
	地球環境科学特別講義A	3前		1				○							兼1	集中
	地球環境科学特別講義B	3後		1				○							兼1	集中
	宇宙環境物理学	3前		2				○		1						
	無機化学	3前		2				○		1						
	環境植物生態学	3後		2				○		1						
	科学哲学論	3前		2				○		2						
	大気環境学	2・3前		2				○							兼1	隔年
	環境地球化学・同演習A	3前		2				○		1						
	環境地球化学・同演習B	4前		2				○		1						
	環境計測学A	2・3前		2				○							兼1	隔年
	環境計測学B	2・3前		2				○							兼1	隔年
	植物環境学1	2前		2				○		1						
	植物環境学2	2後		2				○		1						
	生活環境緑化論1	2後		2				○			1					
	生活環境緑化論2	3前		2				○			1					
	環境経済学	3前		2				○			1					
	公衆衛生学	3前		2				○		1						
	身体適応論	3後		2				○		1						
	環境物理学	3後		2				○							兼1	
	量子物理学	3後		2				○		1					兼1	
基本粒子物理学	3後		1				○		1							
分析化学	3後		2				○		1							
環境有機化学	3後		2				○			1						
生物有機化学	3後		2				○			1						
化学反応論	3前		2				○							兼1		
量子化学	3後		2				○							兼1		
高次分子生命科学	3後		2				○		1							
生物環境科学	3後		2				○			1						
動物行動生態学	3後		2				○			1						
生物多様性論	2・3後		2				○							兼1	隔年	
環境地質学・同演習1	3後		2				○			1						
環境地質学・同演習2	4前		2				○			1						
地球流体力学	3前		2				○							兼1		
自然環境科学特論A	2・3前		1				○							兼1	集中・隔年	
自然環境科学特論B	2・3前		1				○							兼1	集中・隔年	
自然科学演習	1前		1				○		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考					
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手						
専門科目	自然環境論コース	自然科学総合演習	1後	1		○			1	1									
		自然環境総合演習	2前	1		○													
		人間環境学総合演習	3通	2		○			2										
		現代物質科学演習	4前	1			○		1	2									
		環境物理学特別演習	4通	2			○	○	1										
		情報処理演習	2前	1			○			1									
		環境数値解析1	2後	2			○		1									集中	
		環境数値解析2	3前	1			○		1									集中	
		生命情報科学A	3・4前	1			○			1								隔年	
		生命情報科学B	3・4前	1			○			1								隔年	
		応用数学入門・同演習	2前	2			○			1								兼1	
		数理の基礎	2前	4			○			1									
		解析系の基礎	2後	2			○			1									
		数理統計の基礎	2後	2			○			1									
		応用解析学A	3・4前	2			○			1								隔年	
		応用解析学B	3・4前	2			○			1								隔年	
		応用統計学A	3・4前	2			○				1							隔年	
		応用統計学B	3・4前	2			○					1						隔年	
		情報環境科学A	3前	2			○											兼1	
		情報環境科学B	3後	2			○											兼1	
		情報環境科学C	3後	2			○											兼1	
卒業研究			10						8	5									
	小計(78科目)	-	16	136	0				53	35	0	0	0				兼19		
専門科目	数理情報環境論コース	数理の基礎	2前	4		○				1									
		数理と計算機	2後	2		○				1									
		計算機科学A	2前	2		○				2	1								
		計算機科学B	2前	2		○				2	1								
		幾何系の基礎	2後	2		○				1									
		解析系の基礎	2後	2		○				1									
		代数系の基礎	2後	2		○					1								
		数理統計の基礎	2後	2		○					1								
		応用代数学	3前	2		○					1								
		数理と論証	3前	2		○													兼1
		計算機数学	3前	2		○				1									
		応用解析学A	3・4前	2		○				1								隔年	
		応用解析学B	3・4前	2		○												隔年	
		応用幾何学A	3・4前	2		○				1								隔年	
		応用幾何学B	3・4前	2		○				1								隔年	
		応用統計学A	3・4前	2		○					1							隔年	
		応用統計学B	3・4前	2		○												兼1	
		応用統計学C	3前	2		○					1								
		数理情報先端特論	3後	2		○				1									兼1
		情報環境科学A	3前	2		○													兼1
		情報環境科学B	3後	2		○													兼1
		情報環境科学C	3後	2		○													兼1
		代数学II	3後	2		○													兼1
		解析学III	3前	2		○													兼1
		幾何学III	3後	2		○													兼1
		確率論I	3後	2		○													兼1
		環境経済学	3前	2		○					1								
		生命情報科学A	3・4前	1		○													隔年
		生命情報科学B	3・4前	1		○					1								隔年
生活環境マックスI	2後	2		○				1											
生活環境マックス実験	4前	2		○				1											
生活環境電子計測論1	2前	2		○					1										
ヒューマンエレクトロニクス実験	3後	2		○					1										
数理認識発達論	3後	2		○					1										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目	数理情報環境論コース	社会調査法	2後	2		○									兼1		
	メディア論	3後	2		○			1							兼1		
	応用数理特論1	3後	2		○			1	1								
	情報環境特論1	3後	2		○			2	2								
	応用数理特論2	4前	2		○			2	1								
	情報環境特論2	4前	2		○			2	2								
	応用数理特論3	4後	2		○			1	1						兼1		
	情報環境特論3	4後	2		○			2	2								
	卒業研究	4通	10					3	3								
	小計(43科目)	-	-	20	74	0	-	-	26	25	0	0	0	0	0	兼13	
生活環境論コース	生活環境基礎実験	2後	2				○	1	1								
	生活環境調査法	2前	2			○		2	3								
	生活空間計画論1	2前	2			○		1							兼1		
	生活環境心理学	2前	2			○											
	生活環境緑化論1	2後	2			○			1								
	衣環境学1	2前	2			○		1									
	生活環境メカニクス1	2後	2			○		1									
	生活環境電子計測論1	2前	2			○			1								
	食環境学1	2前	2			○		1									
	植物環境学1	2前	2			○		1									
	生活環境共生論1	2前	2			○			1								
	生活空間計画論2	2後	2			○		1									
	生活環境緑化論2	3前	2			○			1								
	住宅設計論	3前	2			○		1									
	生活電気・機械	3・4前	2			○		1	1							隔年	
	生活環境メカニクス2	3後	2			○		1									
	衣環境学2	2後	2			○		1									
	生活環境電子計測論2	2後	2			○			1								
	生活エネルギー機器論	3・4後	2			○			1							隔年	
	食環境学2	2前	2			○		1									
	植物環境学2	2後	2			○		1									
	生活環境共生論2	2後	2			○			1								
	ライフスタイル論1	2前	2			○			1								
	ライフスタイル論2	2後	2			○			1								
	栄養学	2・3後	2			○									兼1	隔年	
	食環境学実験	3前	2					○	1								
	衣環境学実験	3前	2					○	1								
	生活環境メカニクス実験	4前	2					○	1								
	ヒューマンエレクトロニクス実験	3前	2					○		1							
	植物環境学実験実習	3前	2					○	1	1							
	食環境学実習	3後	2					○	1								
	生活環境共生論実習	3前	2					○		1							
	ライフスタイル論実習	3前	2					○		1							
生活空間計画論演習	4前	2				○		1									
生活環境心理学演習	3前	2				○								兼1			
生活環境緑化論演習	3後	2				○			1								
衣環境学演習	3後	2				○		1									
動作解析コンピュータ演習	3前	2				○		1									
植物環境学演習	3後	2				○		1									
生活環境共生論演習	3後	2				○			1								
ライフスタイル論演習	3後	2				○			1								
現代生活論	2前	2				○								兼1			
環境経済学	3前	2				○			1								
卒業研究		10						5	4								
小計(44科目)	-	-	14	82	0	-	-	29	26	0	0	0	0	0	兼4		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
専門科目	社会環境論コース	社会規範論A	2前	2		○			1									
		社会規範論B	2後	2		○			1									
		社会文化環境論	2前	2		○			1									
		産業社会環境論A	2前	2		○					1							
		産業社会環境論B	2後	2		○				1								
		地域社会環境論A	2前	2		○			1									
		地域社会環境論B	2後	2		○			1									
		国際社会環境論	2後	2		○				1								
		社会環境思想史	2後	2		○				1								
		社会変動史	2・3後	2		○			1									隔年
		産業構造論	2・3後	2		○					1							隔年
		労働史	2・3前	2		○				1								隔年
		都市地域論	2・3後	2		○			1									隔年
		コミュニティ論	2・3前	2		○			1									隔年
		国際平和論	2・3後	2		○			2	1								隔年
		社会政策史	2・3前	2		○				1								隔年
		福祉国家論	2・3後	2		○						1						隔年
		農村開発論	2・3前	2		○			1									隔年
		地域空間システム論	2・3後	2		○			1									隔年
		フィールドワーク実習	2・3後	2		○			1									隔年
		現代日本社会史	2前	2		○			1									
		公共性論	3後	2		○			1									
		家族論	2・3前	2		○											兼1	隔年
		自治体論	2・3後	2		○											兼1	隔年
		国際開発論	3前	2		○				1								
		環境経済学	3前	2		○				1								
		生活空間計画論1	2前	2		○			1									
		生活空間計画論2	2後	2		○			1									
		生活環境心理学	2後	2		○			1									
		現代生活論	2前	2		○											兼1	
		生活環境緑化論1	2後	2		○				1								
		生活環境緑化論2	3前	2		○				1								
		環境植物生態学	3前	2		○			1									
		教理と論証	3前	2		○											兼1	
		社会調査法	2後	2		○											兼1	
		教育思想史	2後	2		○			1									
		クワイア論	3後	2		○			1									
		公共性論演習A	3前	2				○		1								
		社会環境思想史演習A	3前	2				○		1								
		社会文化環境論演習A	3前	2				○		1								
		産業構造論演習A	3前	2				○				1						
		労働史演習A	3前	2				○			1							
		都市地域論演習A	3前	2				○		1								
		コミュニティ論演習A	3前	2				○		1								
		国際開発論演習A	3前	2				○			1							
		公共性論演習B	3後	2				○		1								
		社会環境思想史演習B	3後	2				○			1							
		社会文化環境論演習B	3後	2				○		1								
		産業構造論演習B	3後	2				○				1						
		労働史演習B	3後	2				○			1							
		都市地域論演習B	3後	2				○		1								
		コミュニティ論演習B	3後	2				○		1								
		国際開発論演習B	3後	2				○			1							
		卒業研究			10					4	3	1						
	小計(54科目)	-	10	106	0		-	32	20	6	0	0	兼5					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	発達支援論研究	2後	2			○			3						
	発達支援論演習(ジェンダー研究・学習支援論)	3前		2			○								
	発達支援論演習(労働・成人教育支援論)	3前		2			○								
	発達支援論演習(子ども・家庭支援論)	3前		2			○		1						
	発達支援論演習(ボランティア社会・学習支援論)	3前		2			○		1						
	発達支援論演習(障害共生支援論)	3前		2			○		1						
	発達支援研究法	3前	2				○		1						
	小計(7科目)	-	4	10	0		-		7	0	0	0	0	0	
資格免許のための科目	数学教育論A	2前		2		○								兼1	
	情報機器の操作	2前	1				○							兼1	
	理科教育論A	2前		2		○								兼1	集中
	理科教育論B	2後		2		○								兼1	集中
	社会科教育論A	2前		2		○								兼1	集中
	社会科教育論B	2前		2		○								兼1	集中
	地歴科教育論B	2前		2		○			1					兼1	集中
	公民科教育論A	2前		2		○								兼1	集中
	公民科教育論B	2前		2		○								兼1	集中
	数学教育論B	2後		2		○								兼1	
	アパレル実習	2後		2			○		1					兼1	隔年
	地歴科教育論A	2後		2		○								兼1	
	生活情報処理演習	2後		2			○		2					兼1	集中・隔年
	家庭科教育論A	2前		2		○								兼1	集中
	家庭科教育論B	2前		2		○								兼1	
	家庭経済・経営学	2前		2		○								兼1	集中
小計(16科目)		1	30	0				3	1	0	0	0	兼13		
合計(267科目)		-	75	677.5 又は 678.5	15				170	120	8	0	0	兼55	
学位又は称号	学士(発達科学)	学位又は学科の分野					文学関係, 教育学・保育学関係, 法学関係, 経済学関係, 社会学・社会福祉学関係, 理学関係, 工学関係, 農学関係, 家政関係								